教育委員会定例会事項書

令和２年１月１６日（木）

９：３０～　教育委員室

1　開会宣言

議事録署名者　　原　田　委　員

2　前回定例会審議結果の確認（別紙参照）

3　議　題

議案第 57 号　三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案

議案第 58 号　職員の懲戒処分について

4　報告題

報告　1　令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

報告　2　令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状及び特別感謝状贈呈について

5　閉会宣言

前回定例会の審議結果

1　日　時

令和元年１２月１２日（木）

開　会　１３時３０分

閉　会　１４時０３分

2　場　所

教育委員室

3　出席者及び欠席委員の氏名

出席者　　廣田教育長、森脇委員、大森委員、黒田委員、原田委員

議事録署名者　黒田委員

4　採択議案の件名

議案第５５号　公立学校職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則案

議案第５６号　公立学校職員の退職手当に関する条例施行規則の一部を改正する規則案

5　請願陳情の付議の結果

該当なし

6　諸般の報告

報告１　「第四次三重県子ども読書活動推進計画（仮称）」【中間案】について

7　その他会議において必要と認めた事項

該当なし

議案第５７号

三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案

三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案について、別紙のとおり提案する。

令和２年１月１６日提出　　三重県教育委員会教育長　廣田　恵子

提案理由

三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１５条第１項及び三重県教育委員会権限委任規則第１条第１０号の規定により教育委員会の議決を要する。

これが、この議案を提出する理由である。

三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案

三重県立美術館条例施行規則（昭和五十七年三重県教育委員会規則第二号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前欄に掲げる規定を同表の改正後欄に掲げる規定に傍線で示すように改正する。

改正後	改正前
（使用の許可の申請） 第七条　条例第十九条の規定に基づき講堂等の使用の許可を受けようとする者は、講堂等使用許可申請書（第二号様式）を館長に提出しなければならない。	（施設等使用の許可の申請） 第七条　条例第十九条の規定に基づき施設等の使用の許可を受けようとする者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を館長に提出しなければならない。 一　施設　施設使用許可申請書（第二号様式） 二　設備　設備使用許可申請書（第三号様式）
（講堂等の変更の禁止） 第九条　条例第十九条の規定による許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、講堂等に変更を加え、又は特別の施設等を設けてはならない。ただし、館長の承認を受けたときは、この限りでない。	（施設等の変更の禁止） 第九条　条例第十九条の規定による許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、美術館の施設等に変更を加え、又は特別の施設等を設けてはならない。ただし、館長の承認を受けたときは、この限りでない。
（使用の変更） 第十条　使用者は、条例第十九条の規定により許可を受けた事項を変更しようとするときは、講堂等使用変更許可申請書（第三号様式）を館長に提出しなければならない。	（使用の廃止又は中止） 第十条　使用者は、美術館の施設等の使用を廃止又は中止しようとするときは、施設等使用廃止（中止）届（第四号様式）をすみやかに館長に提出しなければならない。
（使用の廃止又は中止） 第十一条　使用者は、講堂等の使用を廃止又は中止しようとするときは、講堂等使用廃止（中止）届（第四号様式）をすみやかに館長に提出しなければならない。	（使用者の遵守事項） 第十一条　使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。 一　（略）
（使用者の遵守事項） 第十二条　使用者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。 一　（略）	

二　使用中における講堂等の管理及び火災防止につとめること。 第十三条　（略）	二　使用中における施設等の管理及び火災防止につとめること。 第十二条　（略）

第二号様式から第四号様式を次のように改める。

第２号様式（第７条関係）

講堂等使用許可申請書

年　月　日

三重県立美術館長様

住所（所在地）
団体名
氏名・代表者氏名
電話番号

三重県立美術館条例施行規則第７条の規定に基づき、下記のとおり美術館の講堂等を使用したいので申請します。

記

使用日時		年　月　日　時から 年　月　日　時まで
使用目的	講演会等の名称	
	講演会等の内容	
	講演会等の開催日時	年　月　日　時から 年　月　日　時まで
会場責任者氏名		
入場料等の徴収の有無及び金額		有・無　　円
※使用日時	第２希望	年　月　日　時から 年　月　日　時まで
	第３希望	年　月　日　時から 年　月　日　時まで
備考		

（注）１　設備等を設置するときは、概要を確認できる図面等を添付して下さい。
　　２　※については、希望があれば記入して下さい。

第３号様式（第10条関係）

講堂等使用変更許可申請書

年　月　日

三重県立美術館長　様

住所（所在地）
団　体　名
氏名・代表者氏名
電　話　番　号

三重県立美術館条例施行規則第10条の規定に基づき、下記のとおり美術館の講堂等の使用変更をしたいので申請します。

記

使用日時		(変更前)　年　月　日　時から 年　月　日　時まで
		(変更後)　年　月　日　時から 年　月　日　時まで
使用目的	講演会等の名称	(変更前) (変更後)
	講演会等の内容	(変更前) (変更後)
	講演会等の開催日時	(変更前)　年　月　日　時から 年　月　日　時まで
		(変更後)　年　月　日　時から 年　月　日　時まで
会場責任者氏名		(変更前) (変更後)
入場料等の徴収の有無及び金額		(変更前)　有・無　円 (変更後)　有・無　円

（注）　設置する設備等を変更するときは、概要を確認できる図面等を添付して下さい。

第４号様式（第11条関係）

講堂等使用廃止（中止）届

年　月　日

三重県立美術館長様

住所（所在地）
団　体　名
氏名・代表者氏名
電　話　番　号

三重県立美術館条例施行規則第11条の規定に基づき、下記の事由により美術館の講堂等の使用を廃止（中止）したいので届け出ます。

記

使　用　日　時	年　月　日　時から 年　月　日　時まで
廃止（中止）事由及び期日	年　月　日　時から 年　月　日　時まで 廃止・中止 （事由）
備考	

附　則

この規則は、令和二年四月一日から施行する。

三重県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則案要綱

1　改正理由

三重県立美術館条例の改正に伴い、三重県立美術館条例施行規則の規定の整備を行うものである。

2　改正内容

三重県立美術館の県民ギャラリーに関する業務が指定管理者の行う業務になることなどから関係条文及び様式を改正する。

3　施行期日

令和２年４月１日から施行する。

報告１

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、別紙のとおり報告する。

令和２年１月１６日提出

三重県教育委員会事務局
保健体育課長

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

Ⅰ　令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

平成３１年４月から令和元年７月に、全国の小学校５年生と中学校２年生の全員を対象（悉皆調査）として実施されました「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における本県公立小中学校の結果の概要は以下のとおりです。

１　結果の概要

体力合計点について、小学校・中学校の男女いずれも全国平均値を上回ることはできませんでした。また、昨年度との比較では、全国と同様に本県においても小学校・中学校の男女とも下回る結果となりました。

種目別の全国平均値との比較では、小学校・中学校男女合わせて３４種目中１２種目が全国平均値を上回りました（平成３０年度は１６種目が全国平均を上回る）。また、３４種目中３種目が昨年度の数値を上回っています。

２　体力テスト種目別および体力合計点の結果

【小学校第５学年の平均値】

調査種目	男子 R1年度 三重県	男子 R1年度 全国	男子 H30年度 三重県	女子 R1年度 三重県	女子 R1年度 全国	女子 H30年度 三重県
握力（kg）	⇩ 16.52	16.37	16.77	⇩ 16.31	16.09	16.32
上体起こし（回）	⇩ 19.20	19.80	19.43	⇧ 18.44	18.95	18.41
長座体前屈（cm）	⇧ 33.34	33.24	33.21	⇧ 37.78	37.62	37.43
反復横とび（点）	⇩ 42.63	41.74	42.89	⇩ 40.90	40.14	41.05
20mシャトルラン（回）	⇩ 49.78	50.32	51.71	⇩ 39.50	40.79	40.77
50m走（秒）	⇩ 9.47	9.42	9.39	⇩ 9.71	9.64	9.66
立ち幅とび（cm）	⇩ 150.81	151.45	151.97	⇩ 145.40	145.68	145.54
ソフトボール投げ（m）	⇩ 21.57	21.61	22.20	⇩ 13.79	13.61	14.00
体力合計点※（点）	⇩ 53.51	53.61	54.22	⇩ 55.48	55.59	55.75

：全国平均を上回る　⇧：平成30年度三重県平均を上回る　⇩：平成30年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を１点から１０点に得点化して総和した合計得点

(1) 小学校５年生の状況

①体力合計点における全国との比較

全国平均値と比較して、男子が 0.10 ポイント、女子が 0.11 ポイント下回っています。

②種目別における全国との比較

男子は、握力、長座体前屈、反復横とびの３種目が全国平均値を上回っています。女子は、握力、長座体前屈、反復横とび、ソフトボール投げの４種目が全国平均値を上回っています。（合計１６種目中７種目が上回る）

③昨年度（平成３０年度県平均値）との比較

体力合計点は、男子は 0.71 ポイント、女子は 0.27 ポイント下回っています。種目別に見ると、男子は、長座体前屈の１種目、女子は、上体起こし、長座体前屈の２種目で上回っています。（合計１６種目中３種目が上回る）

【中学校第２学年の平均値】

調査種目		男子 R1年度 三重県	男子 R1年度 全国	男子 H30年度 三重県	女子 R1年度 三重県	女子 R1年度 全国	女子 H30年度 三重県
握力	(kg)	⇩ 28.47	28.65	28.62	⇩ 23.80	23.79	23.95
上体起こし	(回)	⇩ 26.36	26.96	27.05	⇩ 23.02	23.69	23.54
長座体前屈	(cm)	⇩ 43.40	43.50	43.56	⇩ 45.81	46.32	46.46
反復横とび	(点)	⇩ 52.85	51.91	53.18	⇩ 48.07	47.28	48.16
持久走	(秒)	⇩ 405.19	398.98	397.99	⇩ 293.32	289.82	289.75
20mシャトルラン	(回)	⇩ 83.21	83.53	84.97	⇩ 57.20	58.31	59.45
50m走	(秒)	⇩ 8.05	8.02	7.97	⇩ 8.87	8.81	8.83
立ち幅とび	(cm)	⇩ 194.04	195.03	195.78	⇩ 169.95	169.90	171.32
ハンドボール投げ	(m)	⇩ 20.40	20.40	20.86	⇩ 13.08	12.96	13.42
体力合計点※	(点)	⇩ 41.60	41.69	42.70	⇩ 50.05	50.22	51.19

■：全国平均を上回る　⇧：平成30年度三重県平均を上回る　⇩：平成30年度三重県平均を下回る

※体力合計点：各調査種目の成績を１点から１０点に得点化して総和した合計得点

(2) 中学校２年生の状況

①体力合計点における全国との比較

全国平均値と比較して、男子は、0.09 ポイント、女子は、0.17 ポイント下回っています。

②種目別における全国との比較

男子は、反復横とびの１種目が全国平均値を上回っています。女子は、握力、反復横とび、立ち幅とび、ハンドボール投げの４種目が全国平均値を上回っています。（合計１８種目中５種目が上回る）

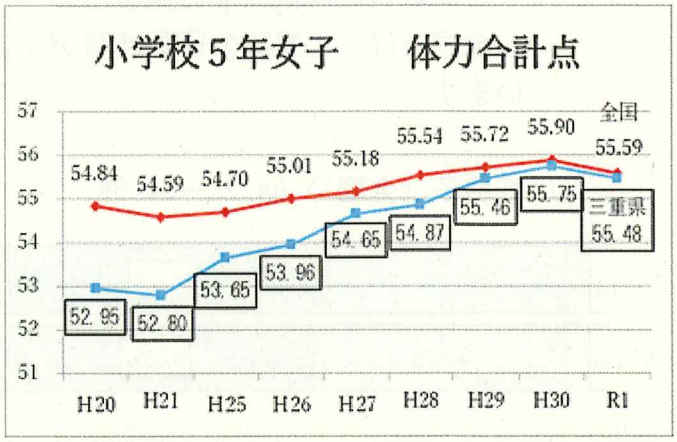
③昨年度（平成３０年度県平均値）との比較

体力合計点は、男子が 1.10 ポイント、女子は 1.14 ポイント下回っています。種目別に見ると、男子・女子ともに、全ての種目で上回ることができませんでした。

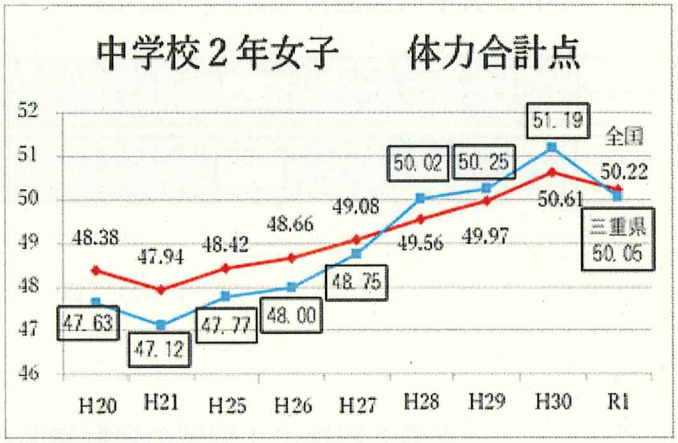
3　本調査開始（平成 20 年度）以降の全員を対象とした調査の体力合計点経年変化

※平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度は東日本大震災の影響で中止のため、除外









① 平成２０年度と令和元年度の体力合計点比較

	Ｈ２０→Ｒ１		Ｈ２０→Ｒ１
小学校男子	＋０．８５	小学校女子	＋２．５３
中学校男子	＋１．２７	中学校女子	＋２．４２

② 令和元年度における本県の体力合計点と全国平均値比較

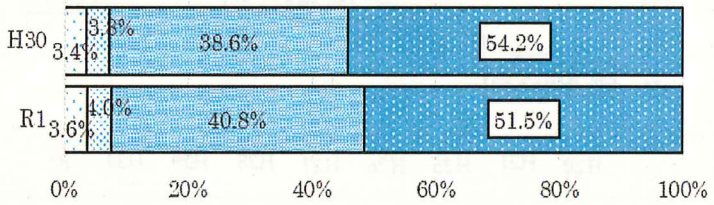
	本県値－全国値		本県値－全国値
小学校男子	－０．１０	小学校女子	－０．１１
中学校男子	－０．０９	中学校女子	－０．１７

Ⅱ　体力合計点低下の結果に関する全国と本県の状況

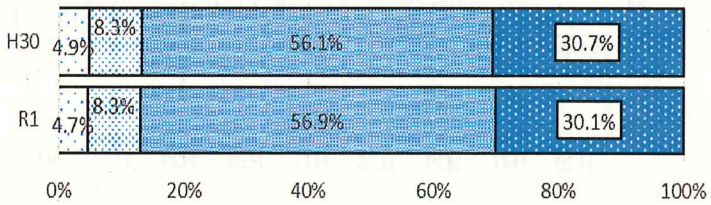
１　授業以外の運動時間の減少

全国では、１週間の運動時間が４２０分以上の割合は、小・中学校ともに減少しています。

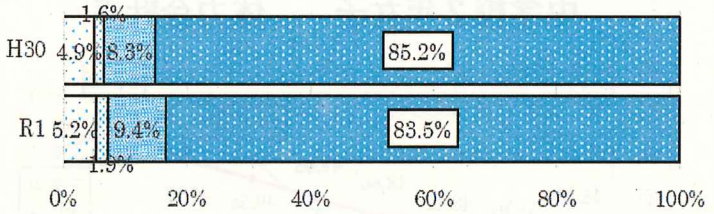
〈小５男子（全国）〉54.2%→51.5%



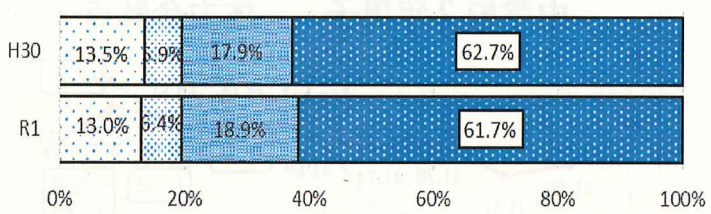
〈小５女子（全国）〉30.7%→30.1%



〈中２男子（全国）〉85.2%→83.5%



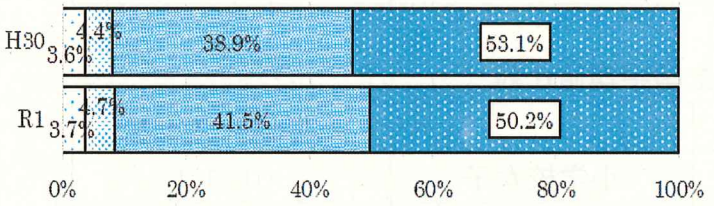
〈中２女子（全国）〉62.7%→61.7%



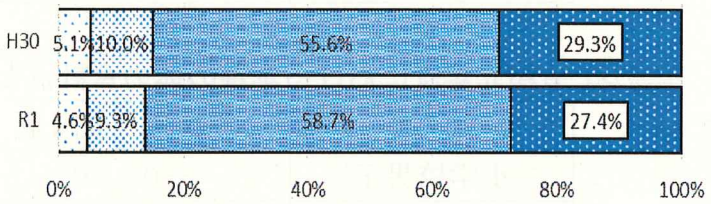


三重県も同様に１週間の運動時間が４２０分以上の割合は、小・中学校ともに減少しています。

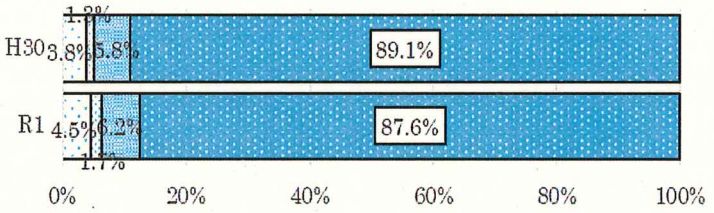
〈小５男子（三重県）〉53.1%→50.2%



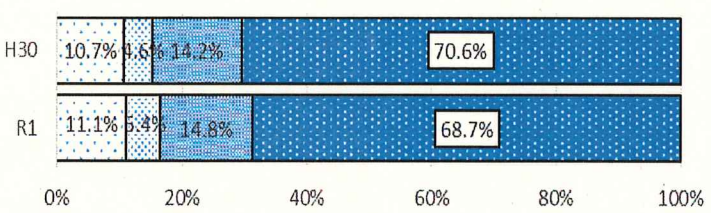
〈小５女子（三重県）〉29.3%→27.4%



〈中２男子（三重県）〉89.1%→87.6%



〈中２女子（三重県）〉70.6%→68.7%





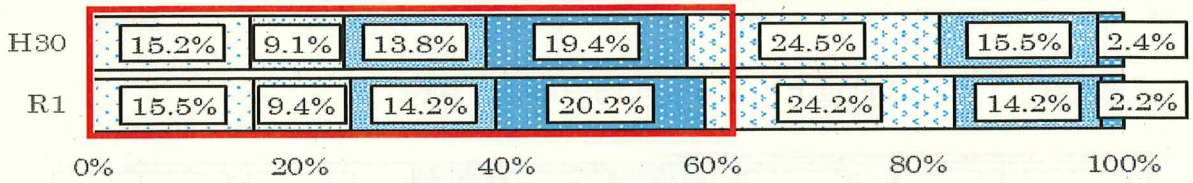
２　平日１日当たりのテレビ、スマートフォン等による視聴時間の増加

三重県における平日１日当たり１時間以上のテレビ、スマートフォン等による視聴時間の割合は、全国と比べ、小・中学校ともに高くなっています。

〈小５男子〉

全国では、平日１日当たりのテレビ、スマートフォン等による視聴時間が増加しており、長時間化しています。三重県も同様の結果になっています。

（全国）　　２Ｈ以上　５７．５%→５９．３%



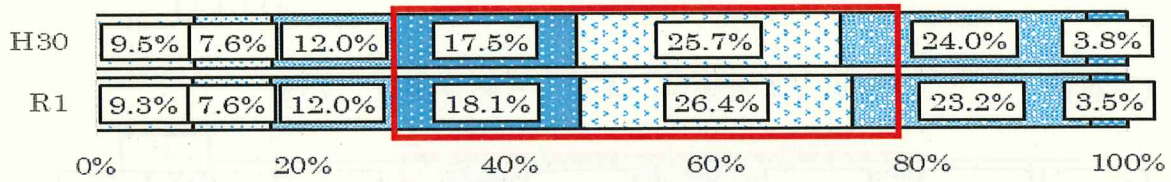
（三重県）　　２Ｈ以上　６２．４%→６４．７%



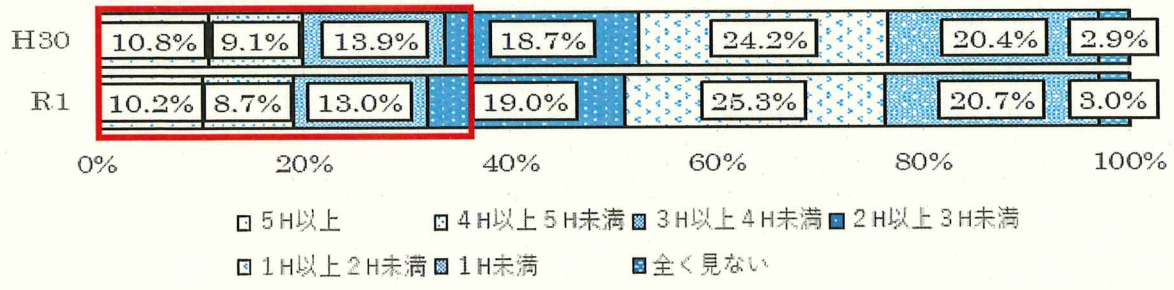
〈小５女子〉

全国では、平日１日当たりのテレビ、スマートフォン等による視聴時間が増加していますが、三重県では、減少しています。

（全国）　　１Ｈ以上３Ｈ未満　４３．２%→４４．５%



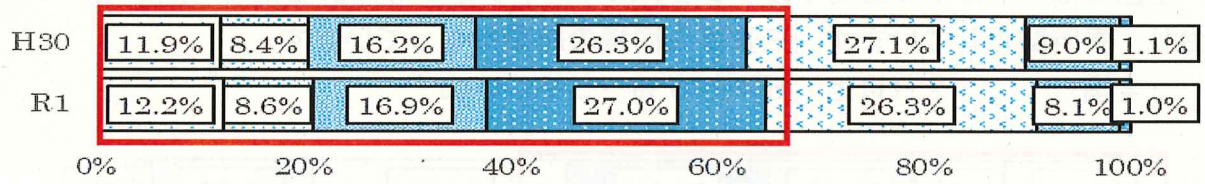
（三重県）　　３Ｈ以上　３３．８%→３１．９%



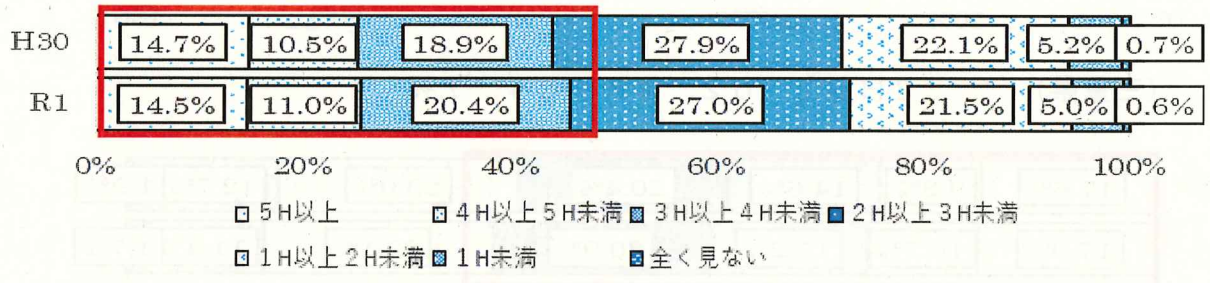
〈中２男子〉

全国では、平日１日当たりのテレビ、スマートフォン等による視聴時間が増加しており、長時間化しています。三重県も同様の結果になっています。

（全国）　　２Ｈ以上　６２．８％→６４．７％



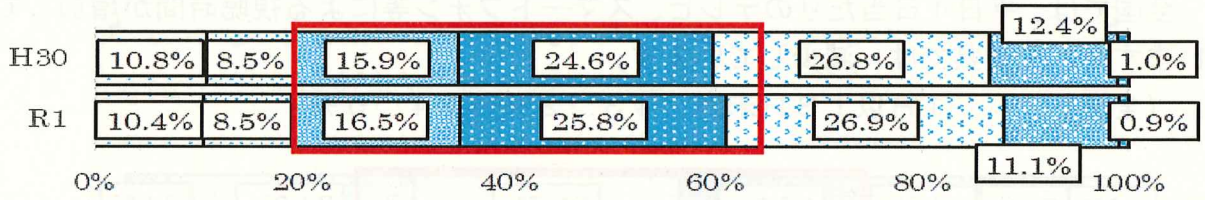
（三重県）　　３Ｈ以上　４４．１％→４５．９％



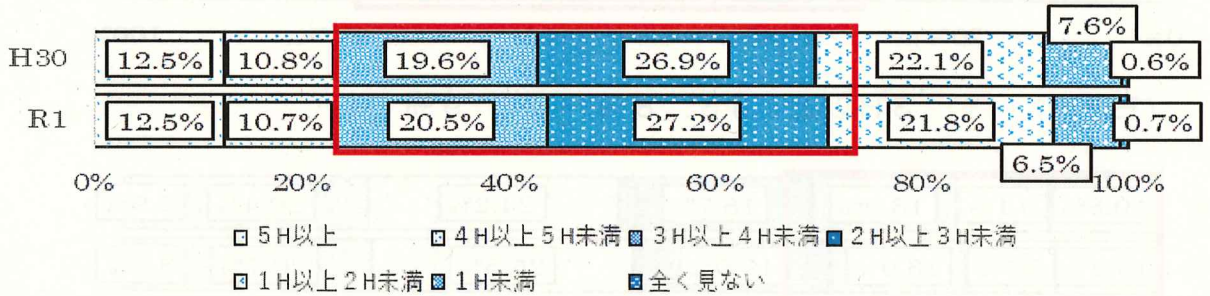
〈中２女子〉

全国では、平日１日当たりのテレビ、スマートフォン等による視聴時間が増加しています。三重県も同様の結果になっています。

（全国）　　２Ｈ以上４Ｈ未満　４０．５％→４２．３％



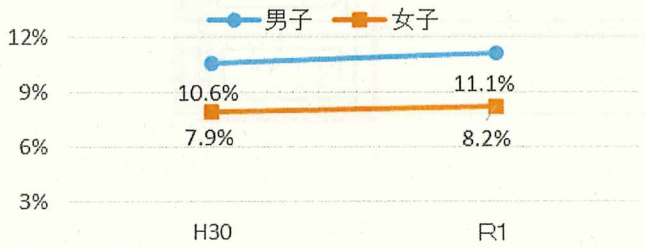
（三重県）　　２Ｈ以上４Ｈ未満　４６．５％→４７．７％



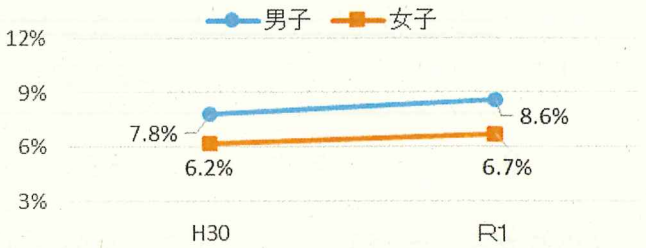
3　肥満（肥満度 20%以上　参考資料参照）である児童生徒の増加

全国では、小・中学校ともに、肥満の割合が増加しています。

〈小５（全国）〉男子：10.6%→11.1%
女子：7.9%→8.2%

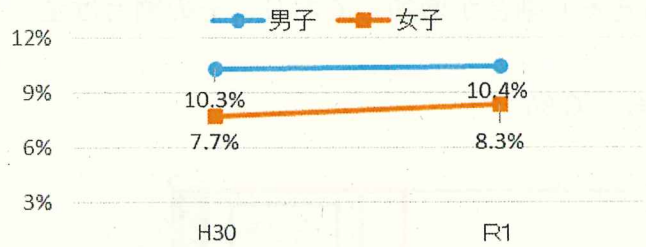


〈中２（全国）〉男子：7.8%→8.6%
女子：6.2%→6.7%

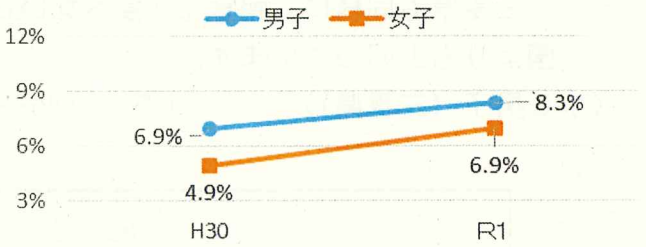


これまで三重県の肥満の割合は、全国と比較して、全体として低い状況でしたが、小・中学校ともに、増加しています。特に、女子については増加率が高く、全国の割合を上回りました。

〈小５（三重県）〉男子：10.3%→10.4%
女子：7.7%→8.3%



〈中２（三重県）〉男子：6.9%→8.3%
女子：4.9%→6.9%



● 参考資料　〈肥満傾向児・痩身傾向児の出現率の算出・判定方法〉

「児童生徒等の健康診断マニュアル（平成27年度改訂版）」より
平成27年8月25日発行　（財）日本学校保健会

・標準体重（kg）＝　a　×　身長（cm）　－　b
・肥満度（%）＝〔自分の体重（kg）　－　標準体重（kg）〕　÷　標準体重（kg）　×　100

標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
6（小1）	0.461	32.382	0.458	32.079
7（小2）	0.513	38.878	0.508	38.367
8（小3）	0.592	48.804	0.561	45.006
9（小4）	0.687	61.390	0.652	56.992
10（小5）	0.752	70.461	0.730	68.091
11（小6）	0.782	75.106	0.803	78.846
12（中1）	0.783	75.642	0.796	76.934
13（中2）	0.815	81.348	0.655	54.234
14（中3）	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

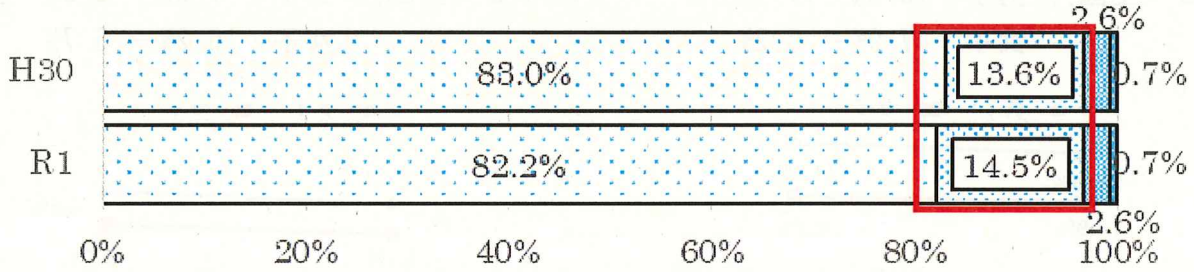
肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30～49.9%	中等度肥満
20～29.9%	軽度肥満
−19.9～19.9%	普通
−29.9～−20%	やせ
−30%以下	高度やせ

※平成18年度以降、算出・判定方法は変更していない。

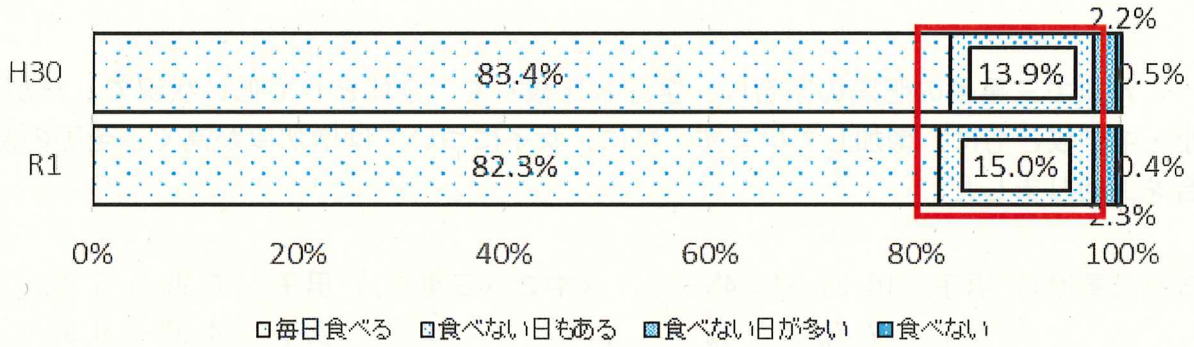
４　朝食を食べない児童の増加

全国では、小学校において、朝食を「食べない日もある」割合が増加しています。

〈小５男子（全国）〉　　１３．６%→１４．５%

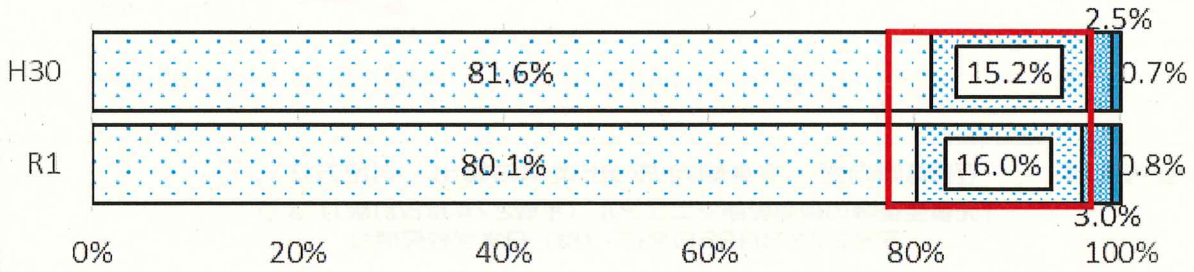


〈小５女子（全国）〉　　１３．９%→１５．０%

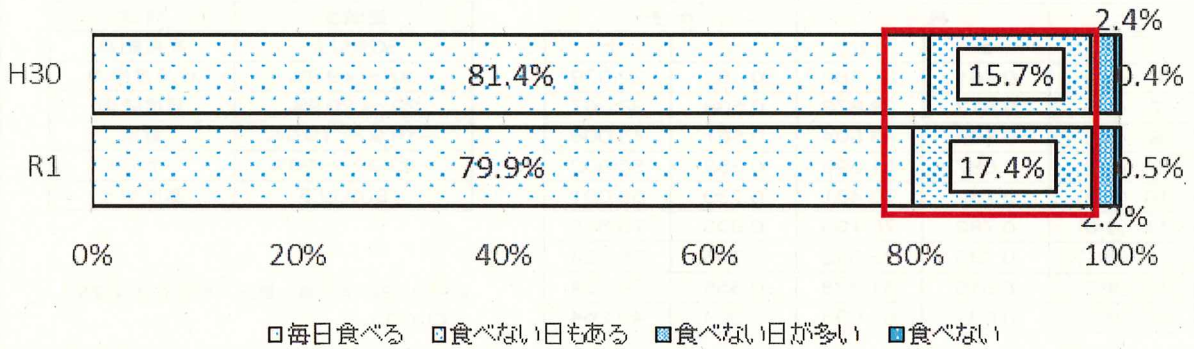


三重県も同様に、朝食を「食べない日もある」割合が増加しており、その割合は全国よりも上回っています。

〈小５男子（三重県）〉　　１５．２%→１６．０%



〈小５女子（三重県）〉　　１５．７%→１７．４%



令和元年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

三重県結果報告書

三重県教育委員会

目　次

Ⅰ　調査の概要

1　調査実施期間……1
2　調査対象……1
3　調査事項……1
4　調査学校数、児童数……1
5　種目得点表と総合評価基準……2

Ⅱ　調査結果

1　実技に関する調査の結果（公立学校）……4

2　体格と肥満度に関する調査の結果……12

3　児童生徒質問紙調査の結果……15

4　学校質問紙調査の結果……42

Ⅲ　調査結果の特徴

1　児童生徒の運動習慣～１週間の総運動時間から～……64

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

Ⅰ　調査の概要

１　調査実施期間　　平成３１年４月から令和元年７月末までの期間

２　調査対象

・小学校第５学年、特別支援学校小学部第５学年、
義務教育学校前期課程第５学年

・中学校第２学年、特別支援学校中学部第２学年、
義務教育学校後期課程第２学年

の全児童生徒を対象（特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒については、その障がいの状態等を考慮して、参加の是非を判断）

３　調査事項

（１）児童生徒に対する調査

・実技に関する調査（小学校、中学校とも８種目）

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
※持久走（男子 1500m 女子 1000m）、20m シャトルラン、
50m 走、立ち幅とび、ボール投げ（小学生ソフトボール、中学生ハンドボール）

※小学生は 20m シャトルランのみの実施
中学生は持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択して実施

・質問紙調査（運動習慣等）

（２）学校に対する質問紙調査

・質問紙調査（子どもの体力向上に係る学校の取組等）

（３）教育委員会に対する調査

・質問紙調査（子どもの体力向上に係る施策等）

４　調査学校数、児童生徒数（三重県）

校種（学校数）	参加学校数	児童生徒数
小学校（３５１校）	３４９校	１５，６０４人
中学校（１５５校）	１５３校	１４，０８８人

※学 校 数　　小・義務教育学校１校、特別支援学校１校含む
中・義務教育学校１校、特別支援学校２校含む

※参加学校数：該当学年児童生徒数が０人等で実施できない学校を除いた学校数

５　種目得点表と総合評価基準

○小学校

男子種目別得点表

得点	握　力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
10	26kg以上	26回以上	49cm以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm以上	40m以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg以下	2回以下	14cm以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm以下	4m以下

女子種目別得点表

得点	握　力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ
10	25kg以上	23回以上	52cm以上	47点以上	64回以上	8.3秒以下	181cm以上	25m以上
9	22～24	20～22	46～51	43～46	54～63	8.4～8.7	170～180	21～24
8	19～21	18～19	41～45	40～42	44～53	8.8～9.1	160～169	17～20
7	16～18	16～17	37～40	36～39	35～43	9.2～9.6	147～159	14～16
6	13～15	14～15	33～36	32～35	26～34	9.7～10.2	134～146	11～13
5	11～12	12～13	29～32	28～31	19～25	10.3～10.9	121～133	8～10
4	9～10	9～11	25～28	25～27	14～18	11.0～11.6	109～120	6～7
3	7～8	6～8	21～24	21～24	10～13	11.7～12.4	98～108	5
2	4～6	3～5	18～20	17～20	8～9	12.5～13.2	85～97	4
1	3kg以下	2回以下	17cm以下	16点以下	7回以下	13.3秒以上	84cm以下	3m以下

総合評価基準（男女共通）合計得点で判定します

段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下

※総合評価は8種目すべて実施した場合に判定する

○中学校

男子種目別得点表

得点	握　力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	56kg以上	35回以上	64cm以上	63点以上	4' 59″以下	125回以上	6.6秒以下	265cm以上	37m以上
9	51～55	33～34	58～63	60～62	5' 00″～5' 16″	113～124	6.7～6.8	254～264	34～36
8	47～50	30～32	53～57	56～59	5' 17″～5' 33″	102～112	6.9～7.0	242～253	31～33
7	43～46	27～29	49～52	53～55	5' 34″～5' 55″	90～101	7.1～7.2	230～241	28～30
6	38～42	25～26	44～48	49～52	5' 56″～6' 22″	76～89	7.3～7.5	218～229	25～27
5	33～37	22～24	39～43	45～48	6' 23″～6' 50″	63～75	7.6～7.9	203～217	22～24
4	28～32	19～21	33～38	41～44	6' 51″～7' 30″	51～62	8.0～8.4	188～202	19～21
3	23～27	16～18	28～32	37～40	7' 31″～8' 19″	37～50	8.5～9.0	170～187	16～18
2	18～22	13～15	21～27	30～36	8' 20″～9' 20″	26～36	9.1～9.7	150～169	13～15
1	17kg以下	12回以下	20cm以下	29点以下	9' 21″以上	25回以下	9.8秒以上	149cm以下	12m以下

女子種目別得点表

得点	握　力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
10	36kg以上	29回以上	63cm以上	53点以上	3' 49″以下	88回以上	7.7秒以下	210cm以上	23m以上
9	33～35	26～28	58～62	50～52	3' 50″～4' 02″	76～87	7.8～8.0	200～209	20～22
8	30～32	23～25	54～57	48～49	4' 03″～4' 19″	64～75	8.1～8.3	190～199	18～19
7	28～29	20～22	50～53	45～47	4' 20″～4' 37″	54～63	8.4～8.6	179～189	16～17
6	25～27	18～19	45～49	42～44	4' 38″～4' 56″	44～53	8.7～8.9	168～178	14～15
5	23～24	15～17	40～44	39～41	4' 57″～5' 18″	35～43	9.0～9.3	157～167	12～13
4	20～22	13～14	35～39	36～38	5' 19″～5' 42″	27～34	9.4～9.8	145～156	11
3	17～19	11～12	30～34	32～35	5' 43″～6' 14″	21～26	9.9～10.3	132～144	10
2	14～16	8～10	23～29	27～31	6' 15″～6' 57″	15～20	10.4～11.2	118～131	8～9
1	13kg以下	7回以下	22cm以下	26点以下	6' 58″以上	14回以下	11.3秒以上	117cm以下	7m以下

総合評価基準（男女共通）合計得点で判定します

段階	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳
A	51以上	57以上	60以上	61以上	63以上	65以上	65以上	65以上
B	41～50	47～56	51～59	52～60	53～62	54～64	54～64	54～64
C	32～40	37～46	41～50	41～51	42～52	43～53	43～53	43～53
D	22～31	27～36	31～40	31～40	31～41	31～42	31～42	31～42
E	21以下	26以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下	30以下

※持久走と20mシャトルランは選択　　※総合評価は8種目すべて実施した場合に判定する

Ⅱ　調査結果

1　実技に関する調査の結果（公立学校）

(1)調査種目及び体力合計点の状況

【小学校5年生】

全国の状況と比較すると、体力合計点は男女ともに全国平均を下回っています。種目別にみると、男女の握力、長座体前屈、反復横とび、女子のソフトボール投げが全国平均を上回り、他の種目は全国平均を下回る結果となっています。(合計16種目中7種目が上回る)

昨年度(平成30年度)の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女とも昨年度の結果を下回りました。種目別にみると、男女の長座体前屈、女子の上体起こしが昨年度の結果を上回っています。(合計16種目中3種目が上回る)

：全国平均を上回る　⇧：前年度三重県平均を上回る　⇩：前年度三重県平均を下回る

小学校5年男子	種目別平均								体力合計点※1	総合評価(段階別)※2				
	握力(Kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)		A	B	C	D	E
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61	11.7%	24.1%	33.0%	21.3%	9.9%
三重県	⇩16.52	⇩19.20	⇧33.34	⇩42.63	⇩49.78	⇩9.47	⇩150.81	⇩21.57	⇩53.51	11.8%	24.4%	31.8%	21.5%	10.6%
H30三重県	16.77	19.43	33.21	42.89	51.71	9.39	151.97	22.20	54.22	13.3%	25.9%	32.1%	19.4%	9.4%

小学校5年女子	種目別平均								体力合計点※1	総合評価(段階別) ※2				
	握力(Kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)		A	B	C	D	E
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59	16.0%	27.0%	33.2%	17.9%	5.8%
三重県	⇩16.31	⇧18.44	⇧37.78	⇩40.90	⇩39.50	⇩9.71	⇩145.40	⇩13.79	⇩55.48	16.0%	26.7%	33.0%	17.9%	6.4%
H30三重県	16.32	18.41	37.43	41.05	40.77	9.66	145.54	14.00	55.75	16.5%	26.9%	33.7%	17.5%	5.3%

※1　体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点(最高80点)

※2　総合評価(段階別)：体力合計点を年齢別の評価基準表に基づいた段階別の評価。Aが高得点を示す。

【中学校2年生】

全国の状況と比較すると、体力合計点は男女とも全国平均を下回りました。種目別にみると、男女の反復横とび、女子の握力、立ち幅とび、ハンドボール投げが全国平均を上回り、他の種目は男子のハンドボール投げを除いて、全国平均を下回る結果となっています。(合計18種目中5種目が上回る)

昨年度(平成30年度)の三重県の状況と比較すると、体力合計点は男女とも昨年度の結果を下回りました。種目別にみると、男女ともにすべての種目において昨年度の結果を下回りました。

：全国平均を上回る　⇧：前年度三重県平均を上回る　⇩：前年度三重県平均を下回る

中学校2年男子	種目別平均									体力合計点※1	総合評価(段階別)※2				
	握力(Kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走1500m(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)		A	B	C	D	E
全国	28.65	26.96	43.50	51.91	398.98	83.53	8.02	195.03	20.40	41.69	7.6%	25.1%	37.1%	22.7%	7.4%
三重県	⇩28.47	⇩26.36	⇩43.40	⇩52.85	⇩405.19	⇩83.21	⇩8.05	⇩194.04	⇩20.40	⇩41.60	7.1%	26.1%	36.2%	22.3%	8.2%
H30三重県	28.62	27.05	43.56	53.18	397.99	84.97	7.97	195.78	20.86	42.70	9.1%	27.5%	37.5%	19.6%	6.3%

中学校2年女子	種目別平均									体力合計点(点)※1	総合評価(段階別)※2				
	握力(Kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走1000m(秒)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)		A	B	C	D	E
全国	23.79	23.69	46.32	47.28	289.82	58.31	8.81	169.90	12.96	50.22	31.4%	32.3%	24.7%	9.7%	1.9%
三重県	⇩23.80	⇩23.02	⇩45.81	⇩48.07	⇩293.32	⇩57.20	⇩8.87	⇩169.95	⇩13.08	⇩50.05	32.0%	31.2%	24.1%	10.2%	2.4%
H30三重県	23.95	23.54	46.46	48.16	289.75	59.45	8.83	171.32	13.42	51.19	35.6%	32.3%	21.4%	8.6%	2.1%

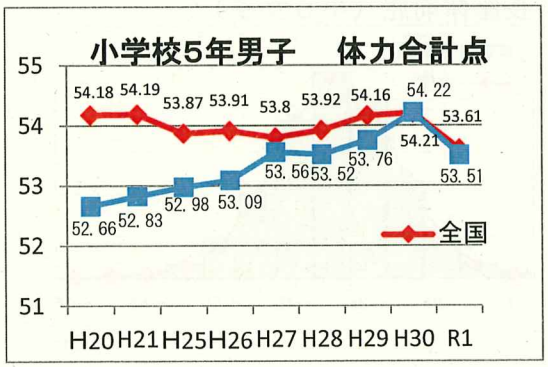
※1　体力合計点：各調査種目の成績を1点から10点に得点化して総和した合計得点(最高80点)

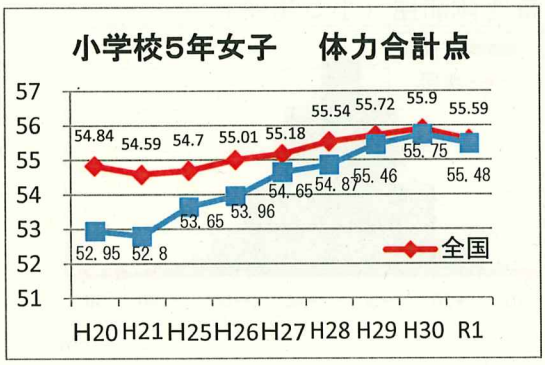
※2　総合評価(段階別)：体力合計点を年齢別の評価基準表に基づいた段階別の評価。Aが高得点を示す。

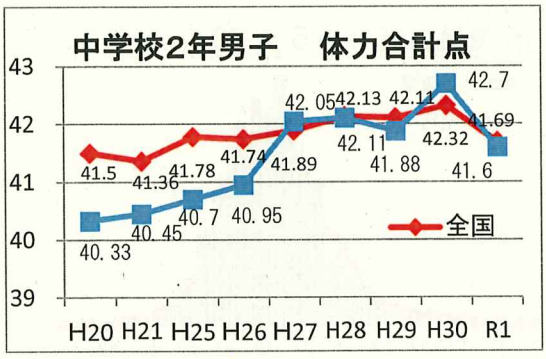
【平成20年度以降の推移】

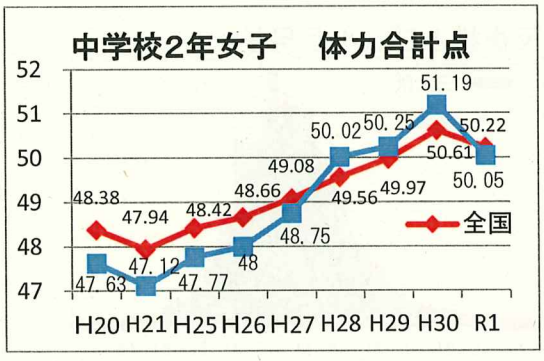
これまでの調査結果の推移からみると、令和元年度は、小学校5年生及び中学校2年生の体力合計点で男女とも過去最高値を示した昨年度を下回りました。
平成20年度の本県結果と比較すると、小学校5年生では男子で0.85ポイント、女子で2.53ポイント、中学校2年生では男子で1.27ポイント、女子で2.42ポイント、それぞれ体力合計点が向上しています。

	小学校第５学年				中学校第２学年			
	男子		女子		男子		女子	
	三重県	全　国	三重県	全　国	三重県	全　国	三重県	全　国
平成２０年度	52. 66	54. 18	52. 95	54. 84	40. 33	41. 50	47. 63	48. 38
平成２１年度	52. 83	54. 19	52. 80	54. 59	40. 45	41. 36	47. 12	47. 94
平成２２年度	52. 84	54. 36	53. 42	54. 89	41. 08	41. 71	47. 69	48. 14
平成２３年度	東日本大震災の影響等により、調査の実施が見送られました							
平成２４年度	52. 95	54. 07	53. 29	54. 85	42. 09	42. 32	48. 84	48. 72
平成２５年度	52. 98	53. 87	53. 65	54. 70	40. 70	41. 78	47. 77	48. 42
平成２６年度	53. 09	53. 91	53. 96	55. 01	40. 95	41. 74	48. 00	48. 66
平成２７年度	53. 56	53. 80	54. 65	55. 18	42. 05	41. 89	48. 75	49. 08
平成２８年度	53. 52	53. 92	54. 87	55. 54	42. 11	42. 13	50. 02	49. 56
平成２９年度	53. 76	54. 16	55. 46	55. 72	41. 88	42. 11	50. 25	49. 97
平成３０年度	54. 22	54. 21	55. 75	55. 90	42. 70	42. 32	51. 19	50. 61
令和　元年度	53. 51	53. 61	55. 48	55. 59	41. 60	41. 69	50. 05	50. 22



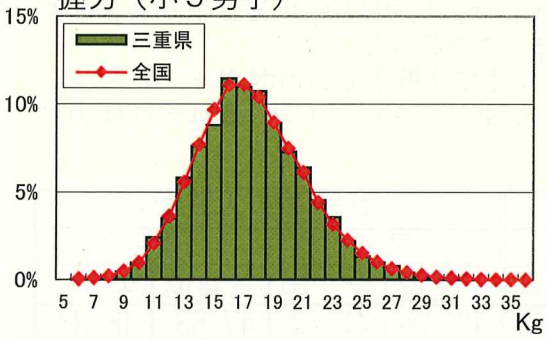




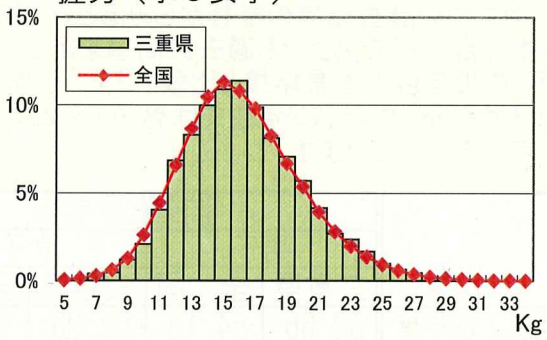


（２）各種目における記録数値別割合分布
【小学校５年生】

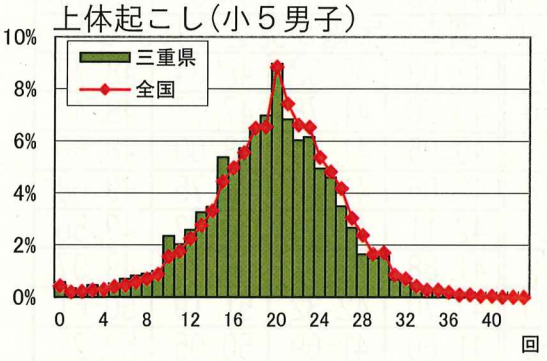
握力（小５男子）



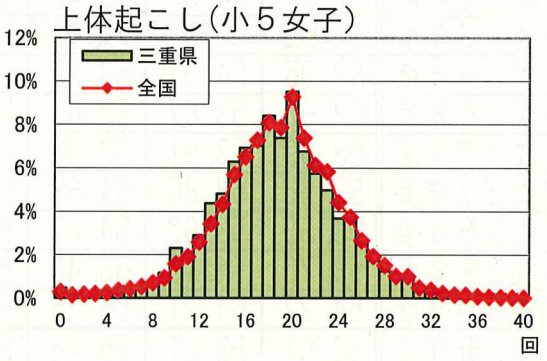
握力（小５女子）



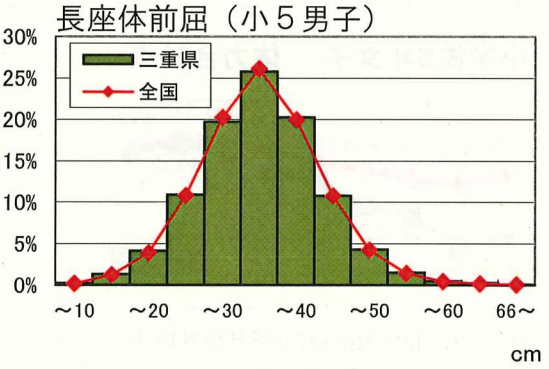
上体起こし(小５男子)



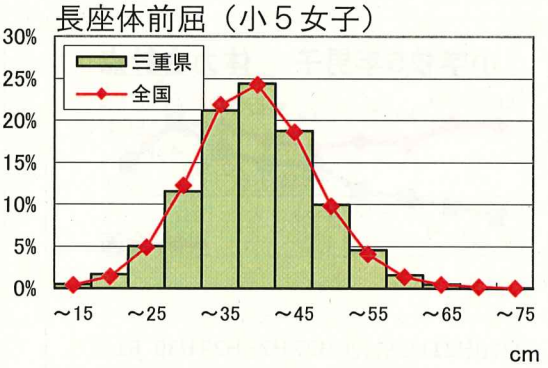
上体起こし(小５女子)



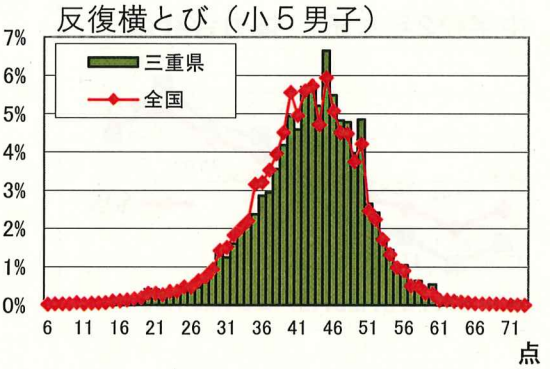
長座体前屈（小５男子）



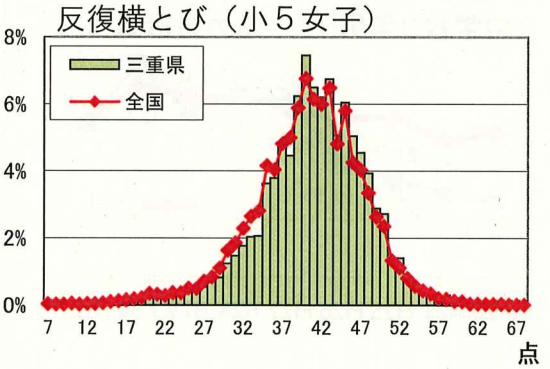
長座体前屈（小５女子）



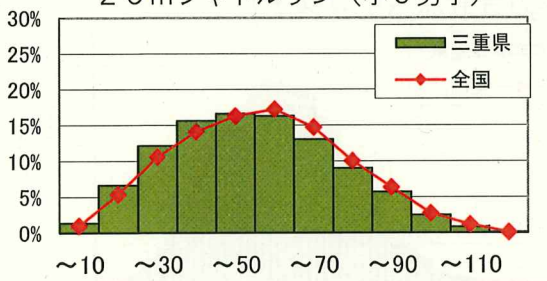
反復横とび（小５男子）



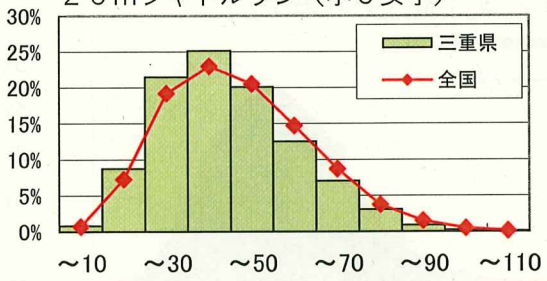
反復横とび（小５女子）



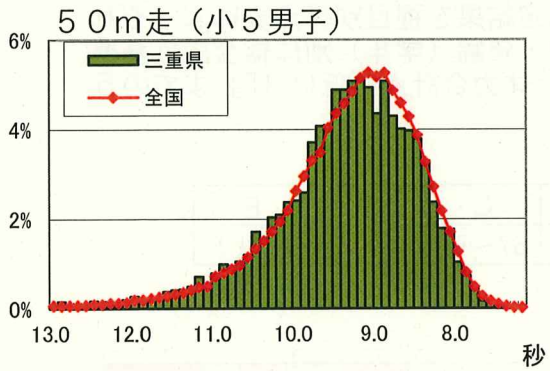
２０ｍシャトルラン（小５男子）



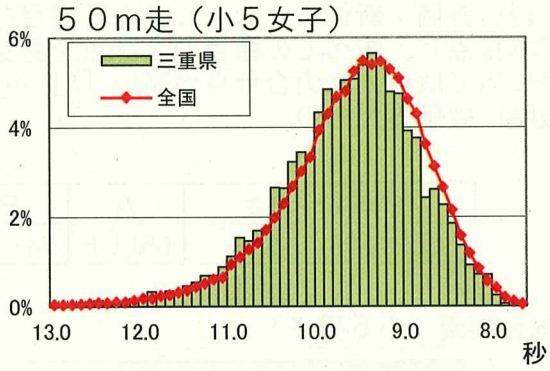
２０ｍシャトルラン（小５女子）



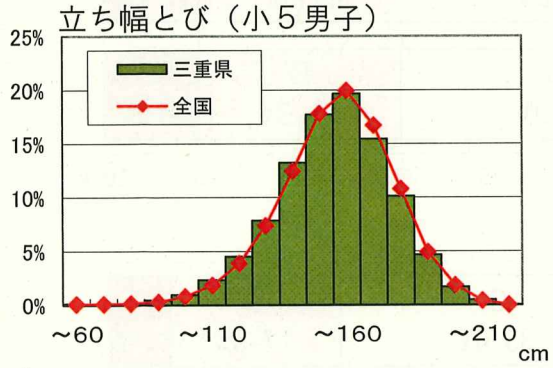
５０ｍ走（小５男子）



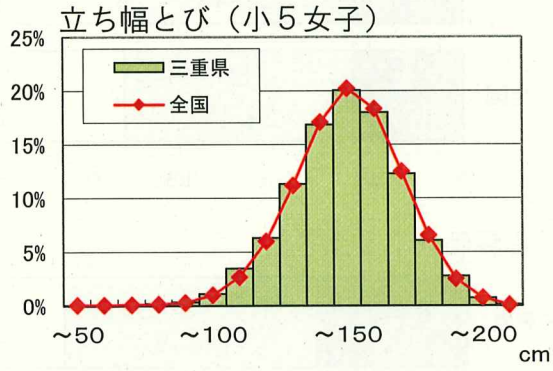
５０ｍ走（小５女子）



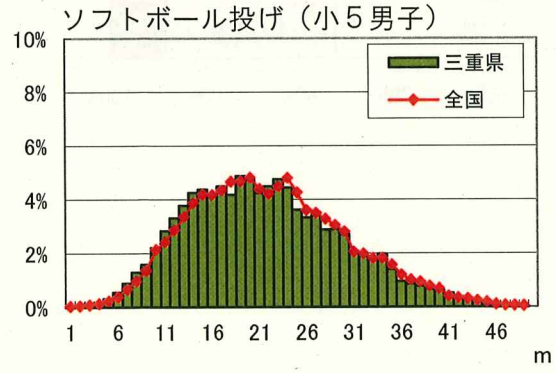
立ち幅とび（小５男子）



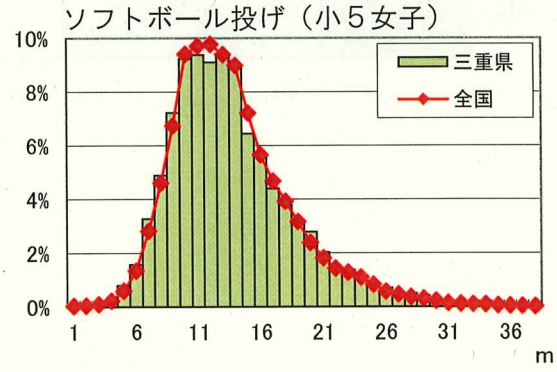
立ち幅とび（小５女子）



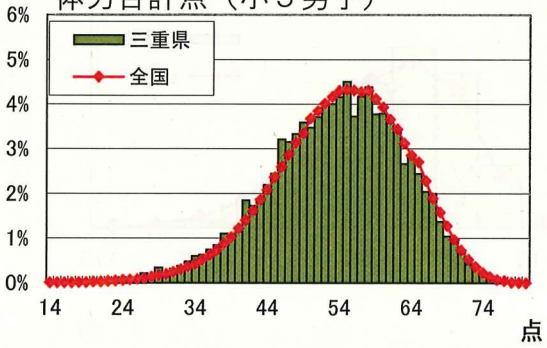
ソフトボール投げ（小５男子）



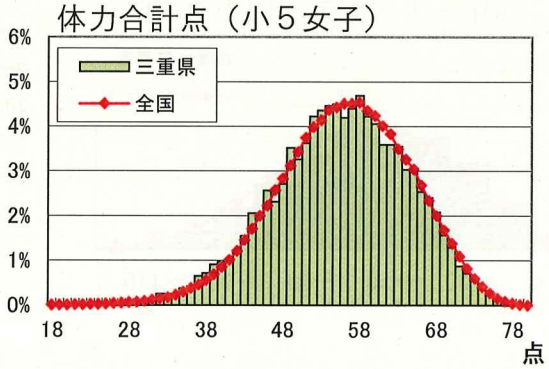
ソフトボール投げ（小５女子）



体力合計点（小５男子）



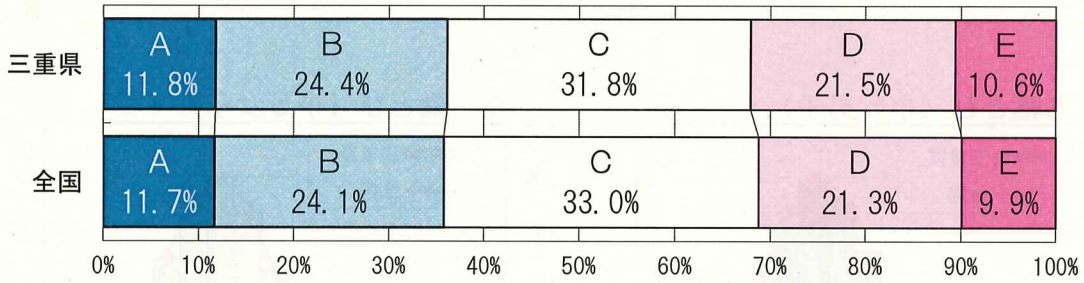
体力合計点（小５女子）



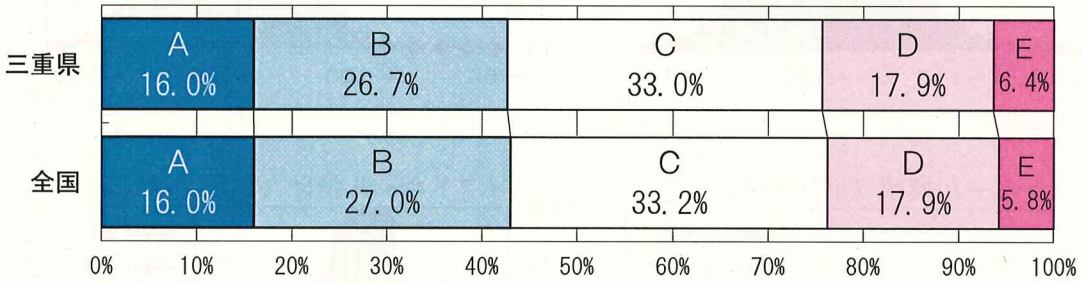
総合評価：新体力テストによる８種目の測定結果を種目別得点表によりそれぞれ採点し、すべての種目の合計点を男女別・年齢（学年）別に総合評価基準表に当てはめ、体力合計点が高い「A」から、体力合計点が低い「E」までの５段階に評価したもの。

小学校５年生	A	B	C	D	E
体力合計点（点）	65以上	64～58	57～50	49～42	41以下

総合評価（小５男子）

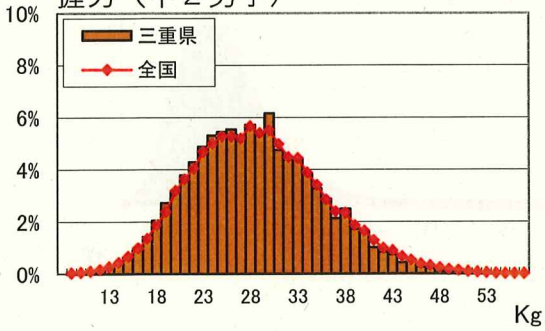


総合評価（小５女子）

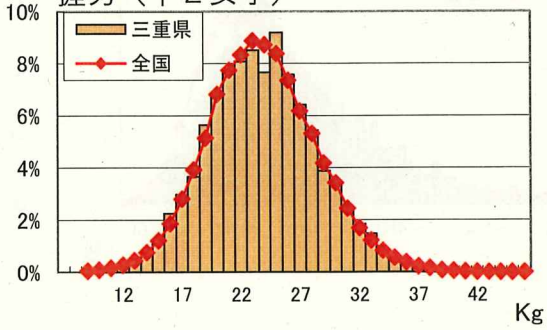


【中学校２年生】

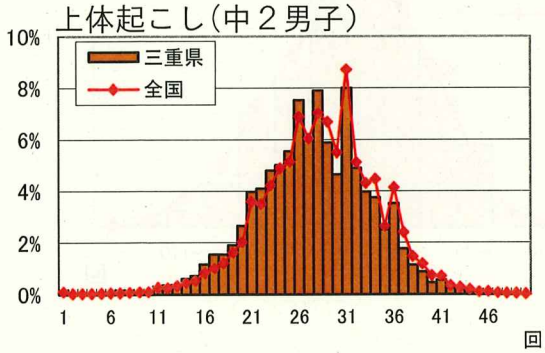
握力（中２男子）



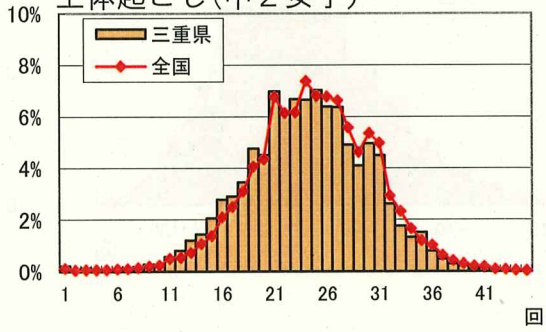
握力（中２女子）



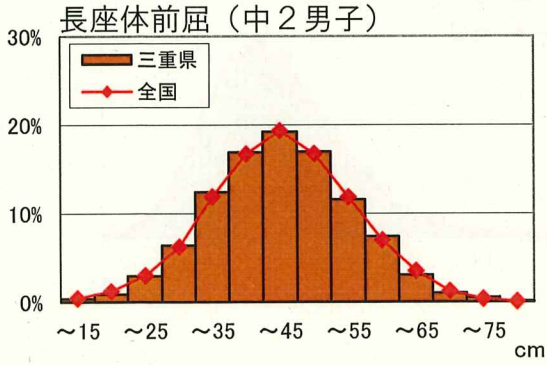
上体起こし(中２男子)



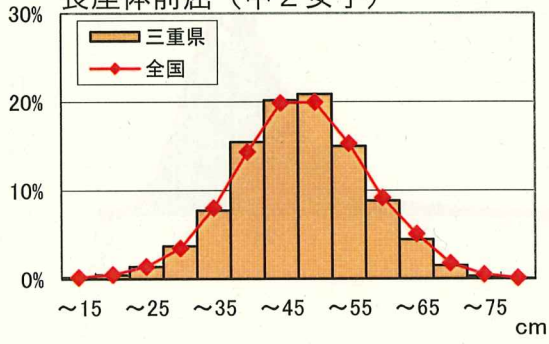
上体起こし(中２女子)



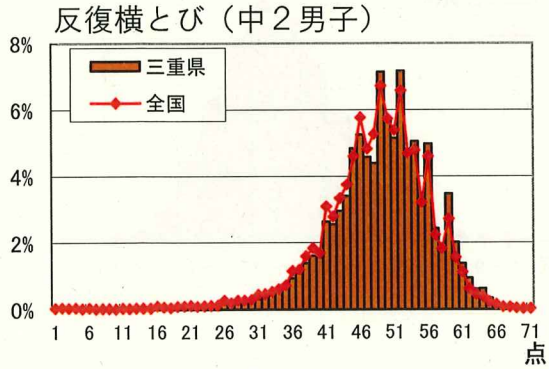
長座体前屈（中２男子）



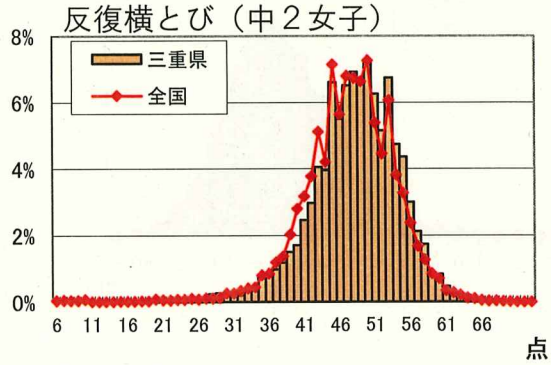
長座体前屈（中２女子）



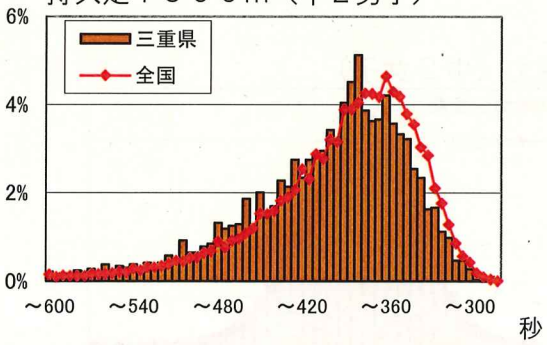
反復横とび（中２男子）



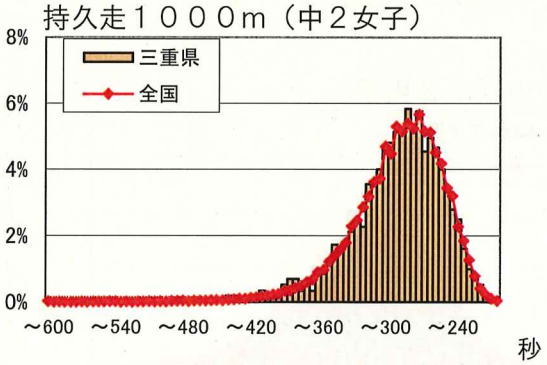
反復横とび（中２女子）



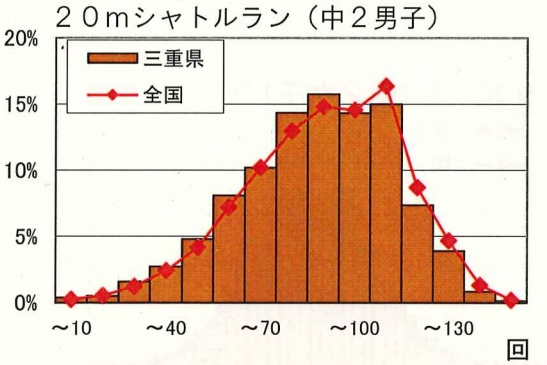
持久走１５００ｍ（中２男子）



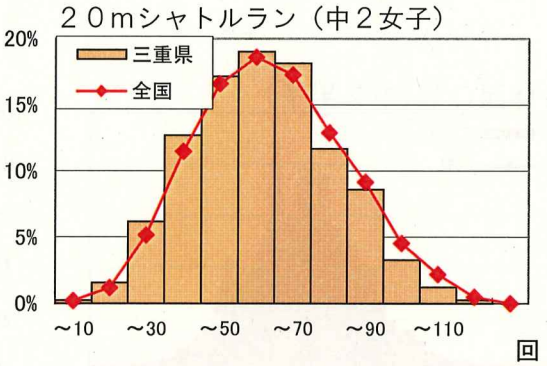
持久走１０００ｍ（中２女子）



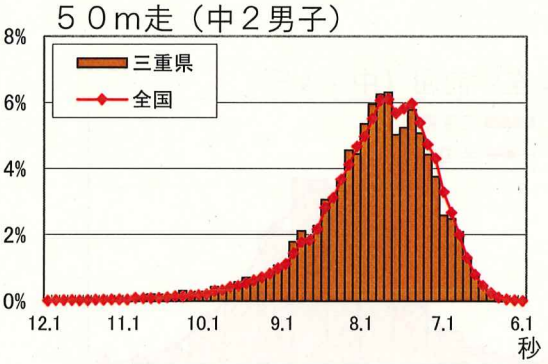
２０ｍシャトルラン（中２男子）



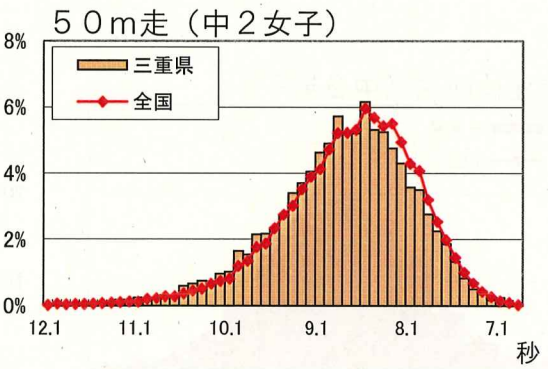
２０ｍシャトルラン（中２女子）



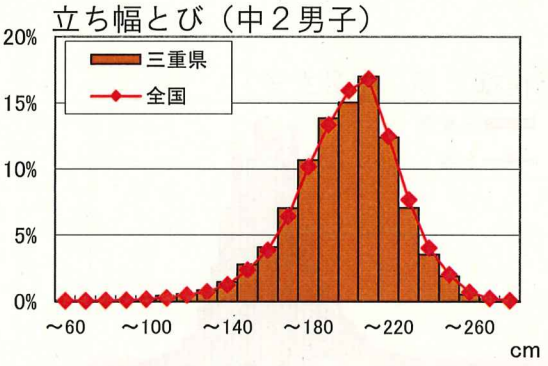
５０ｍ走（中２男子）



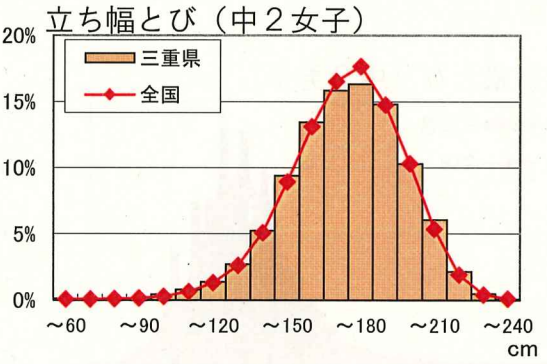
５０ｍ走（中２女子）



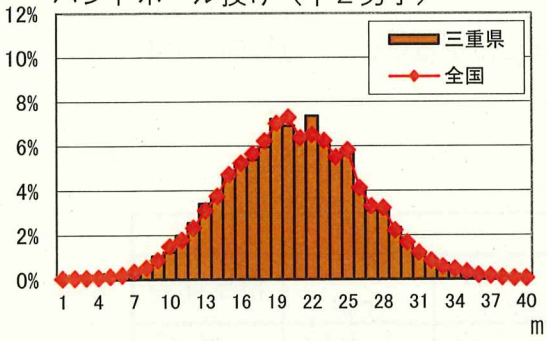
立ち幅とび（中２男子）



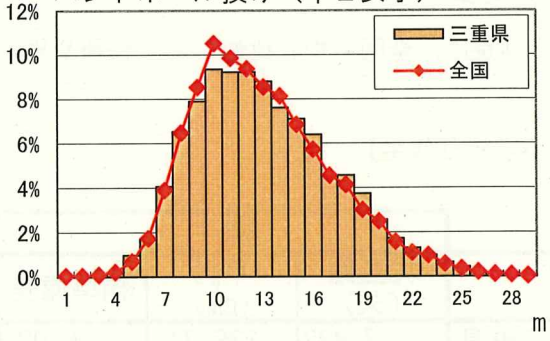
立ち幅とび（中２女子）



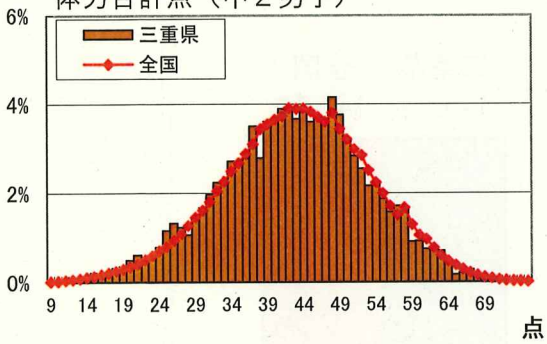
ハンドボール投げ（中２男子）



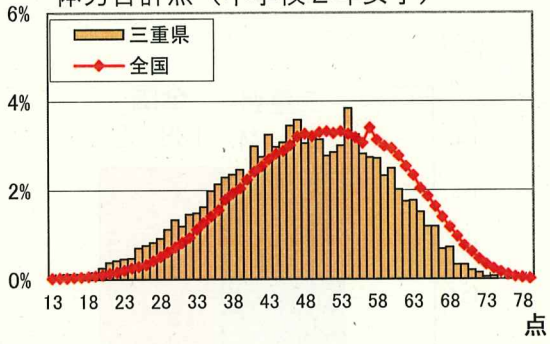
ハンドボール投げ（中２女子）



体力合計点（中２男子）



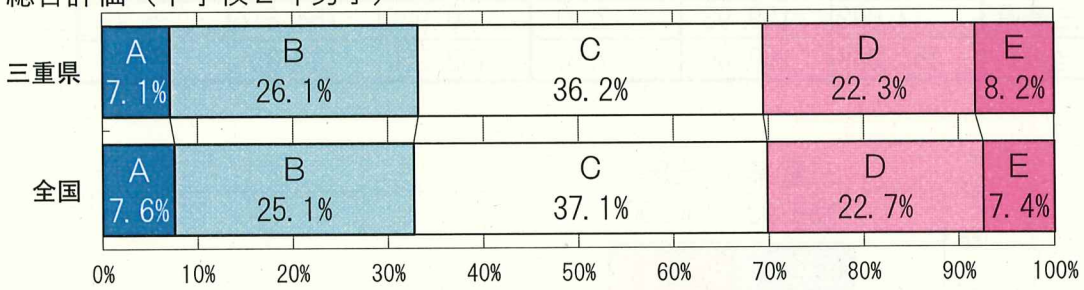
体力合計点（中学校２年女子）



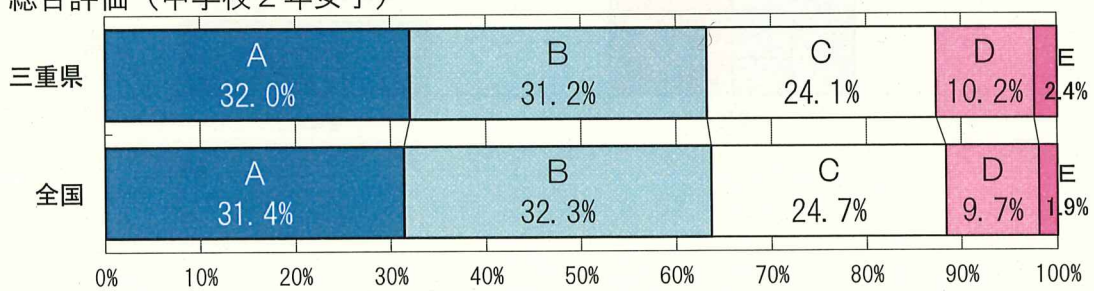
総合評価：新体力テストによる８種目の測定結果を種目別得点表によりそれぞれ採点し、すべての種目の合計点を男女別・年齢（学年）別に総合評価基準表に当てはめ、体力合計点が高い「A」から、体力合計点が低い「E」までの５段階に評価したもの。

中学校２年生	A	B	C	D	E
体力合計点（点）	57以上	56～47	46～37	36～27	26以下

総合評価（中学校２年男子）



総合評価（中学校２年女子）



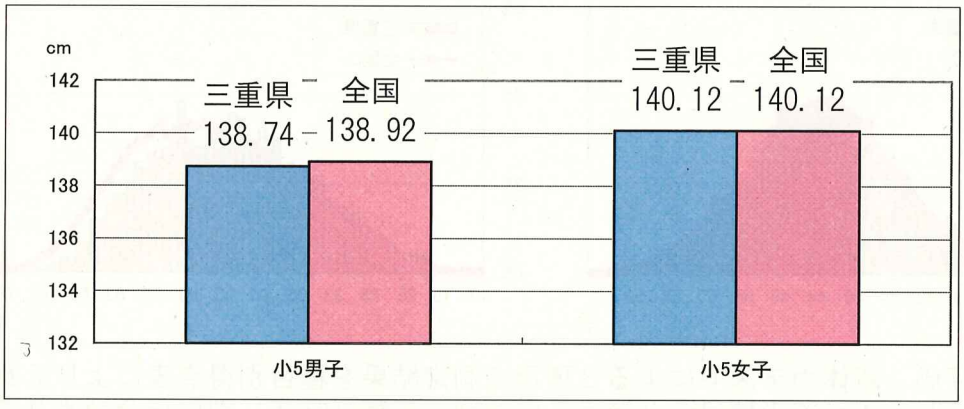
2　体格と肥満度に関する調査の結果

（１）身長

身長は、全国平均と比較して、校種や男女の別にかかわりなく、ほぼ同じであった。

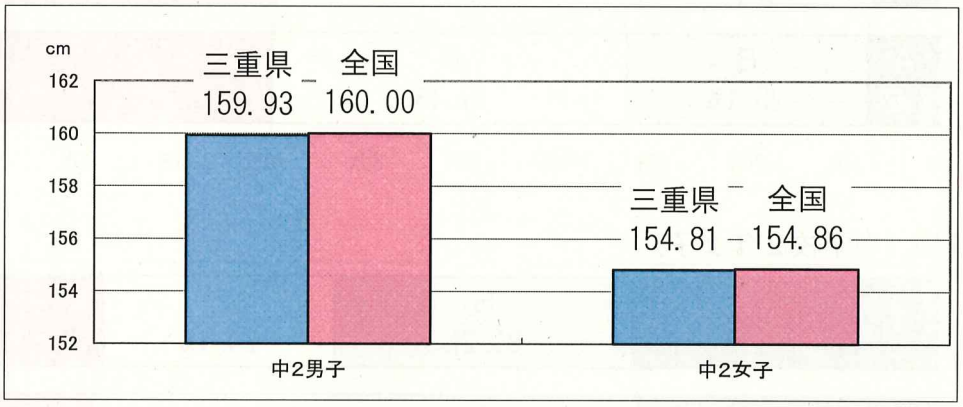
【小学校５年生】

	男子			女子		
	児童数（人）	平均（cm）	標準偏差	児童数（人）	平均（cm）	標準偏差
三重県	7,822	138.74	6.08	7,632	140.12	6.80
全国	523,400	138.92	6.15	504,519	140.12	6.79



【中学校２年生】

	男子			女子		
	生徒数（人）	平均（cm）	標準偏差	生徒数（人）	平均（cm）	標準偏差
三重県	7,002	159.93	7.71	6,906	154.81	5.46
全国	451,358	160.00	7.67	432,960	154.86	5.40

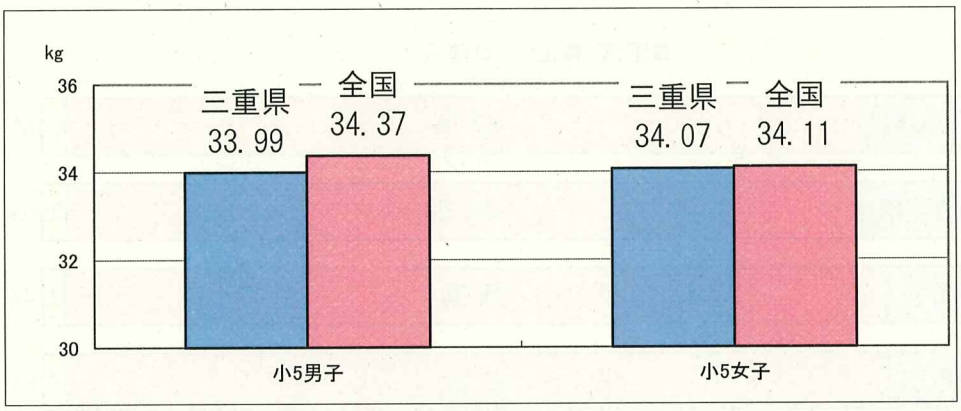


（２）体重

体重は、全国平均と比較して、校種や男女の別にかかわりなく、わずかに低かった。

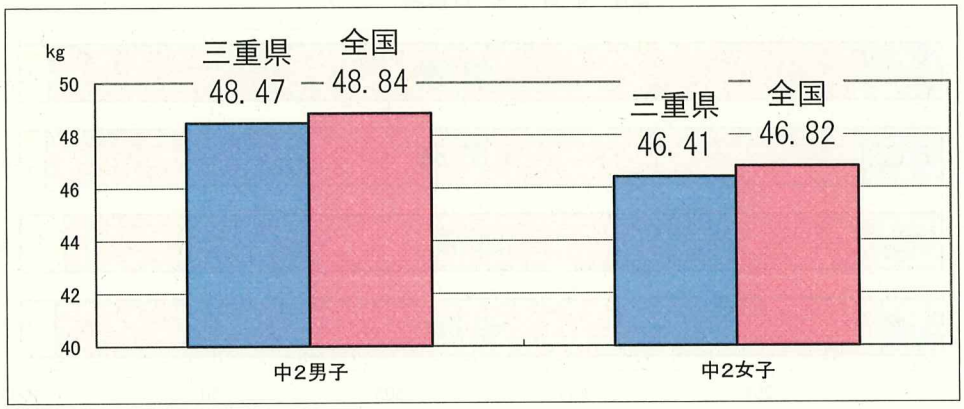
【小学校５年生】

	男子			女子		
	児童数（人）	平均（kg）	標準偏差	児童数（人）	平均（kg）	標準偏差
三重県	7,826	33.99	7.12	7,614	34.07	6.90
全国	523,113	34.37	7.40	503,331	34.11	6.88



【中学校２年生】

	男子			女子		
	生徒数（人）	平均（kg）	標準偏差	生徒数（人）	平均（kg）	標準偏差
三重県	6,973	48.47	9.56	6,739	46.41	7.42
全国	449,531	48.84	9.71	426,568	46.82	7.28



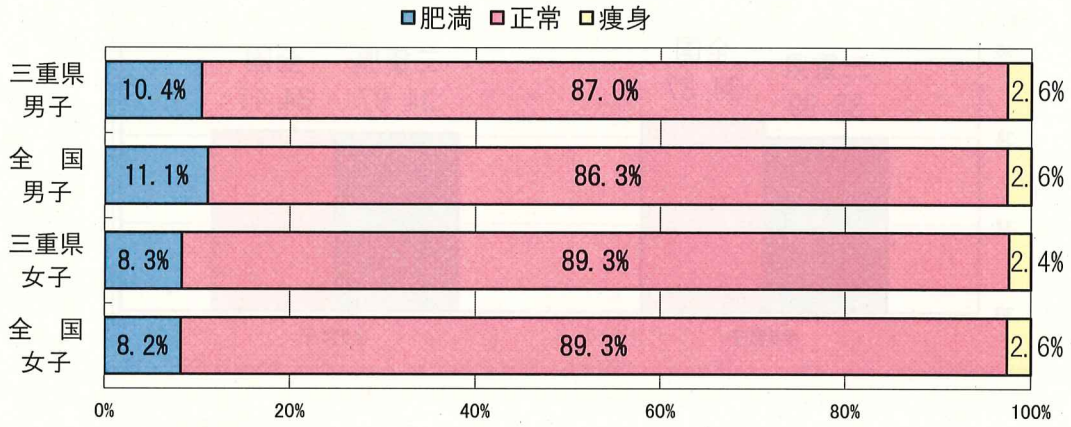
（３）肥満傾向児・痩身傾向児の出現率（%）

肥満傾向児・痩身傾向児の出現率は、小学校の男女ともに、全国平均と比較して、ほとんど差がみられなかった。

中学校についても、小学校と同様であった。

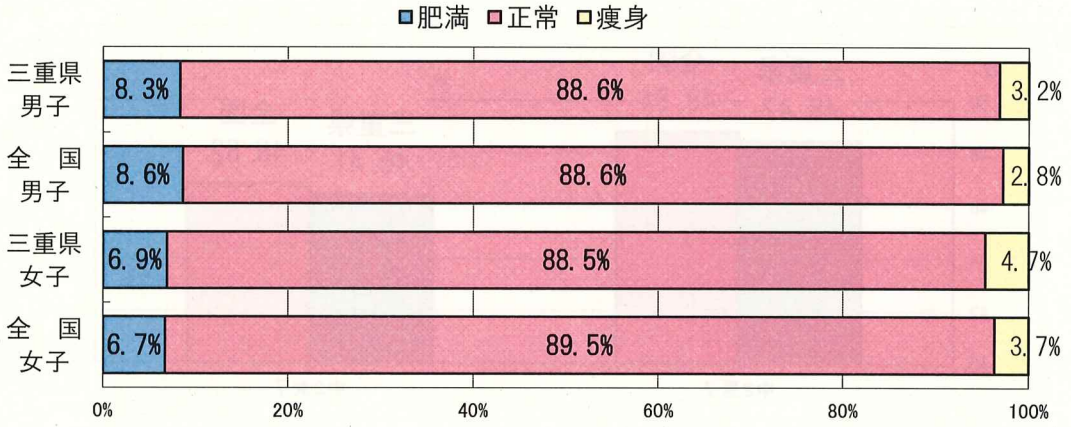
【小学校５年生】

	男子			女子		
	肥満	正常	痩身	肥満	正常	痩身
三重県	10.4%	87.0%	2.6%	8.3%	89.3%	2.4%
全国	11.1%	86.3%	2.6%	8.2%	89.3%	2.6%



【中学校２年生】

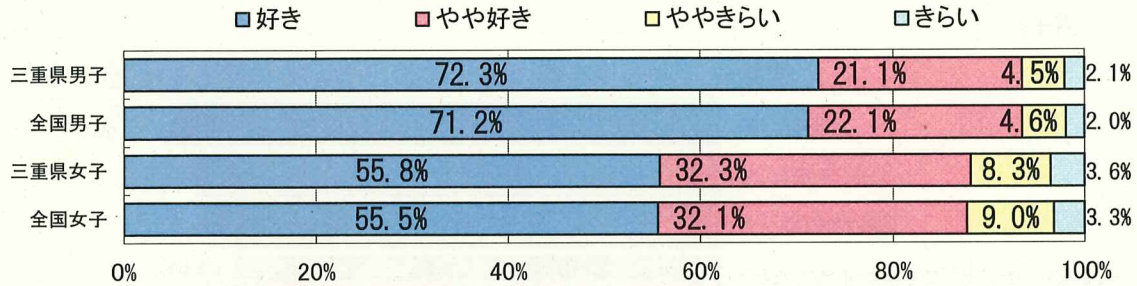
	男子			女子		
	肥満	正常	痩身	肥満	正常	痩身
三重県	8.3%	88.6%	3.2%	6.9%	88.5%	4.7%
全国	8.6%	88.6%	2.8%	6.7%	89.5%	3.7%



3　児童生徒質問紙調査の結果

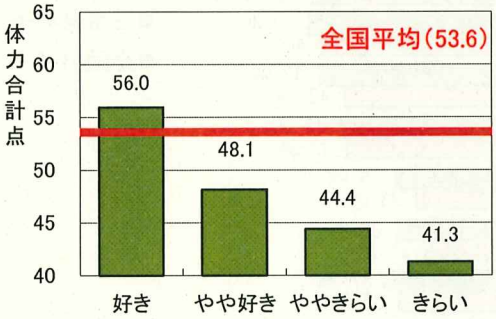
（１）運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。

【小学校５年生】

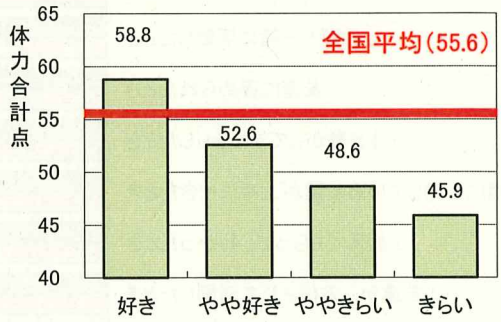


体力合計点との関連

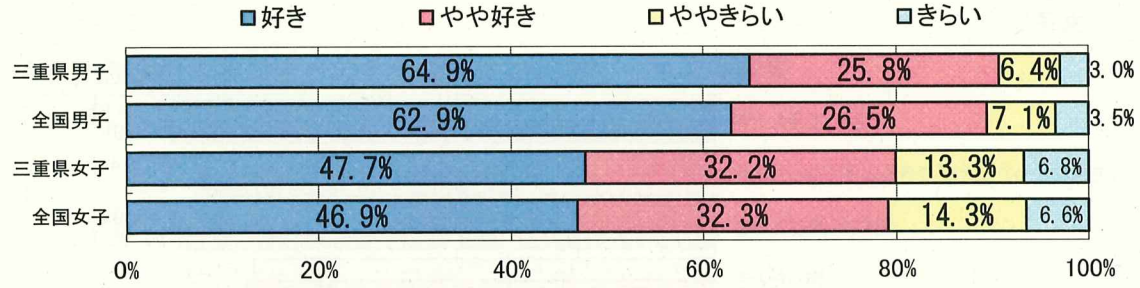
（男子）



（女子）

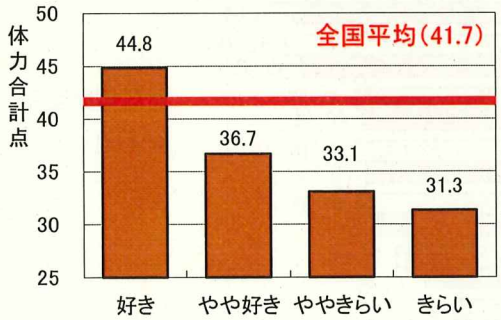


【中学校２年生】

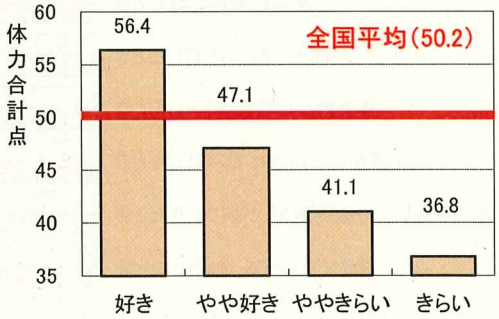


体力合計点との関連

（男子）



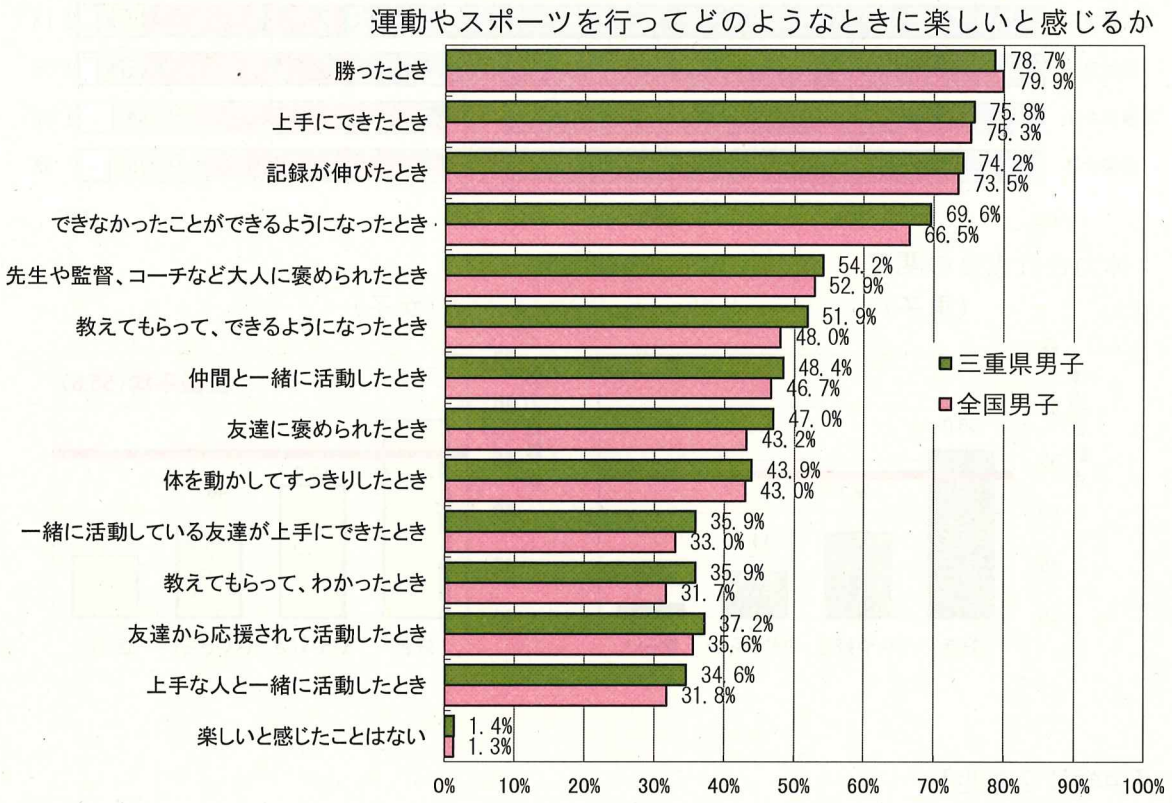
（女子）



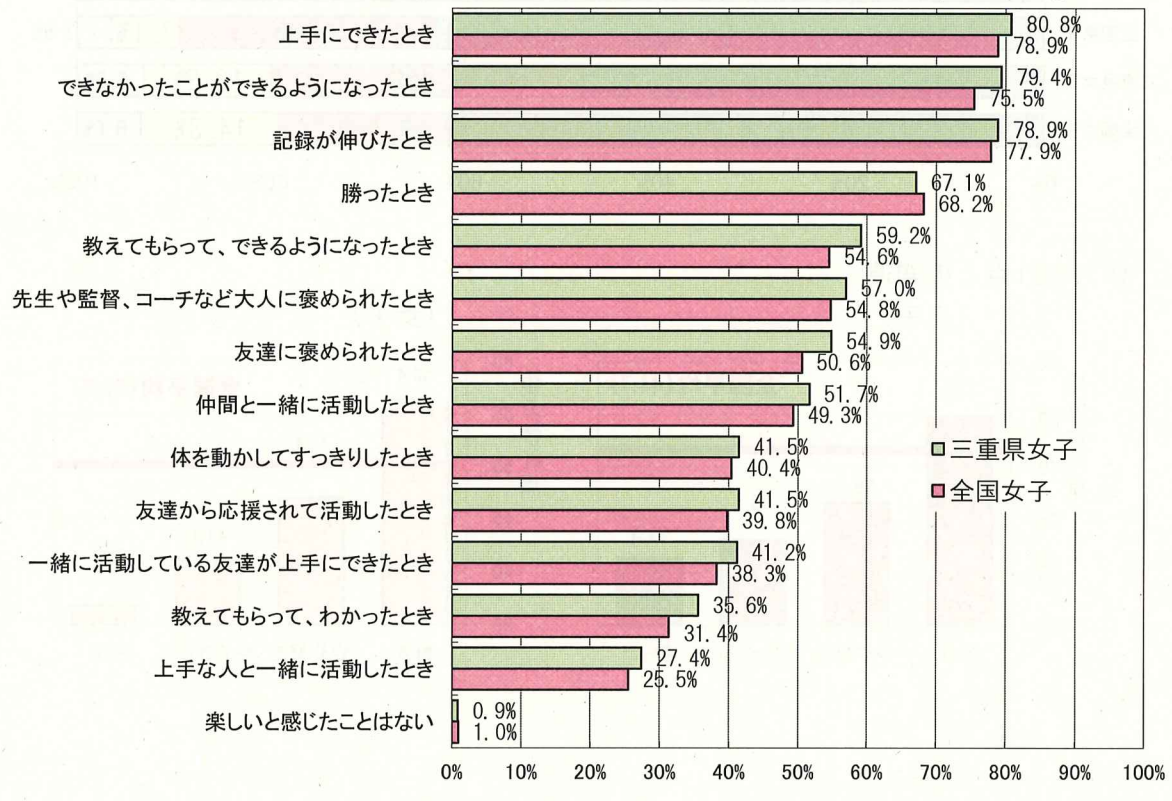
（２）運動やスポーツを行って楽しいと感じたのは、どのようなときですか。
（複数回答可）

【小学校５年生】

（男子）



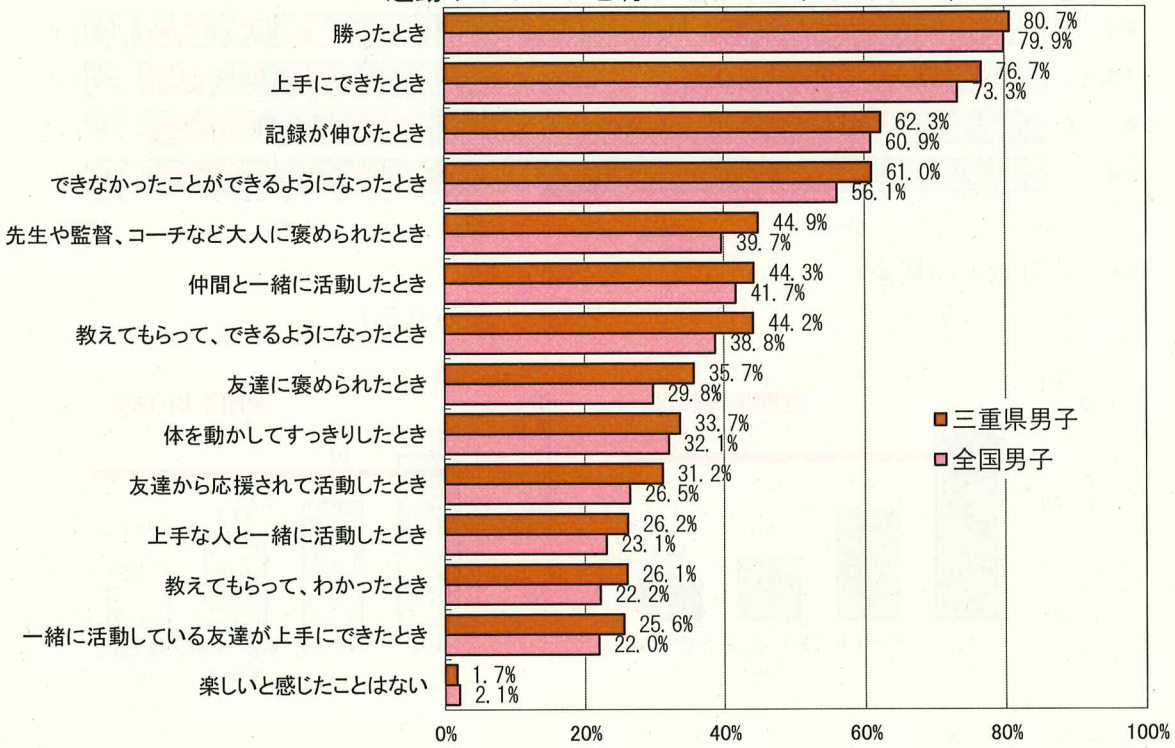
（女子）



【中学校２年生】

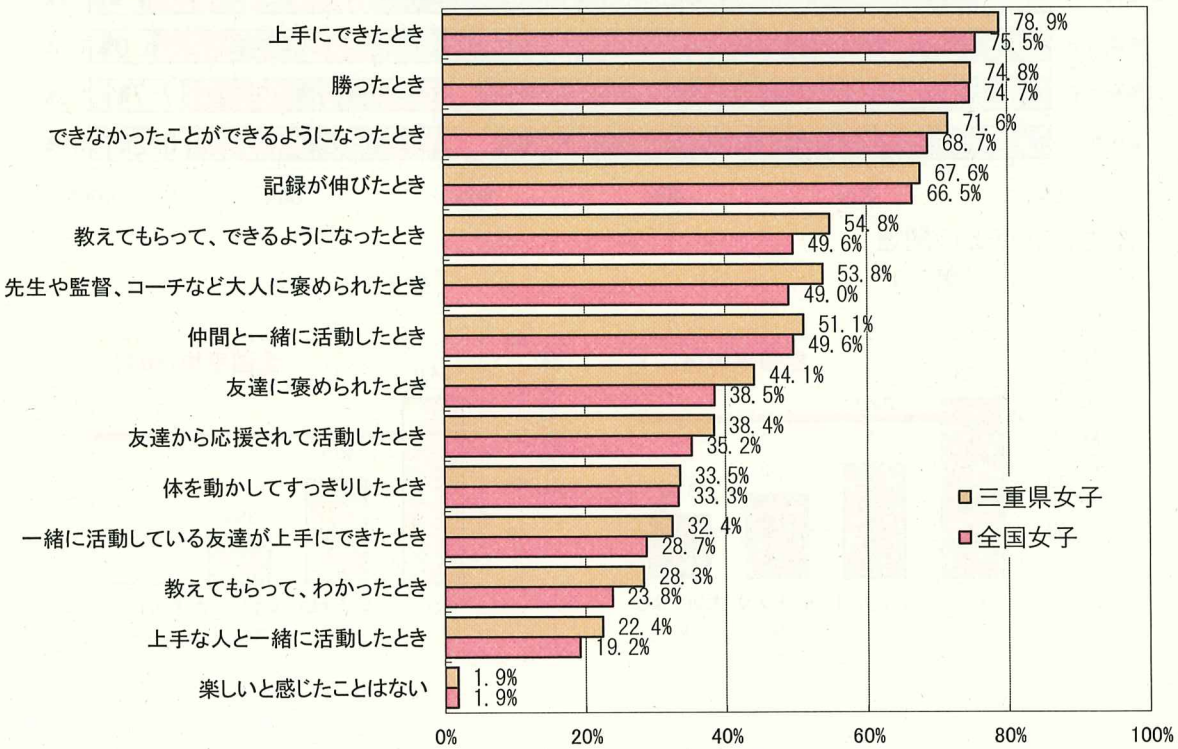
（男子）

運動やスポーツを行ってどのようなときに楽しいと感じるか



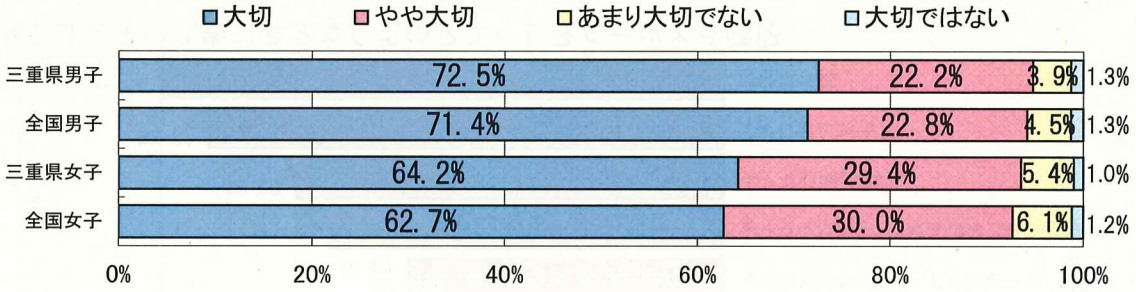
（女子）

運動やスポーツを行ってどのようなときに楽しいと感じるか



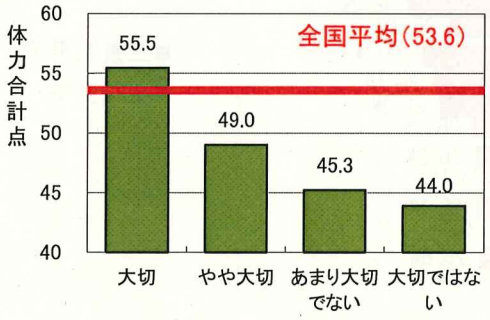
（３）あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切なものですか。

【小学校５年生】

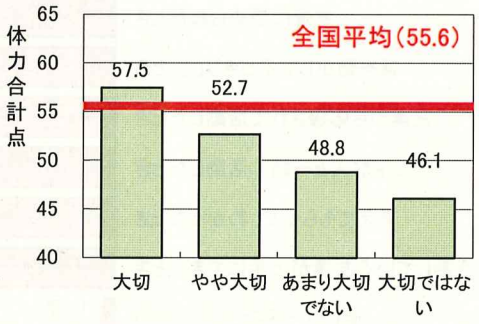


体力合計点との関連

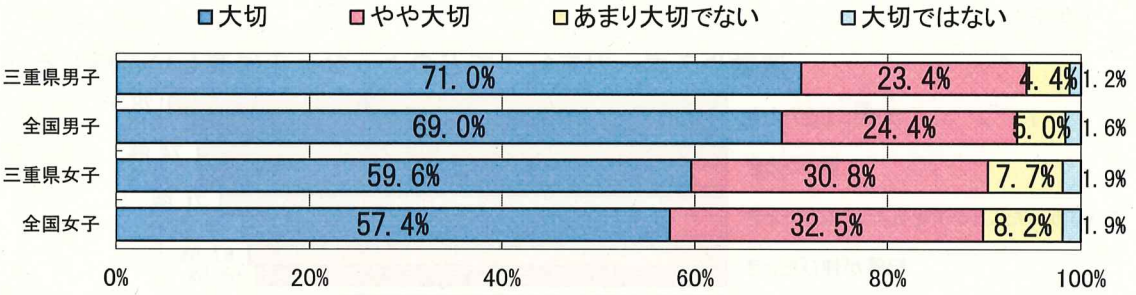
（男子）



（女子）

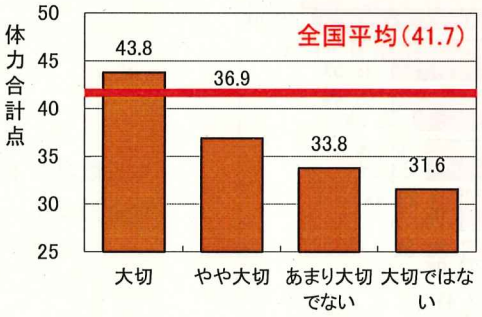


【中学校２年生】

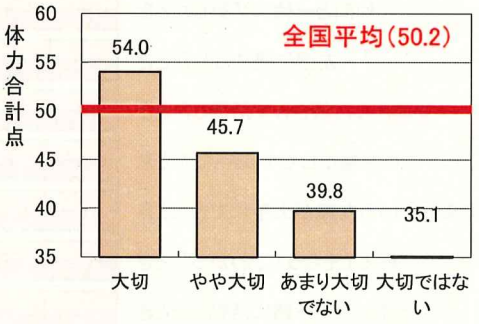


体力合計点との関連

（男子）

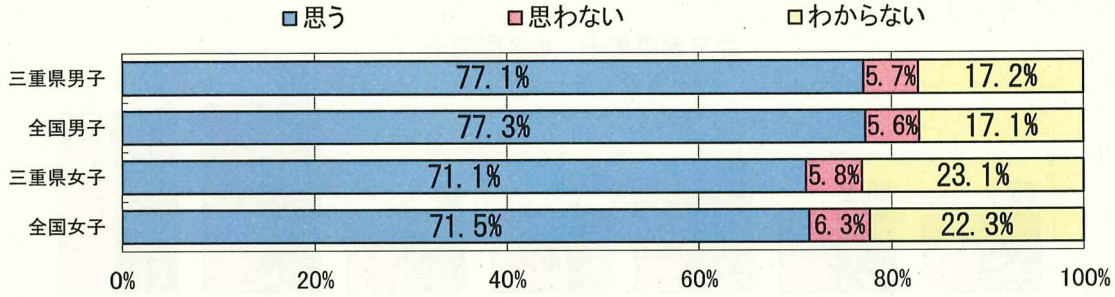


（女子）



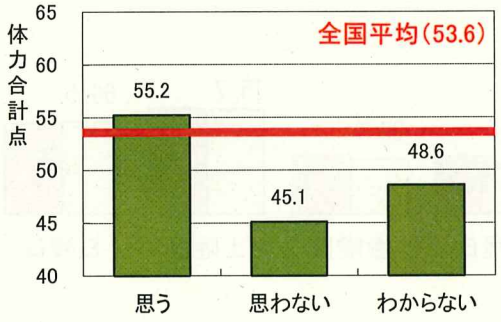
（４）中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。

【小学校５年生】

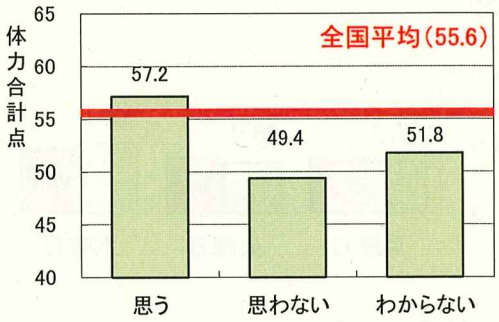


体力合計点との関連

（男子）

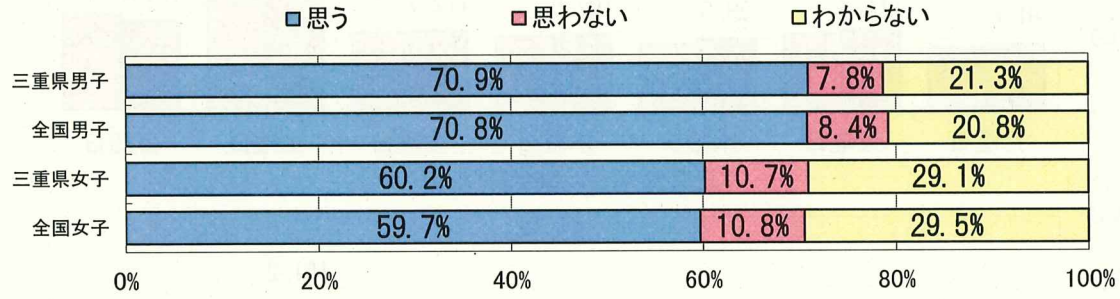


（女子）



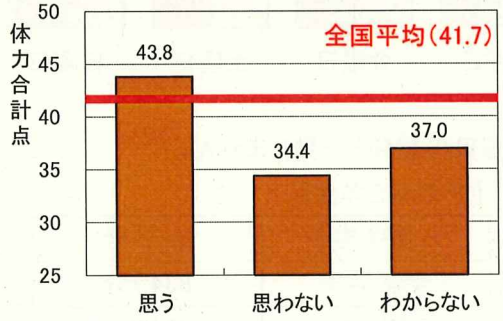
（５）中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。

【中学校２年生】

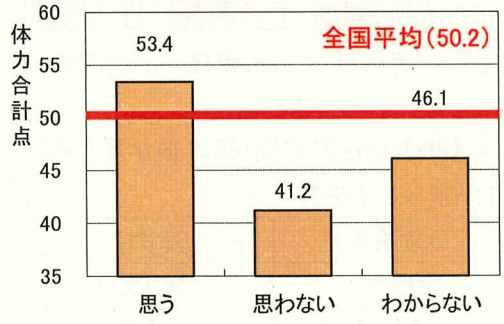


体力合計点との関連

（男子）



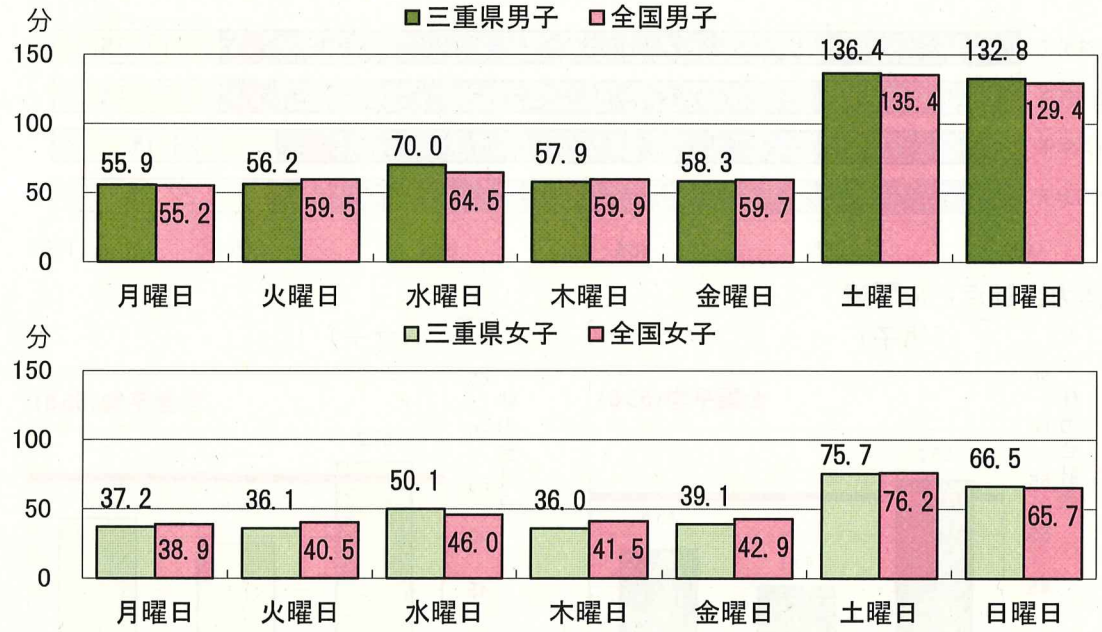
（女子）



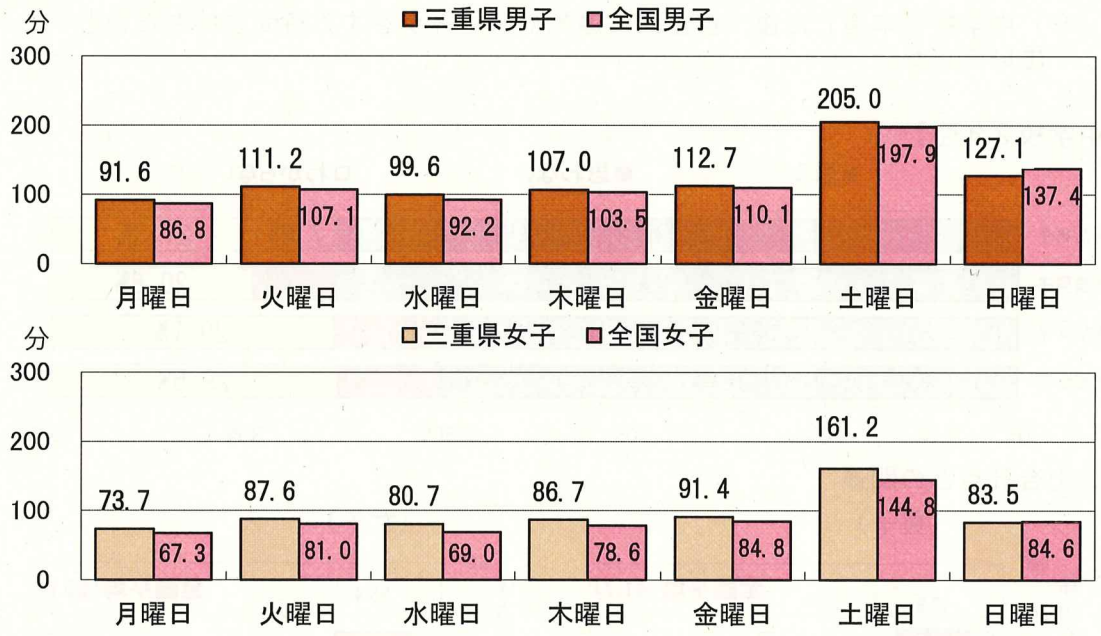
（６）学校の体育・保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で１日およそどのくらいしていますか。（曜日ごとに記入）

① 曜日毎の1日の平均運動時間

【小学校５年生】



【中学校２年生】



1週間の総運動時間（標本数が異なるため、各曜日の総和と一致しません）

【小学校5年生】

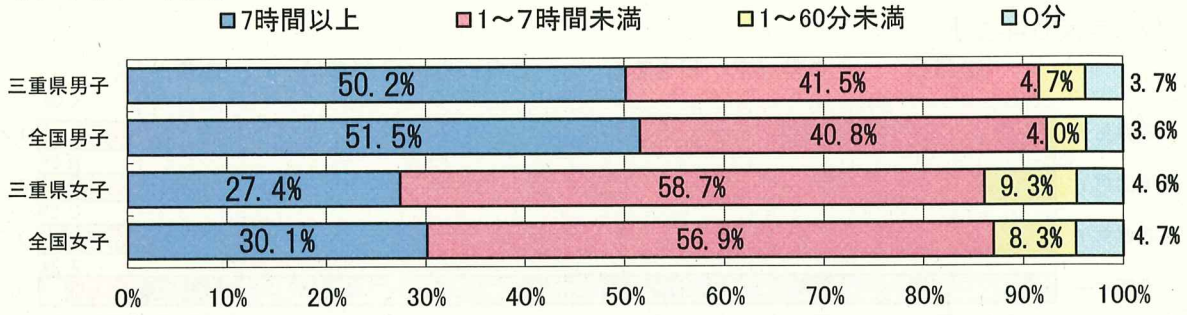
三重県男子	561.2分
全国男子	558.1分
三重県女子	337.7分
全国女子	349.6分

【中学校2年生】

三重県男子	853.9分
全国男子	834.7分
三重県女子	664.8分
全国女子	609.9分

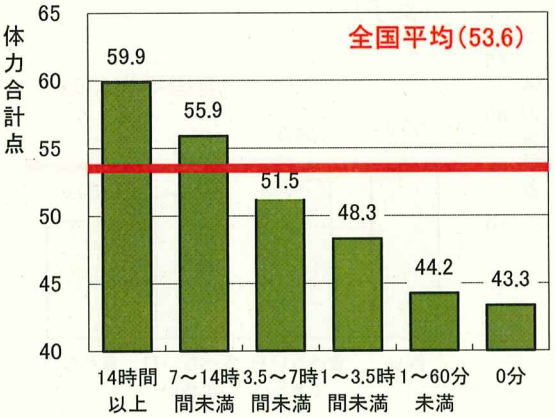
１週間の総運動時間と体力合計点の関連

【小学校５年生】



体力合計点の関連

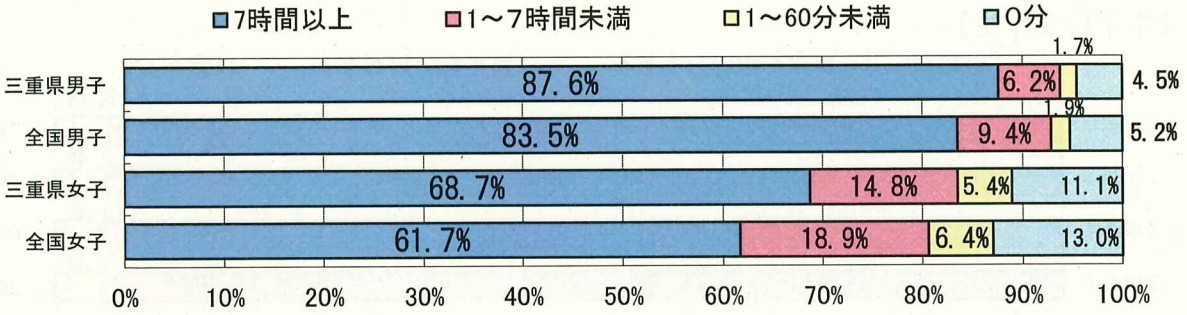
（男子）



（女子）

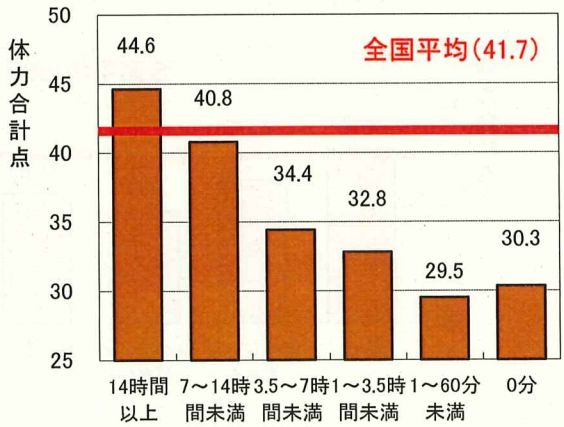


【中学校2年生】

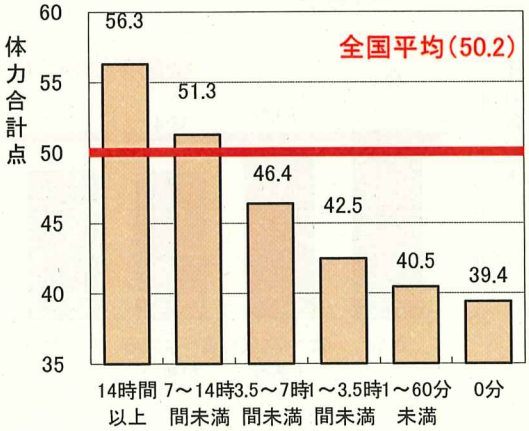


体力合計点の関連

（男子）

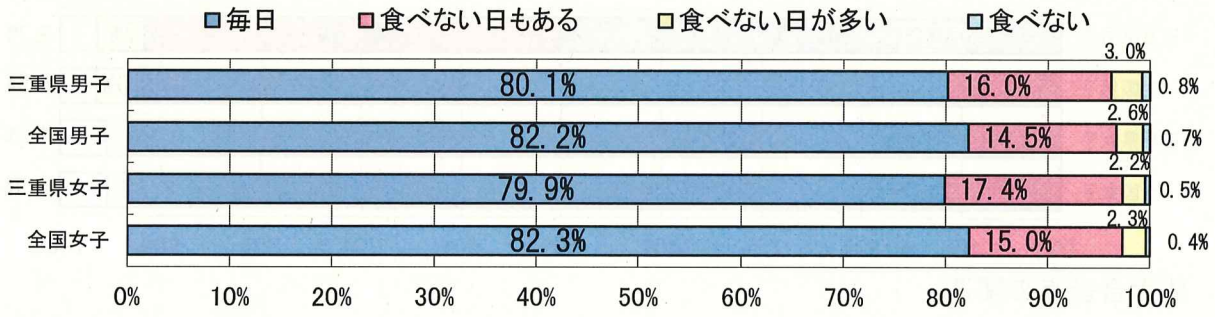


（女子）



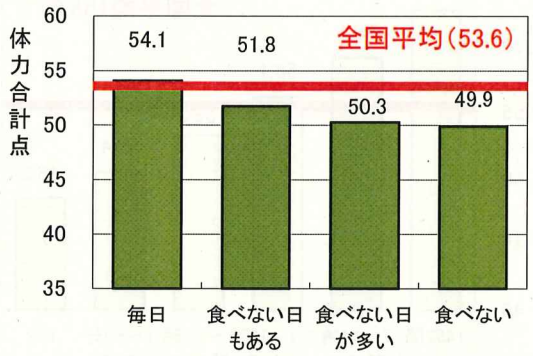
（７）朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日も含める）

【小学校５年生】

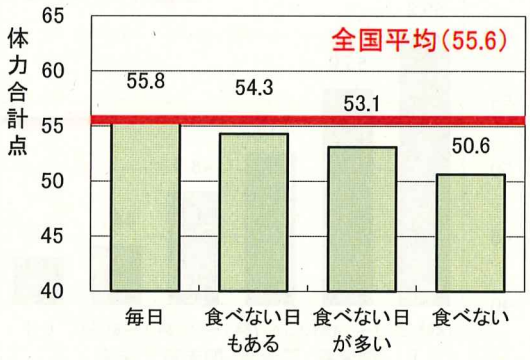


体力合計点との関連

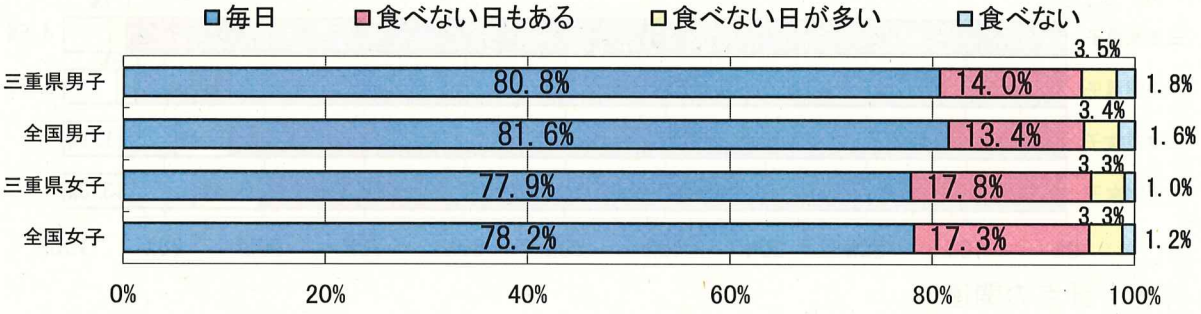
（男子）



（女子）

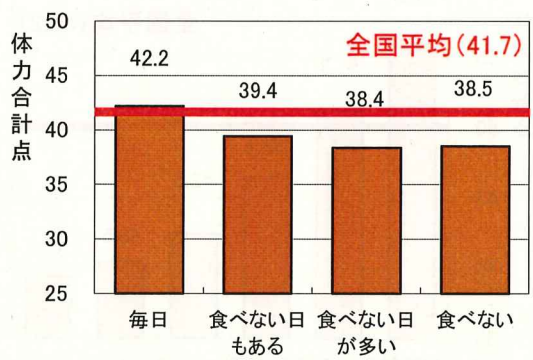


【中学校２年生】

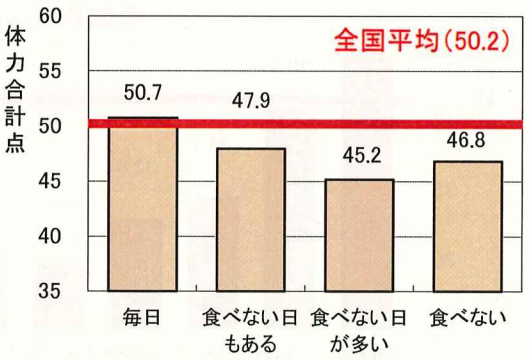


体力合計点との関連

（男子）

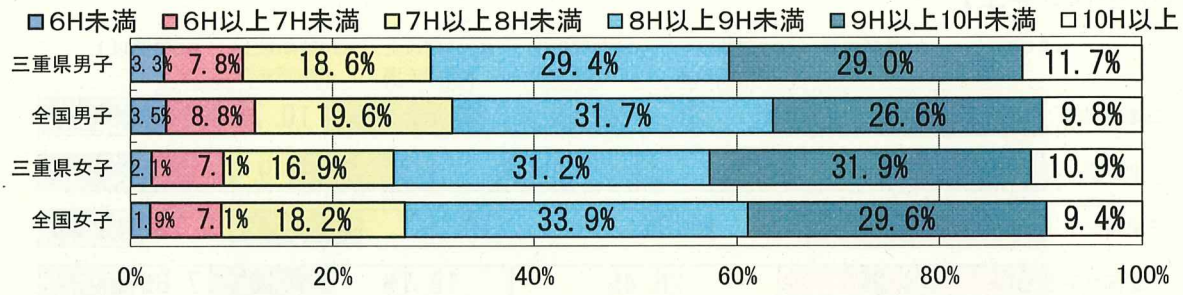


（女子）



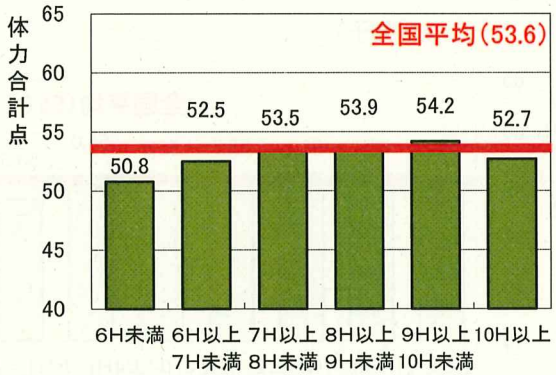
（８）毎日どのくらい寝ていますか。

【小学校５年生】

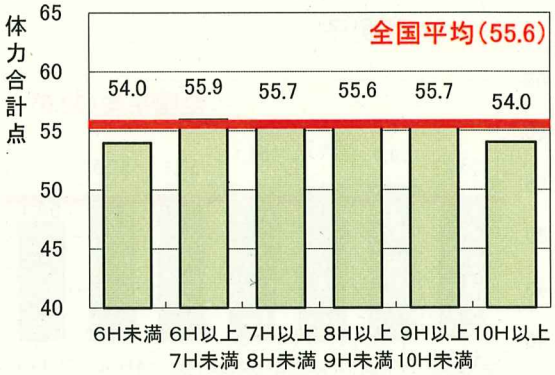


体力合計点との関連

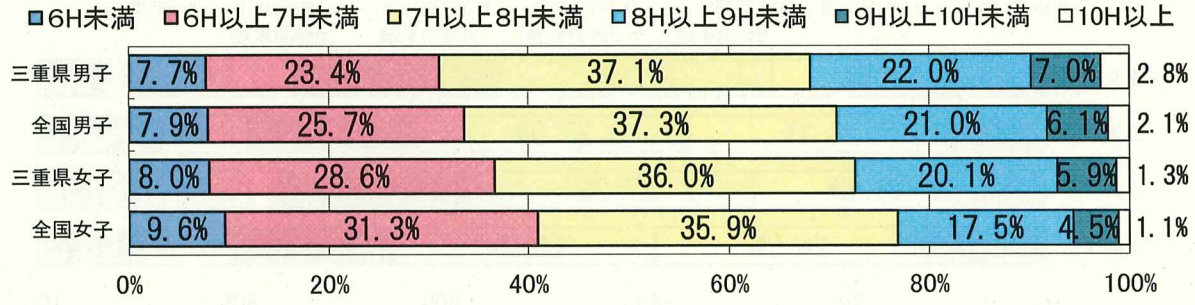
（男子）



（女子）

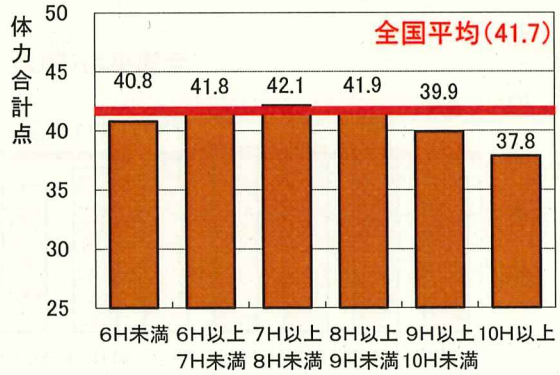


【中学校２年生】

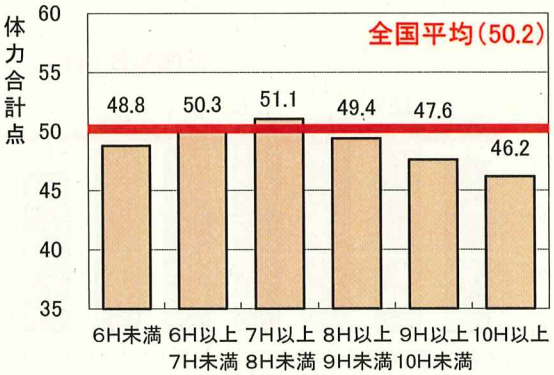


体力合計点との関連

（男子）

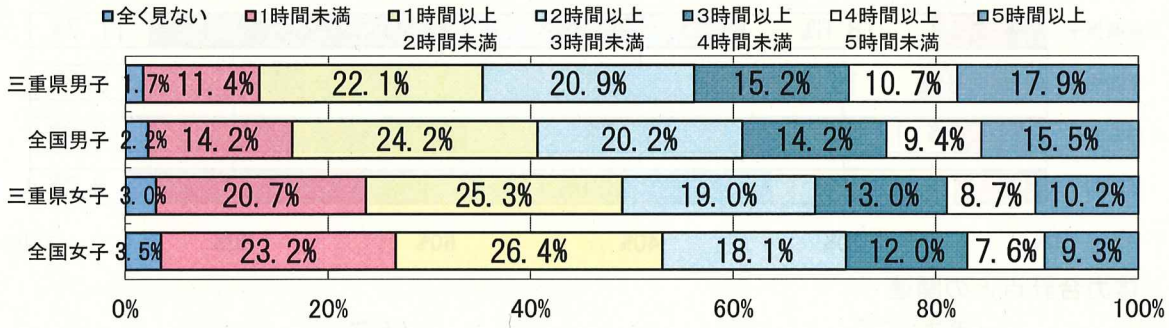


（女子）



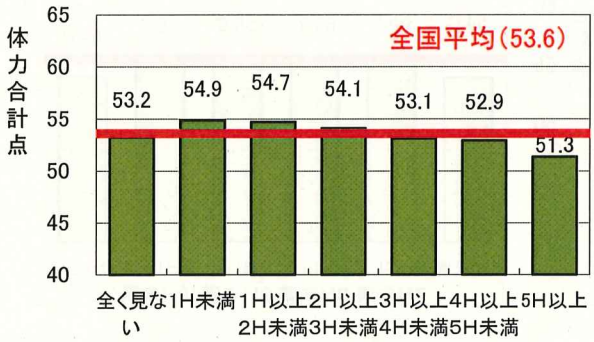
（９）ふだんの平日（月～金曜日）に、１日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

【小学校５年生】

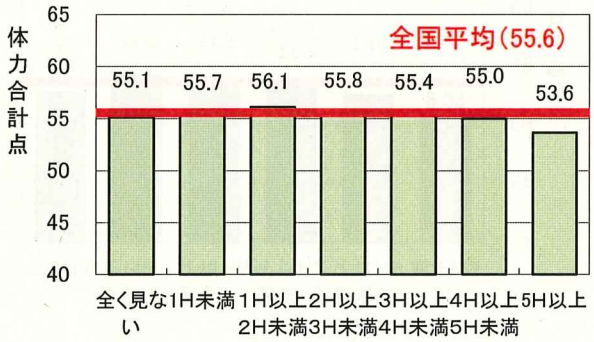


体力合計点との関連

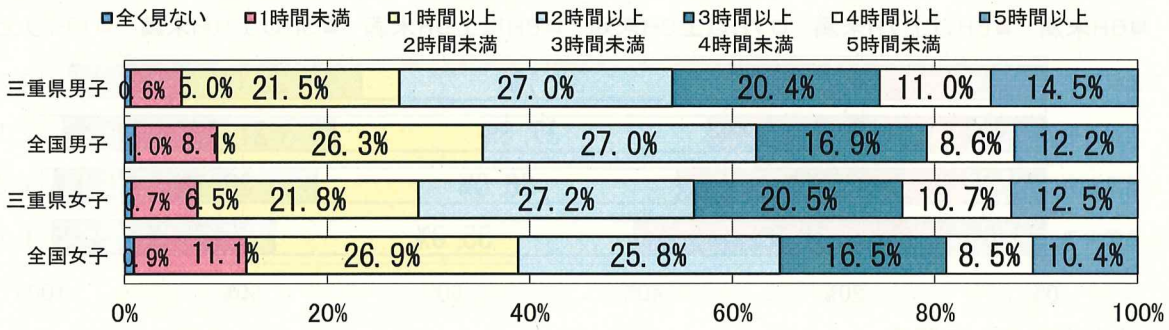
（男子）



（女子）

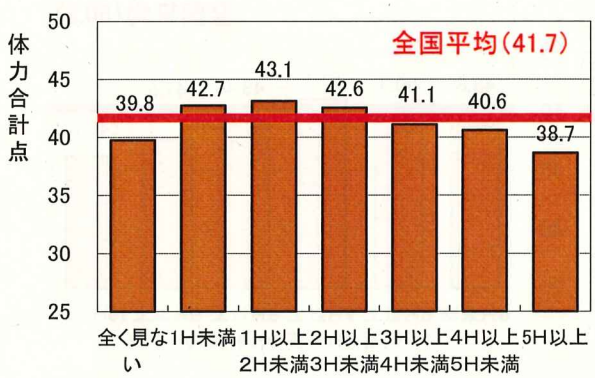


【中学校２年生】

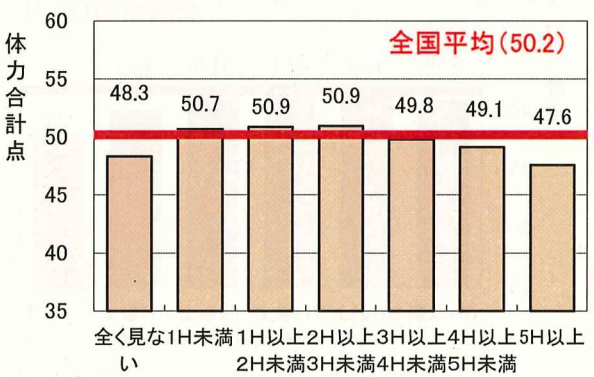


体力合計点との関連

（男子）

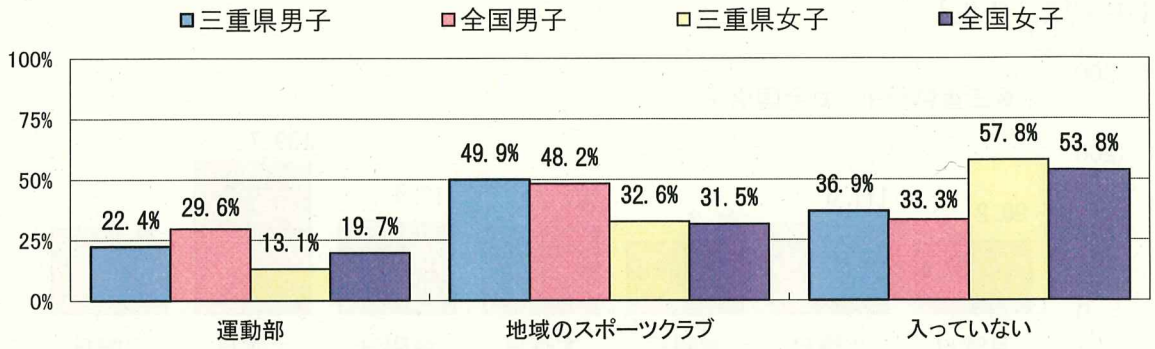


（女子）



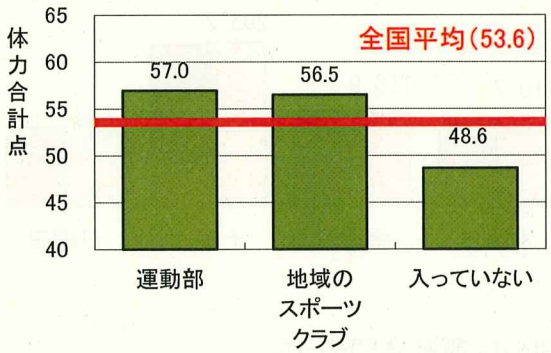
（10）学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。（複数回答可）

【小学校５年生】

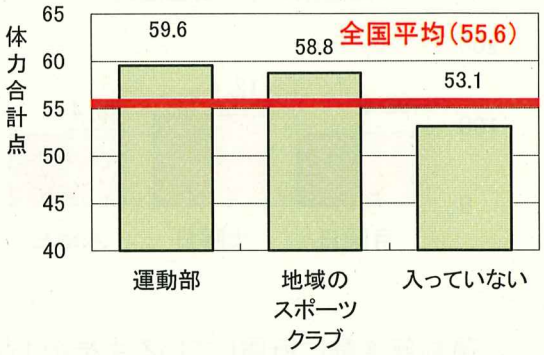


体力合計点との関連

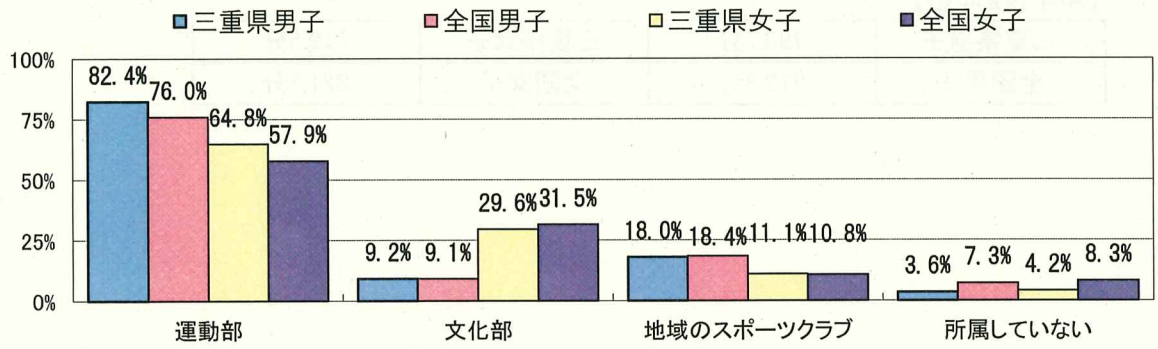
（男子）



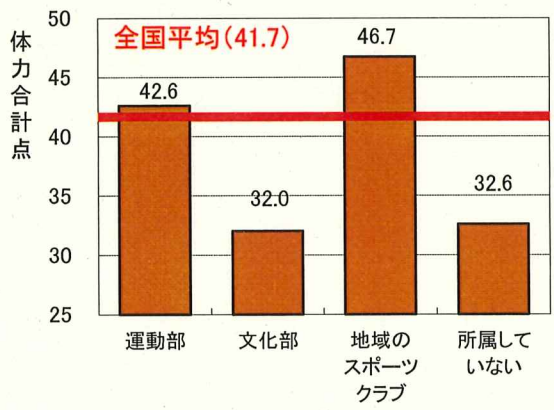
（女子）

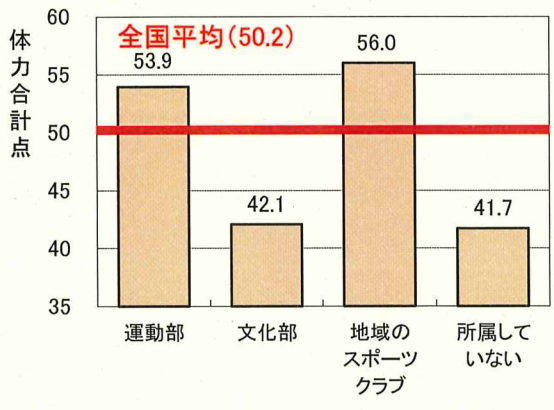


【中学校２年生】



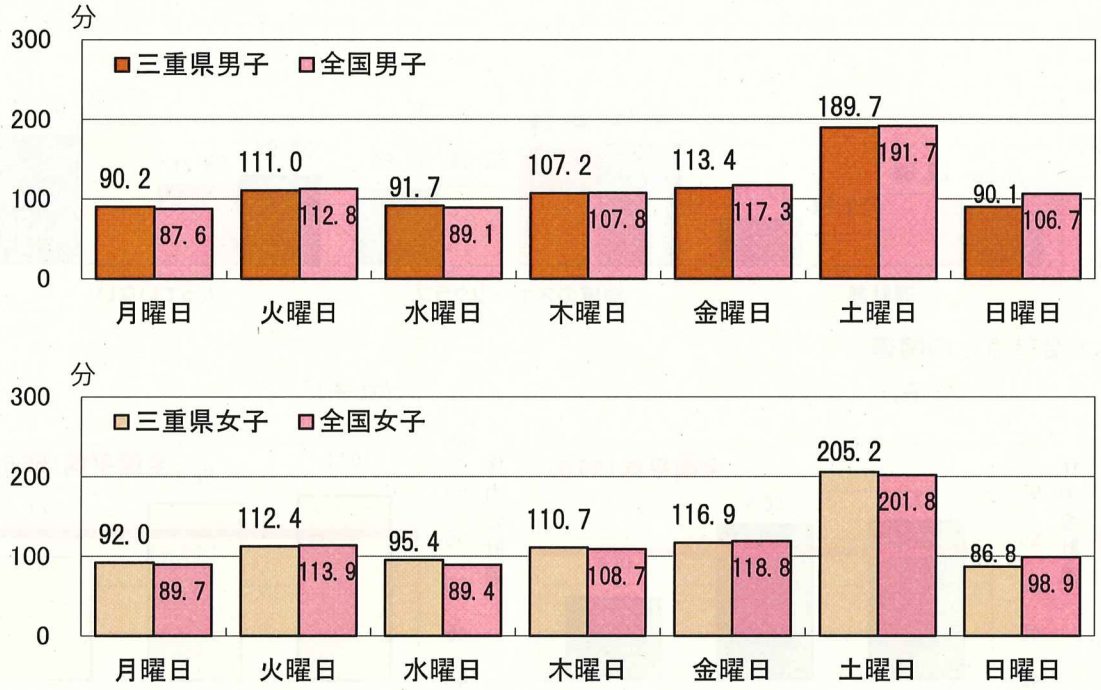
体力合計点との関連





（11）運動部活動に所属している生徒の１日の運動時間のうち、運動部活動が占める時間（曜日ごと）

【中学校２年生】



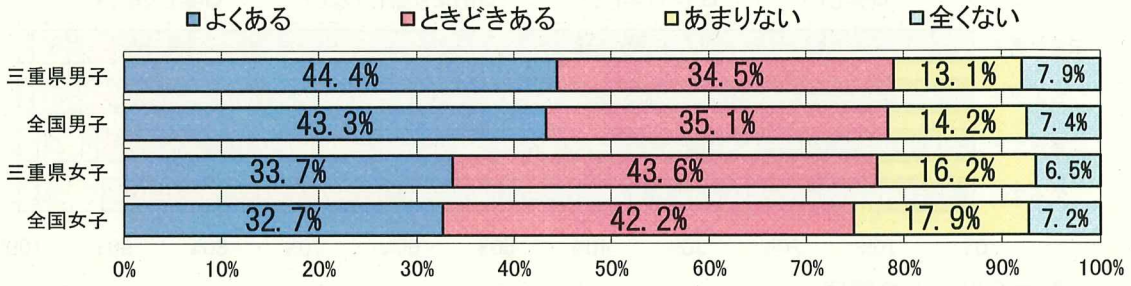
運動部活動に所属している生徒の１週間の総運動時間のうち、
運動部活動が占める時間

【中学校2年生】

三重県男子	793.2分	三重県女子	819.5分
全国男子	812.8分	全国女子	821.1分

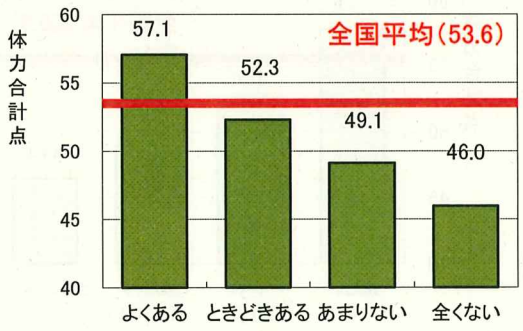
（12）放課後や学校が休みの日に、運動部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがありますか。

【小学校５年生】

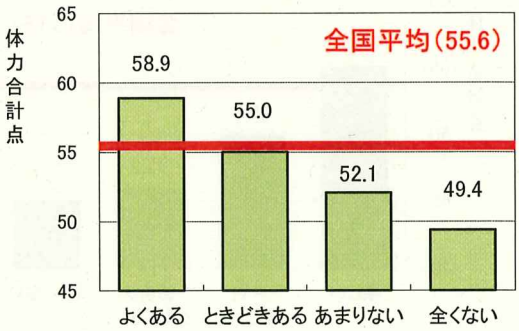


体力合計点との関連

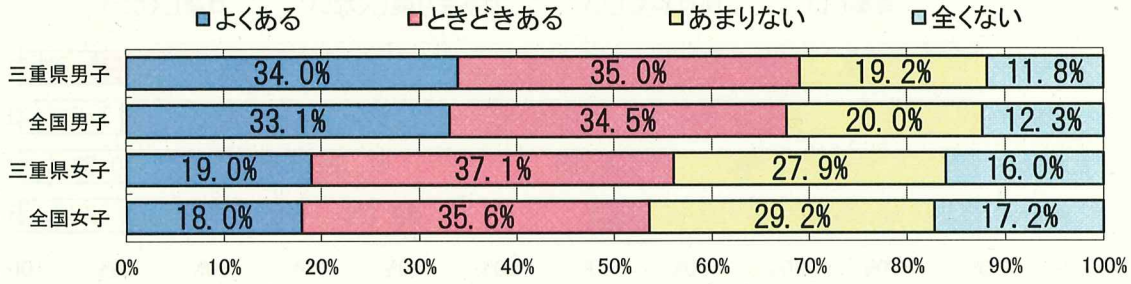
（男子）



（女子）

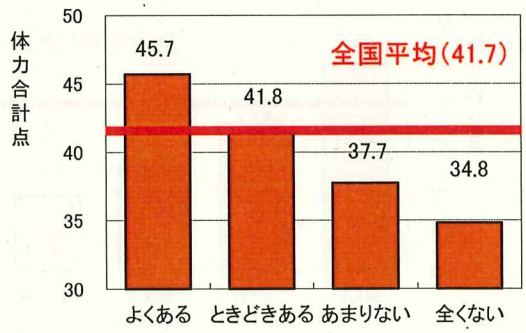


【中学校２年生】

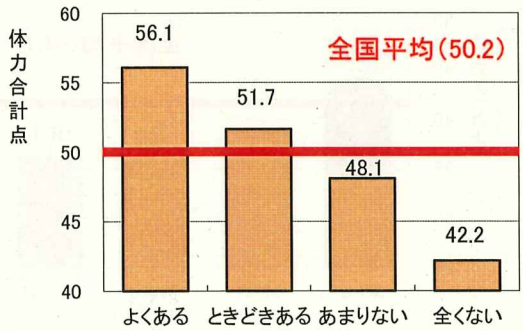


体力合計点との関連

（男子）

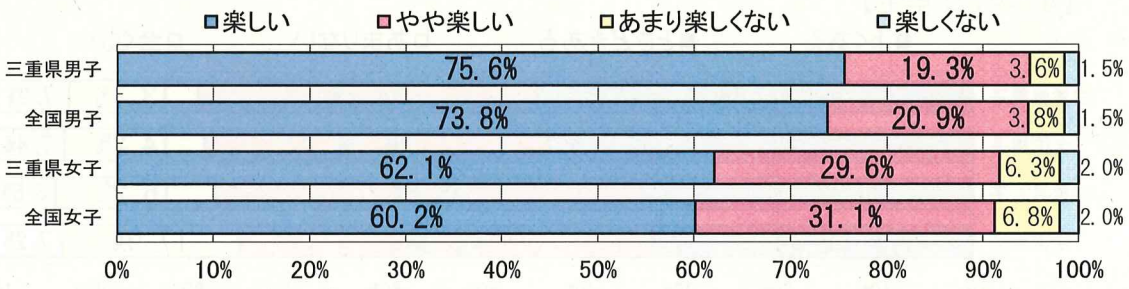


（女子）



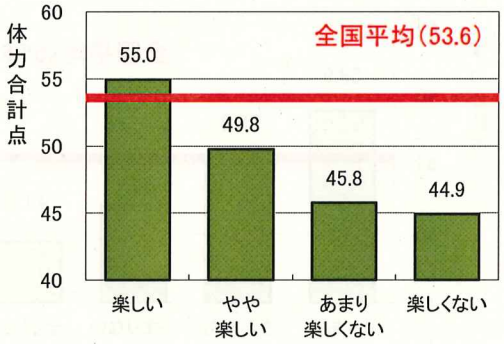
（13）体育・保健体育の授業は楽しいですか。

【小学校５年生】

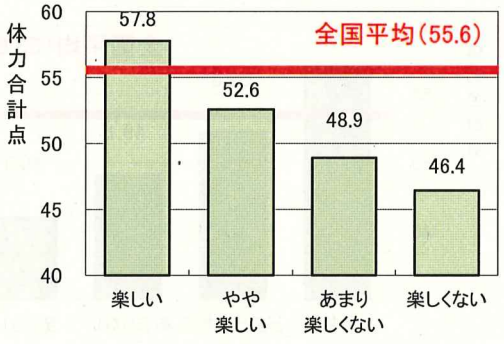


体力合計点との関連

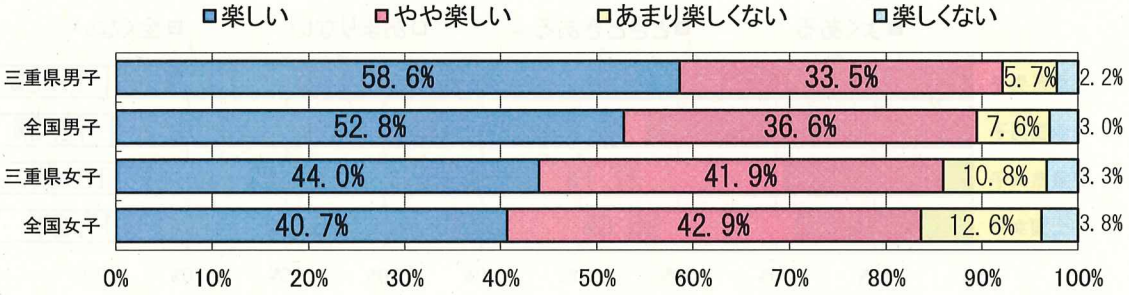
（男子）



（女子）

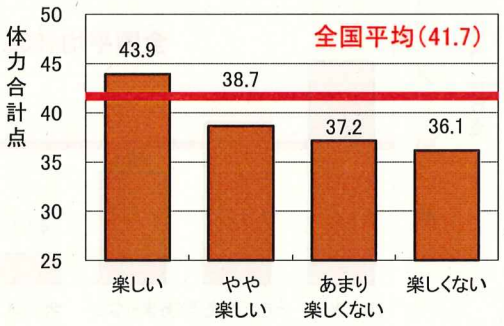


【中学校２年生】

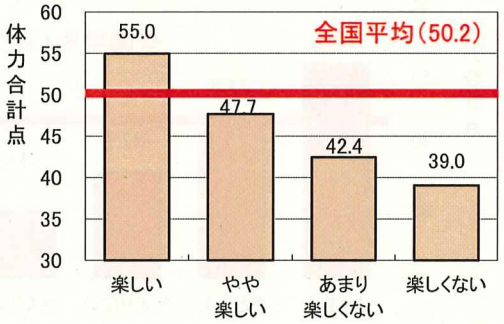


体力合計点との関連

（男子）

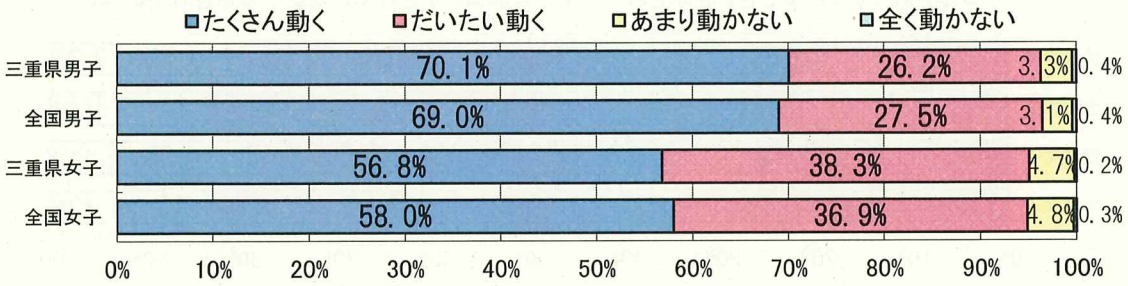


（女子）



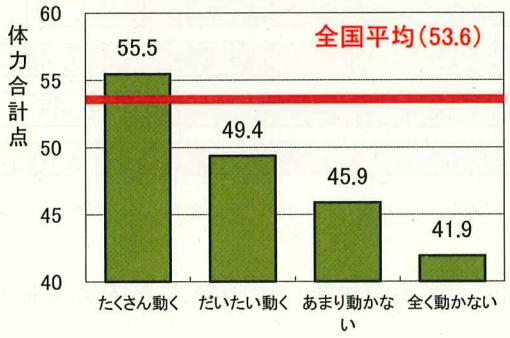
（14）体育・保健体育の授業ではたくさん動きますか（十分に体を動かしていると思いますか）

【小学校５年生】

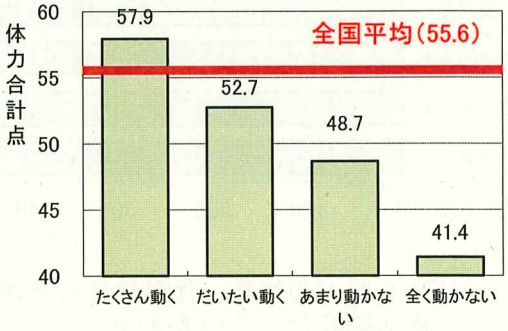


体力合計点との関連

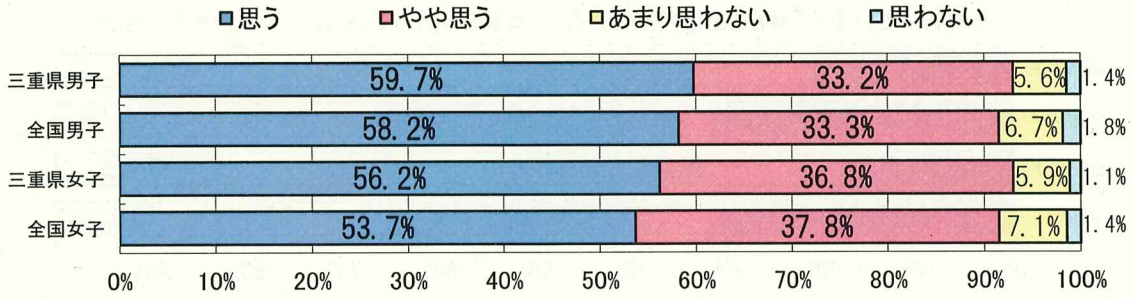
（男子）



（女子）

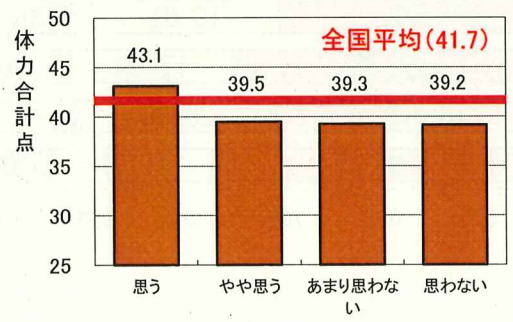


【中学校２年生】

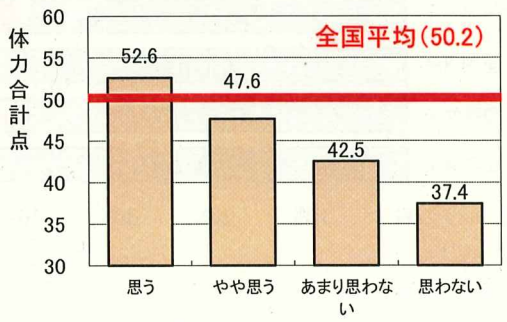


体力合計点との関連

（男子）

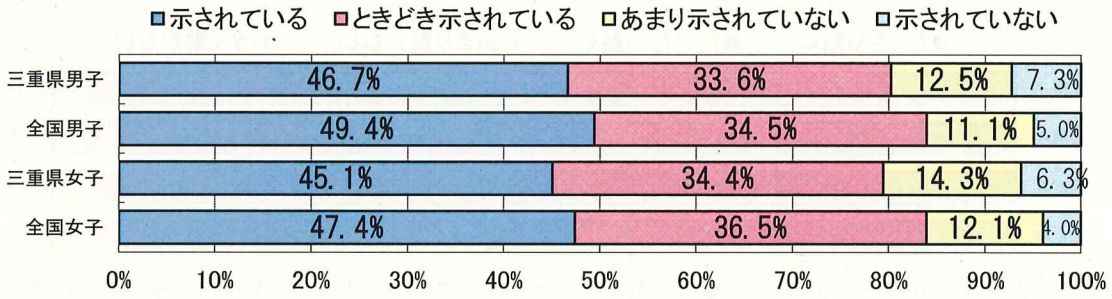


（女子）

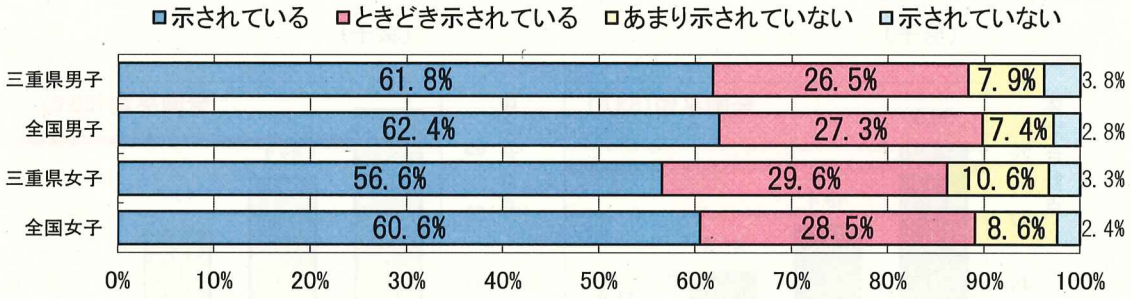


（15）ふだんの体育・保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていますか。

【小学校５年生】

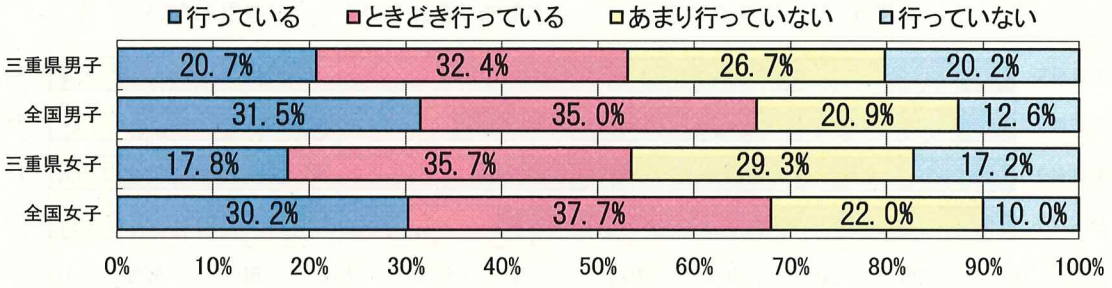


【中学校２年生】

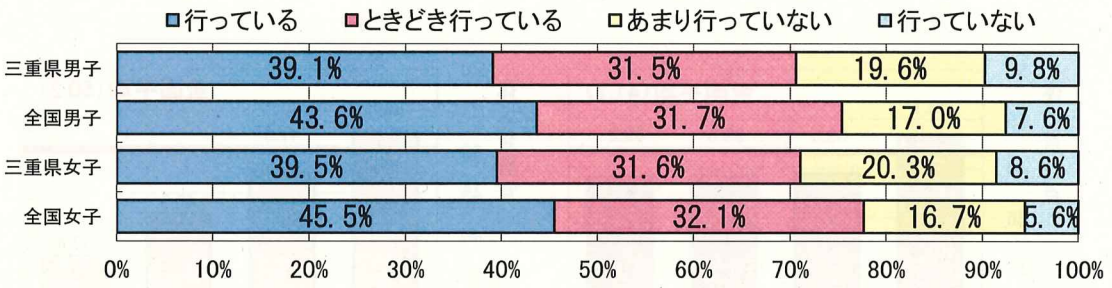


（16）ふだんの体育・保健体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っていますか。

【小学校５年生】

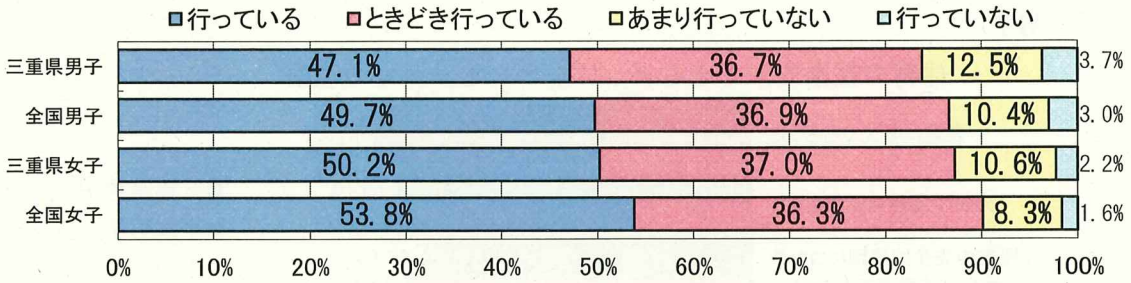


【中学校２年生】

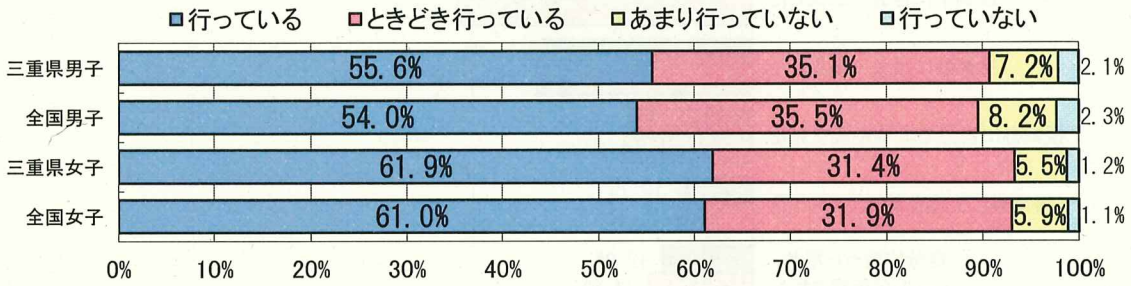


（17）ふだんの体育・保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。

【小学校５年生】

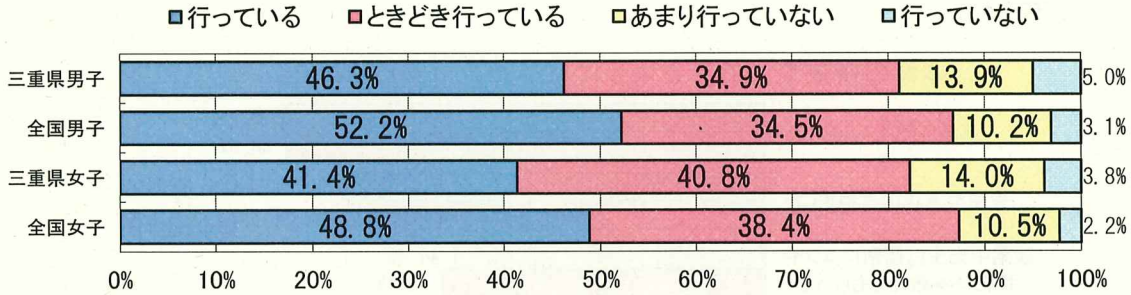


【中学校２年生】

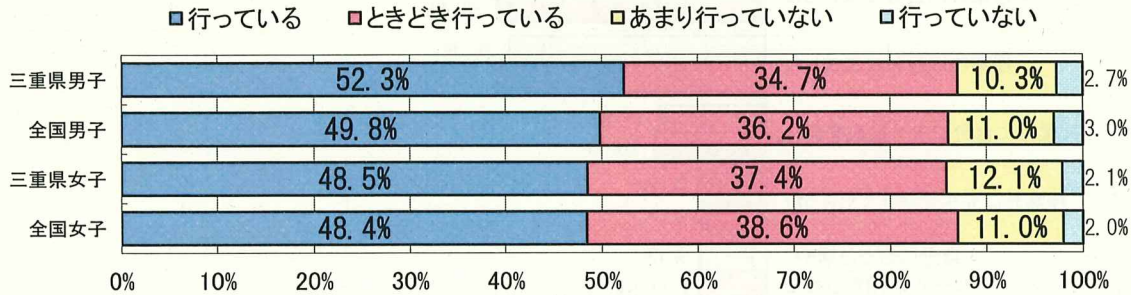


（18）ふだんの体育・保健体育の授業では、友達同士やチームの中で話し合う活動を行っていますか。

【小学校５年生】



【中学校２年生】

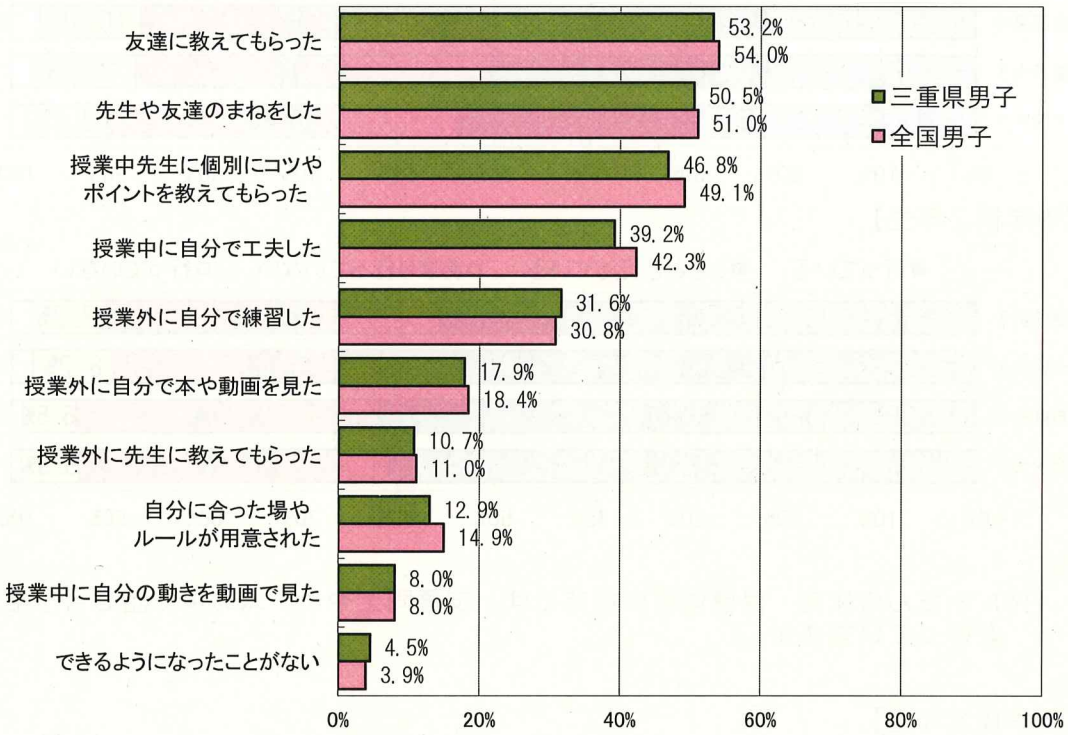


（19）これまで体育・保健体育の授業で、「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。（複数回答可）

【小学校５年生】

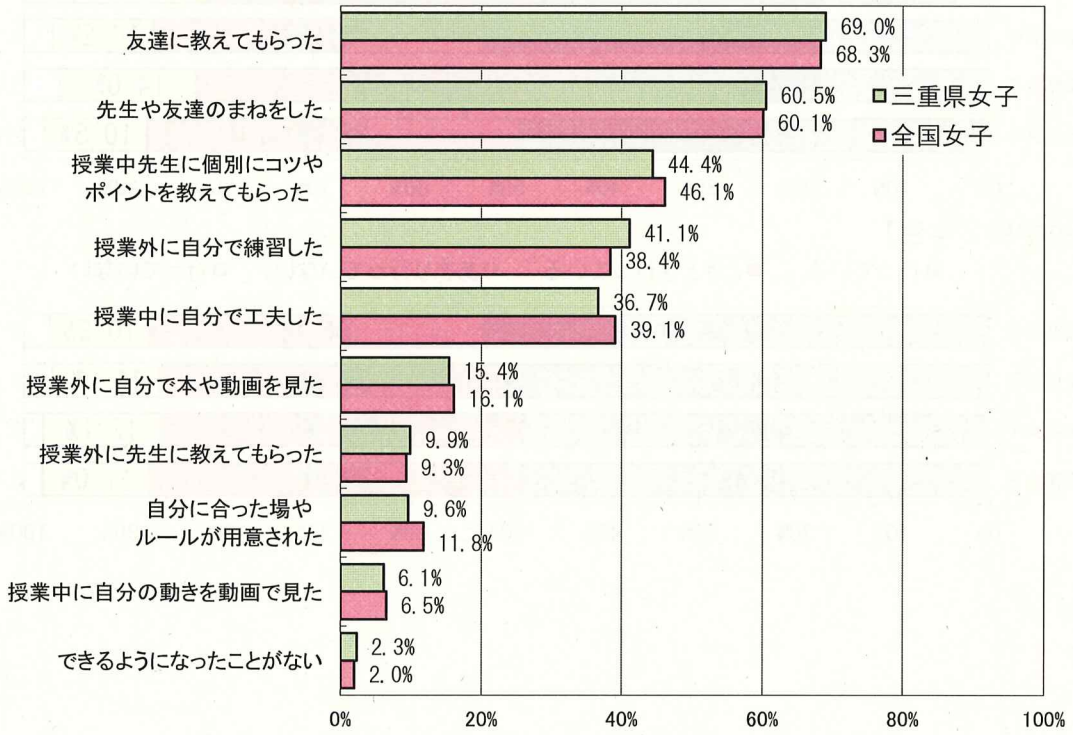
（男子）

体育の授業で、できるようになったきっかけや理由



（女子）

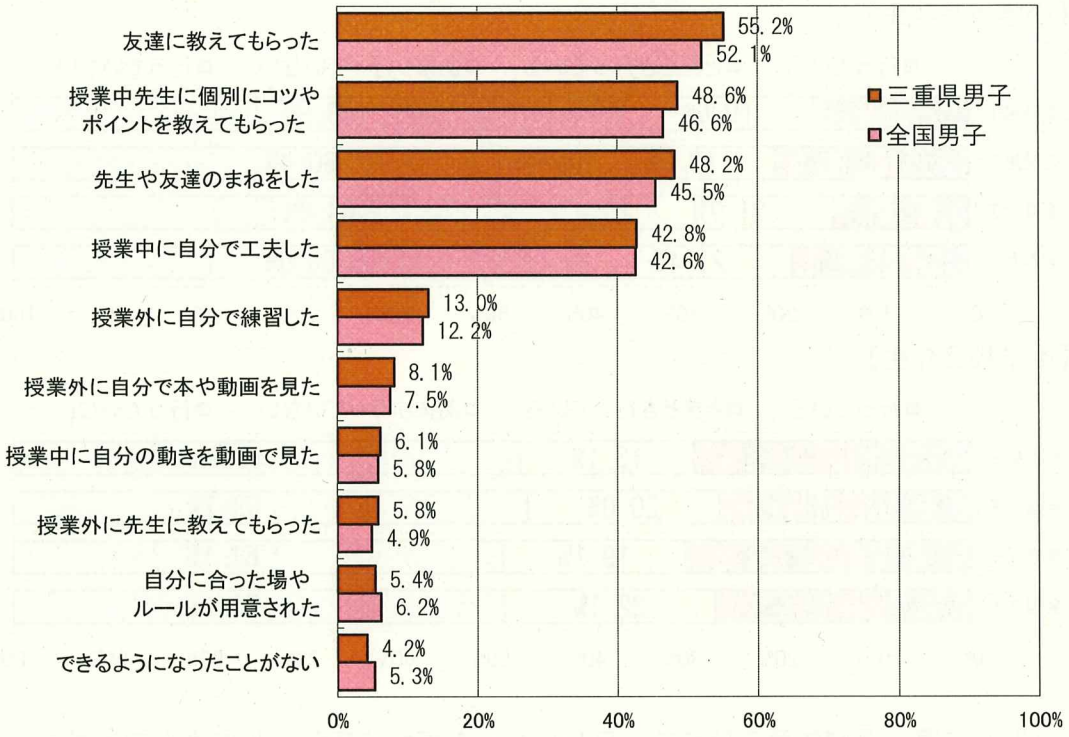
体育の授業で、できるようになったきっかけや理由



【中学校２年生】

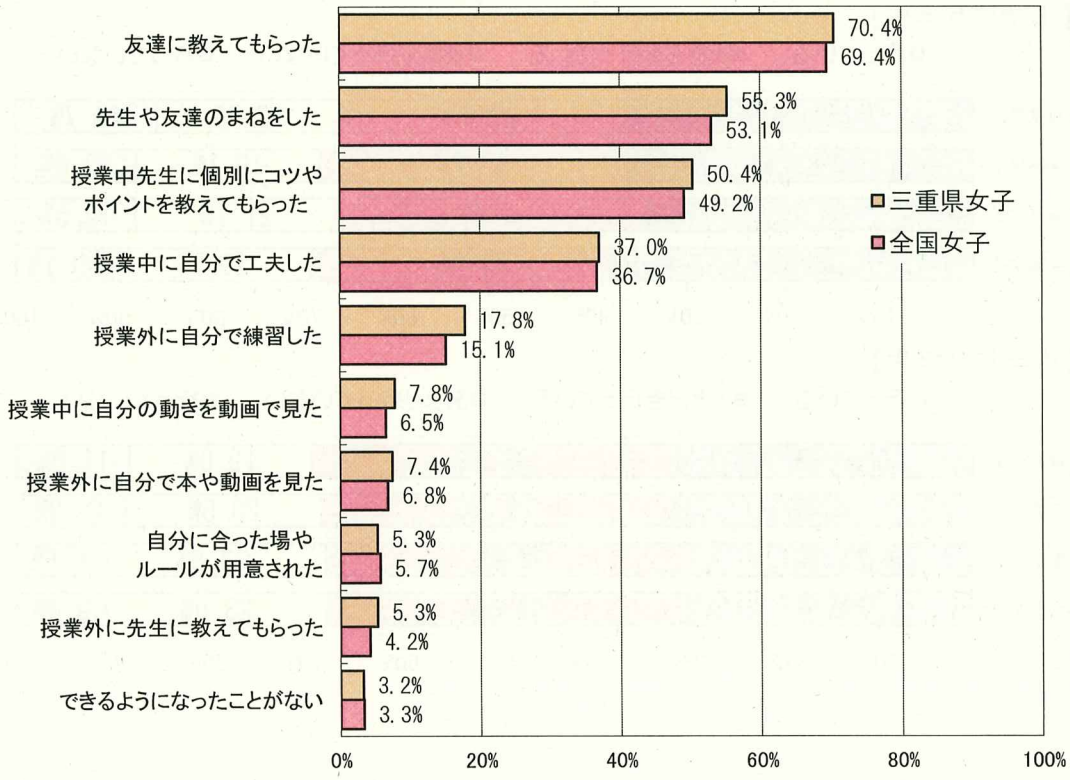
（男子）

保健体育の授業で、できるようになったきっかけや理由



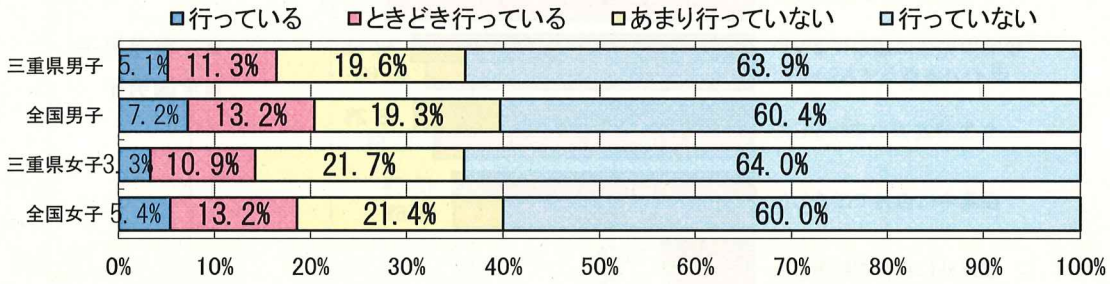
（女子）

保健体育の授業で、できるようになったきっかけや理由

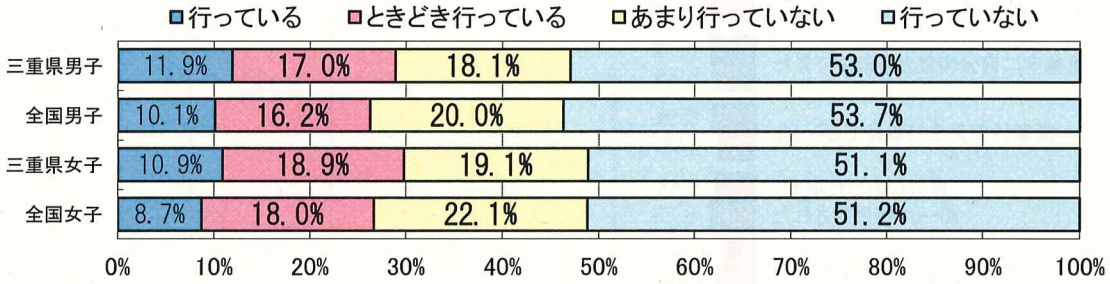


（20）体育・保健体育の授業で、ビデオ・デジタルカメラ、タブレット端末などを用いて、自分や友達の動きを撮影して活用する活動を行っていますか。

【小学校５年生】

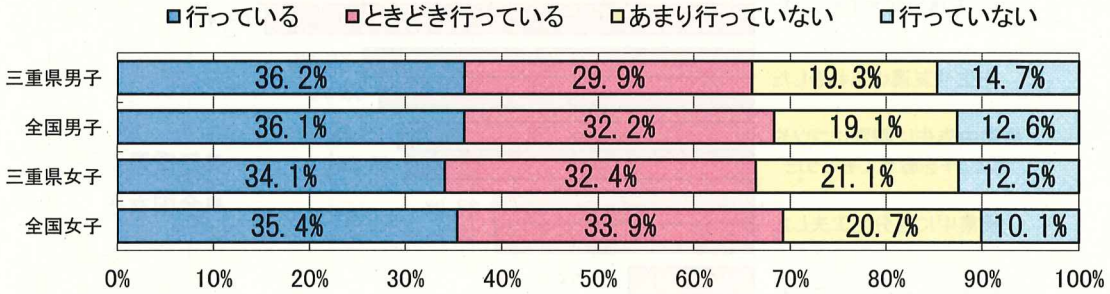


【中学校２年生】

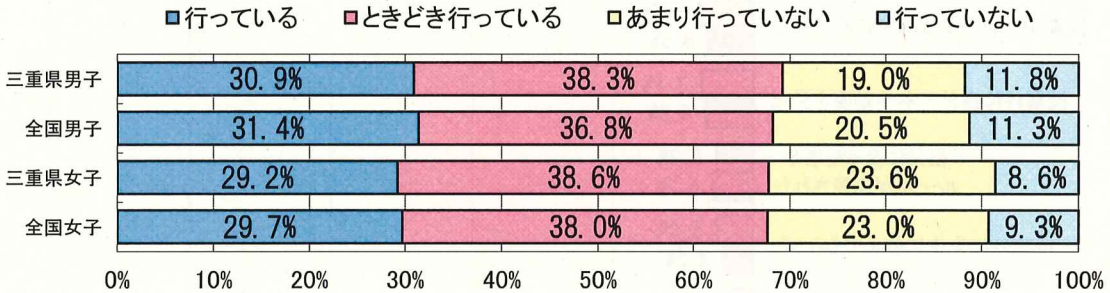


（21）体育・保健体育の授業で、自分に合った練習や自分なりに選んで活動することを行っていますか。

【小学校５年生】

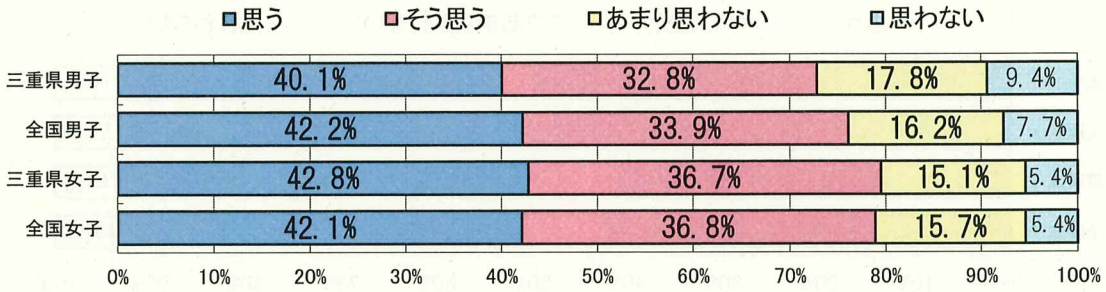


【中学校２年生】



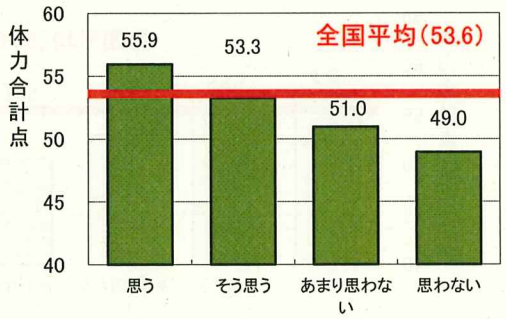
（22）体育・保健体育の授業で学んだことを、授業以外の時にも行ってみようと思いますか。

【小学校５年生】

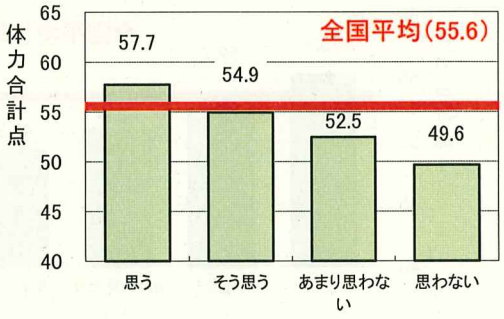


体力合計点との関連

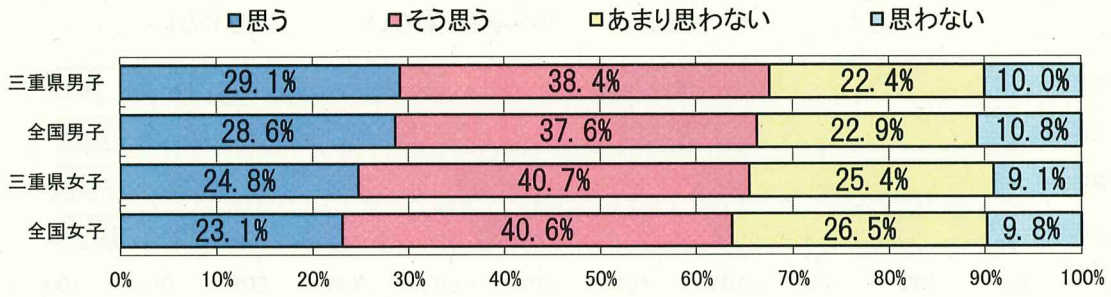
（男子）



（女子）

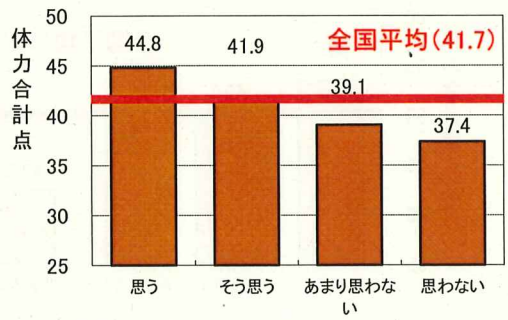


【中学校２年生】

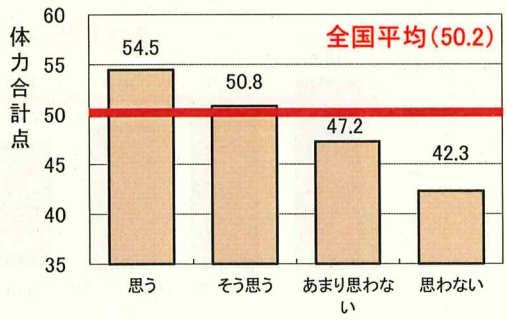


体力合計点との関連

（男子）

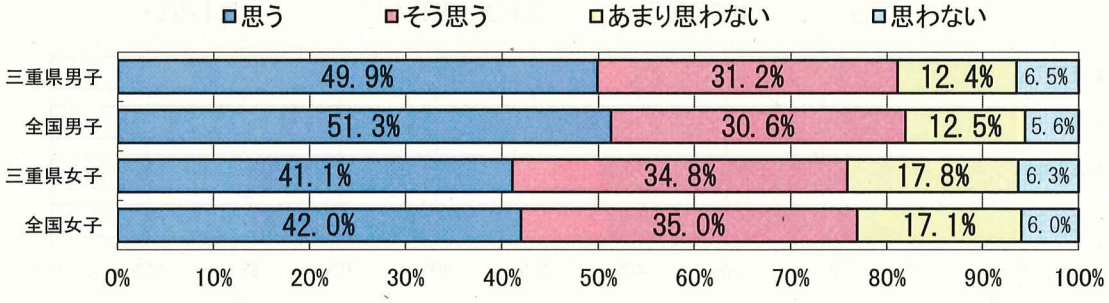


（女子）



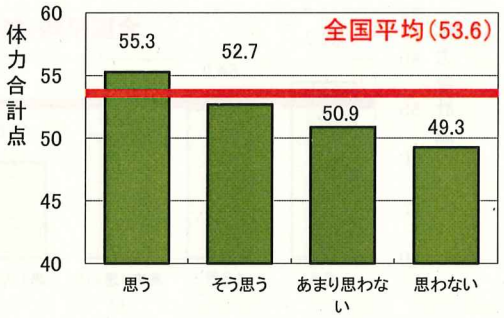
（23）今、体育・保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。

【小学校５年生】

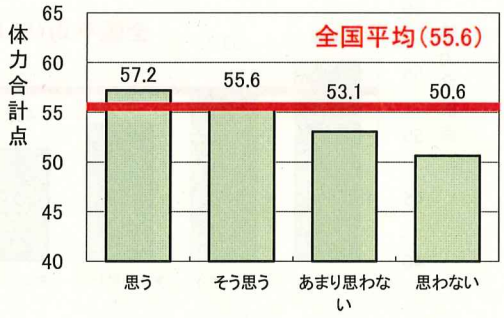


体力合計点との関連

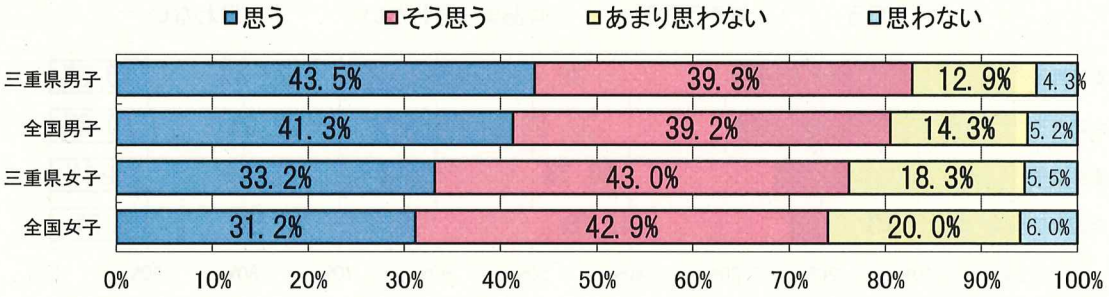
（男子）



（女子）

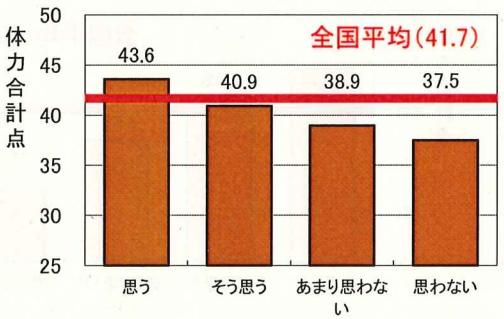


【中学校２年生】

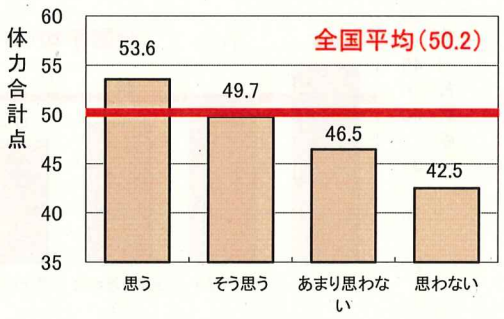


体力合計点との関連

（男子）

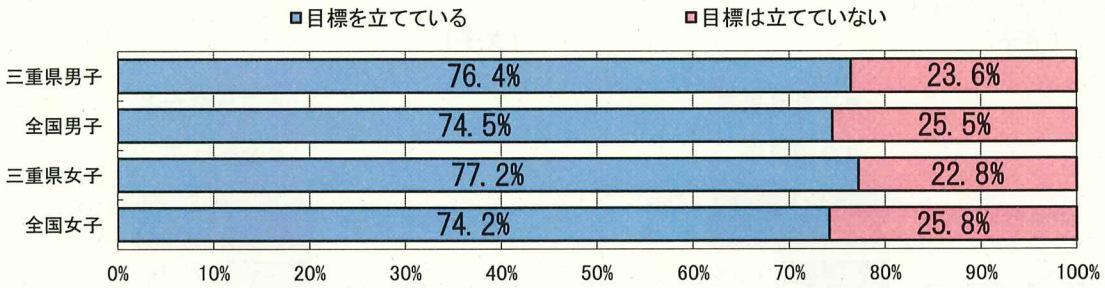


（女子）



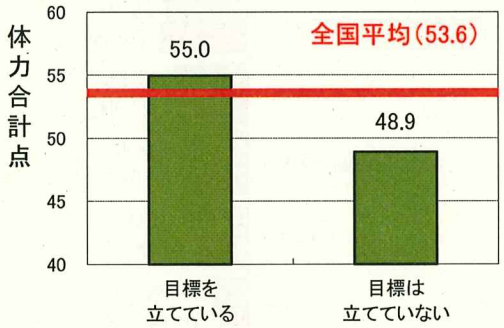
（24）体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

【小学校５年生】

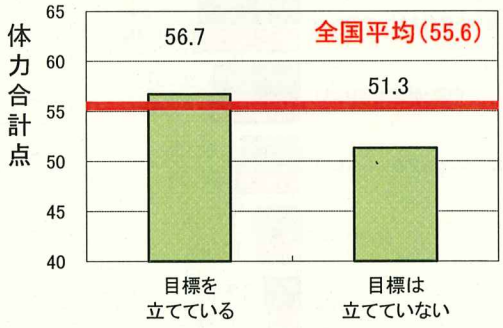


体力合計点との関連

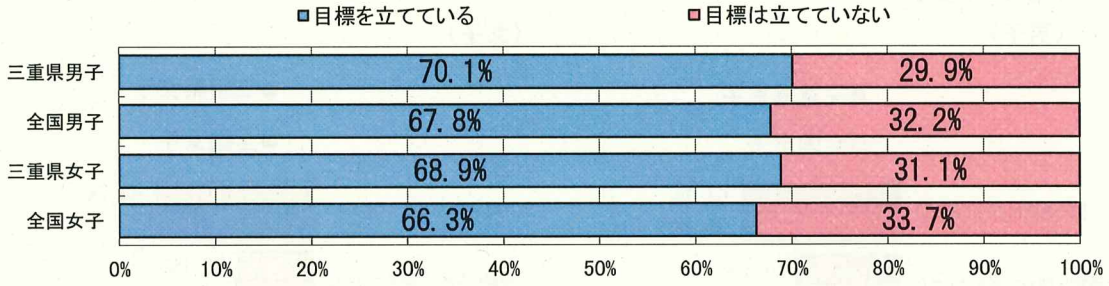
（男子）



（女子）

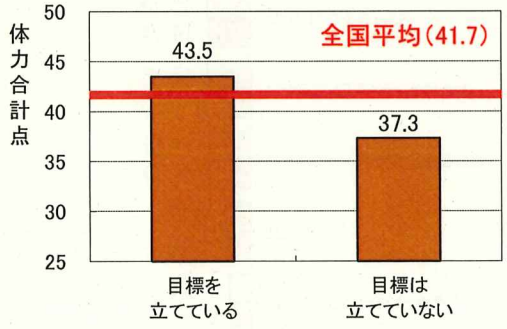


【中学校２年生】

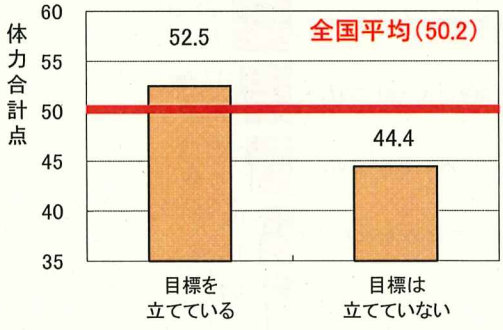


体力合計点との関連

（男子）



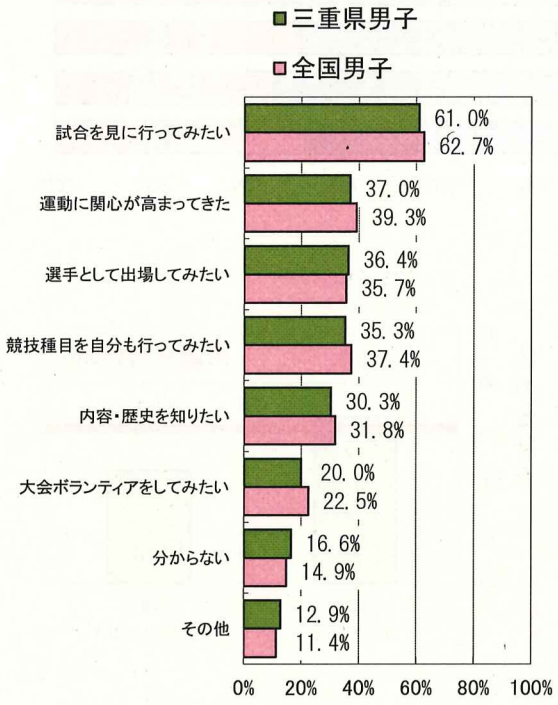
（女子）



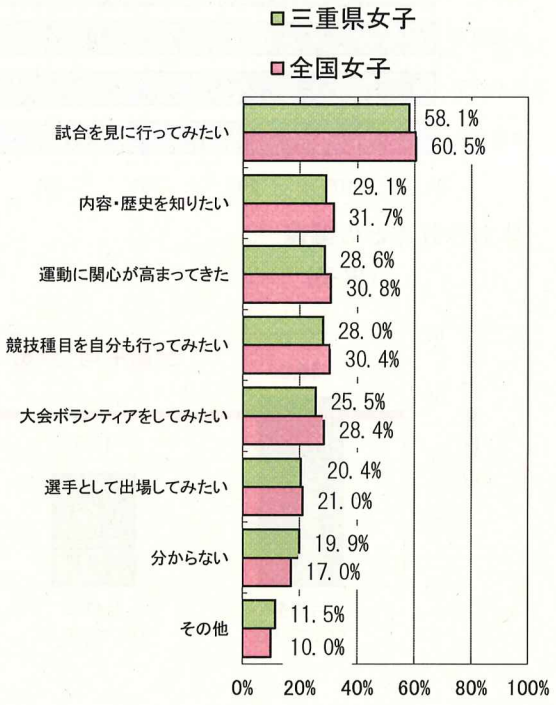
（25）オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちに当てはまるものを全て選んでください。（複数回答可）

【小学校５年生】

（男子）

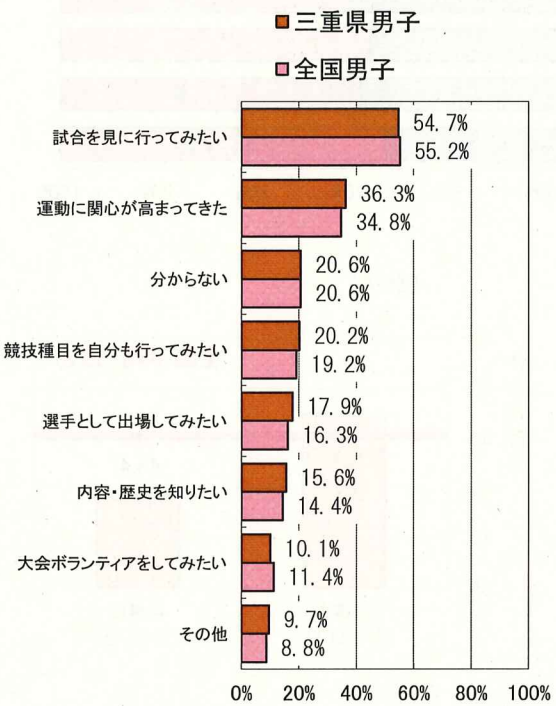


（女子）

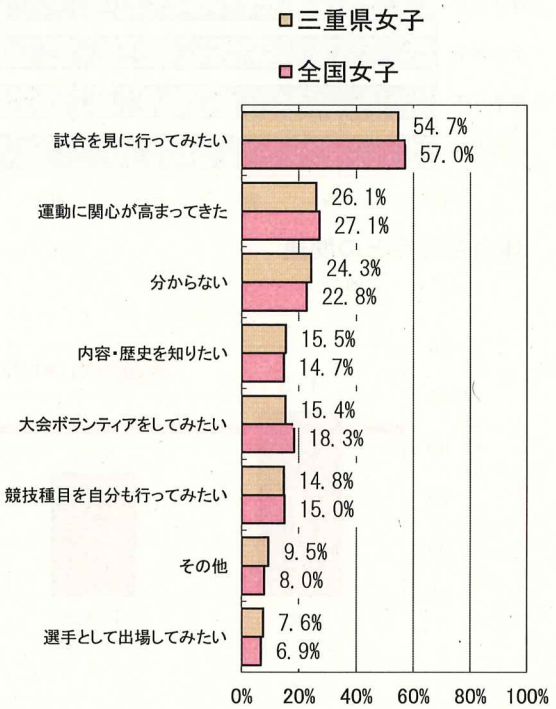


【中学校２年生】

（男子）

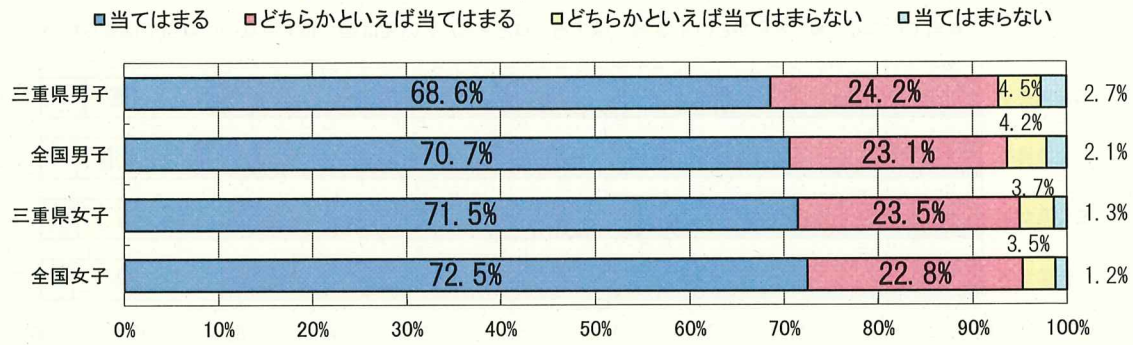


（女子）



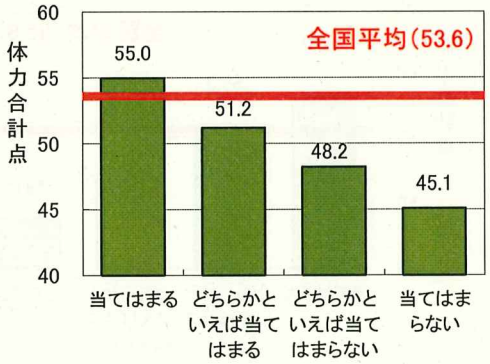
（26）ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。

【小学校５年生】

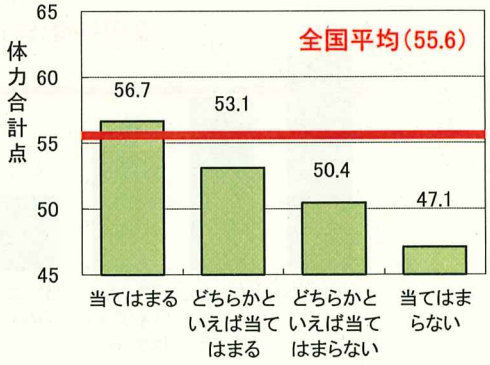


体力合計点との関連

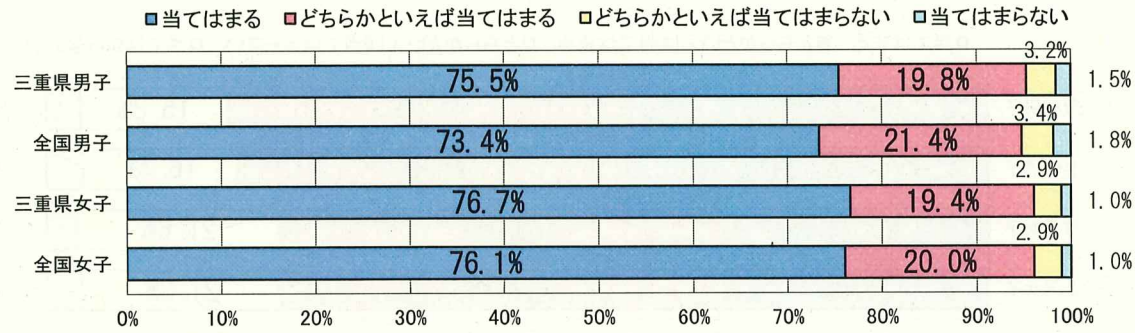
（男子）



（女子）

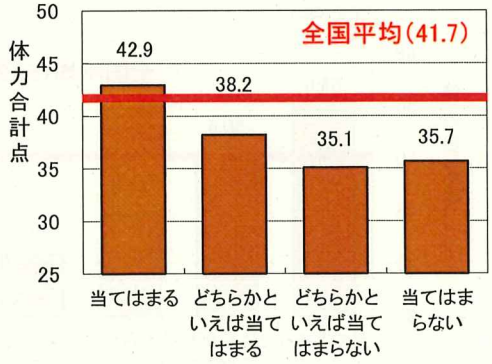


【中学校２年生】

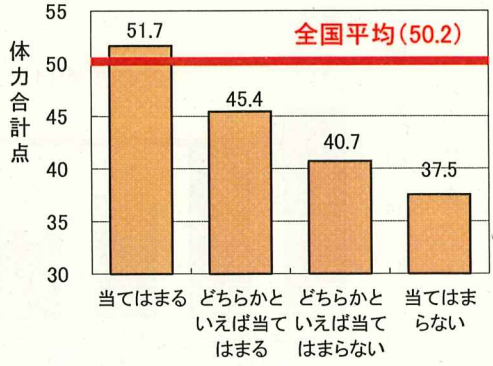


体力合計点との関連

（男子）

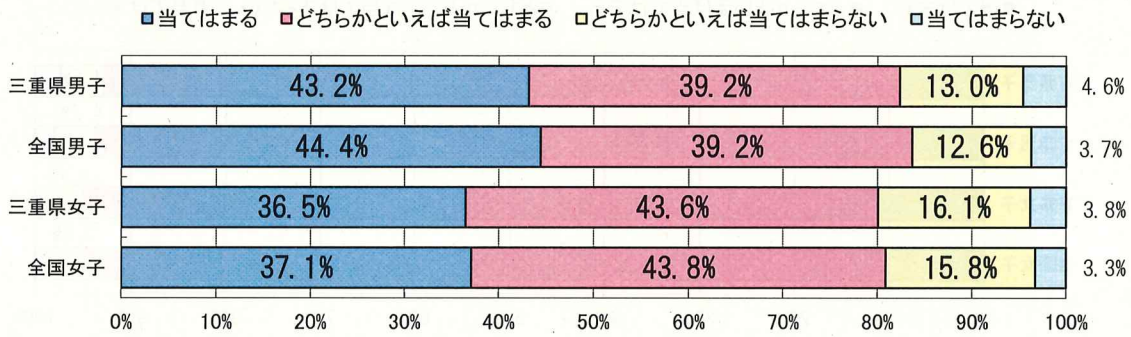


（女子）

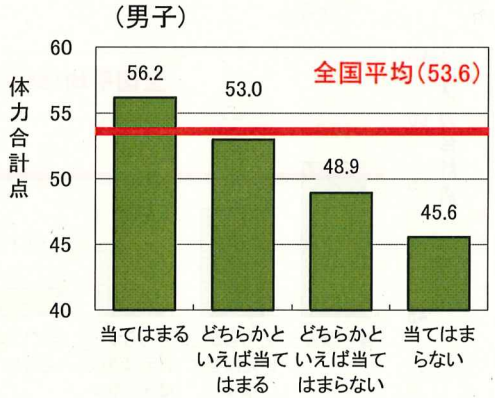


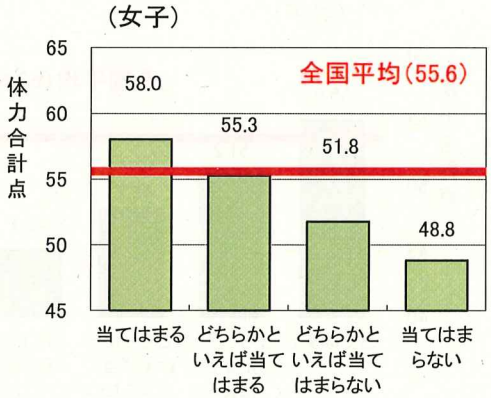
（27）難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。

【小学校５年生】

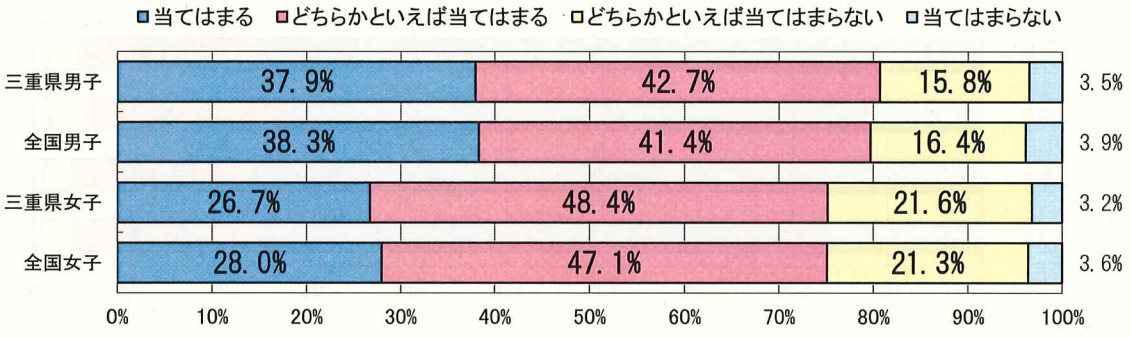


体力合計点との関連

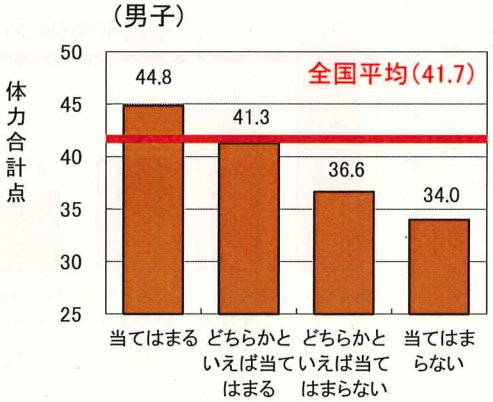


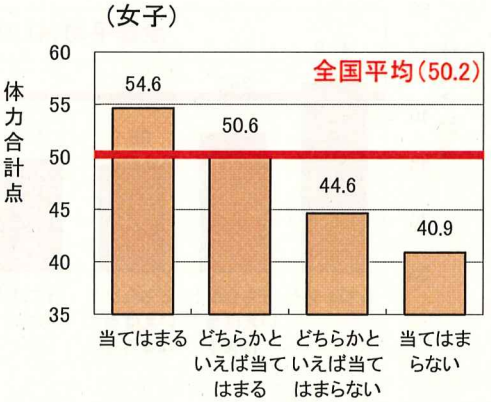


【中学校２年生】



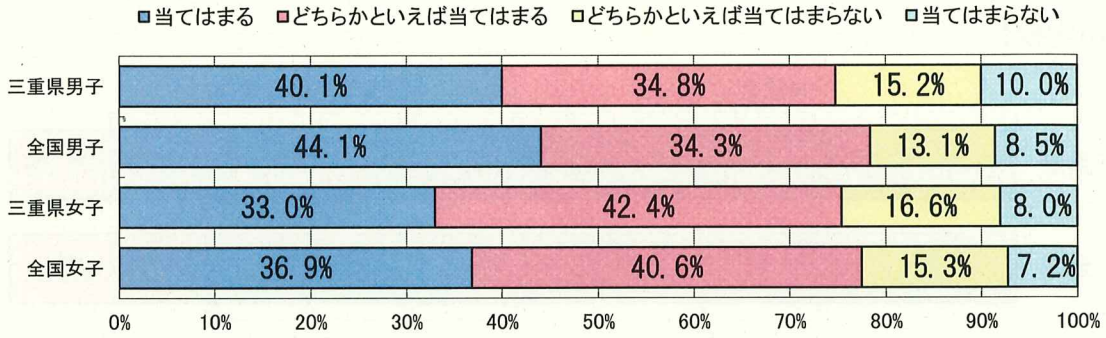
体力合計点との関連



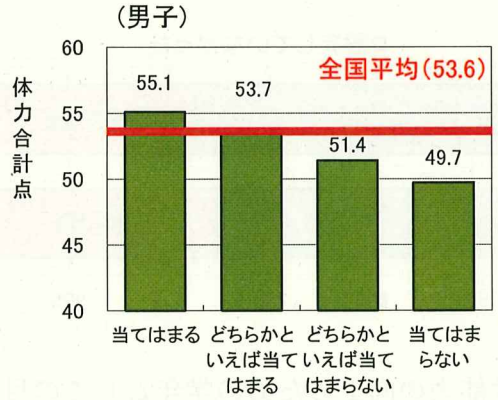


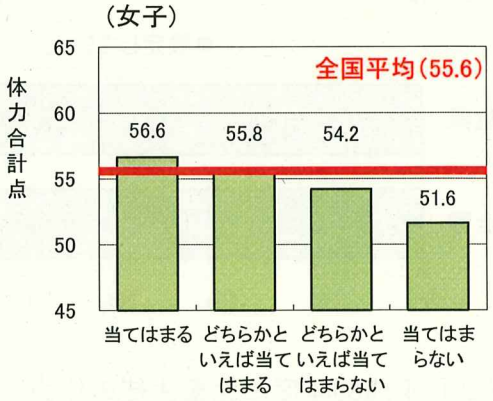
（28）自分には、よいところがあると思う。

【小学校５年生】

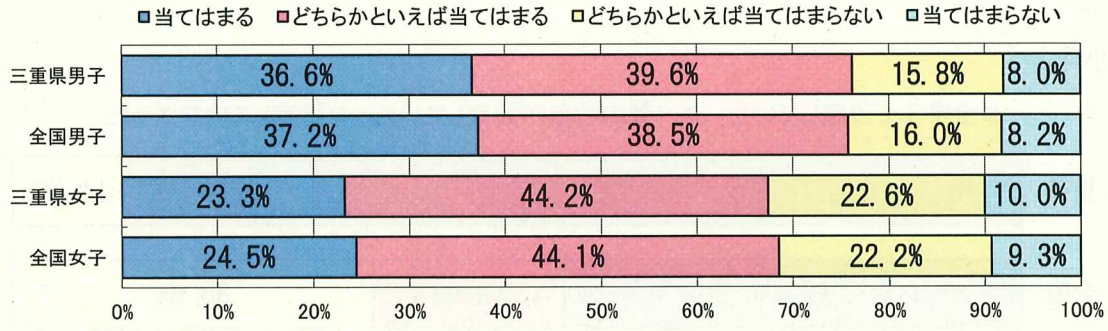


体力合計点との関連

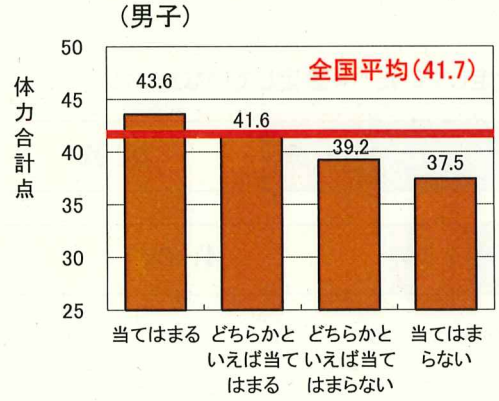


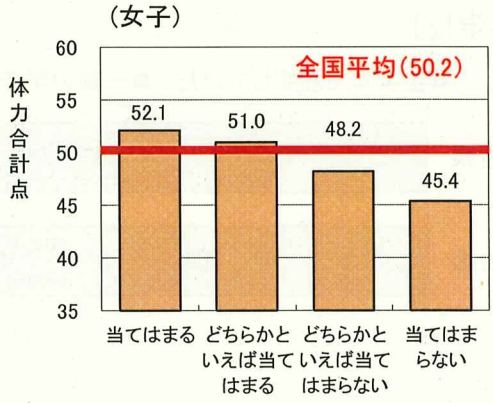


【中学校２年生】



体力合計点との関連

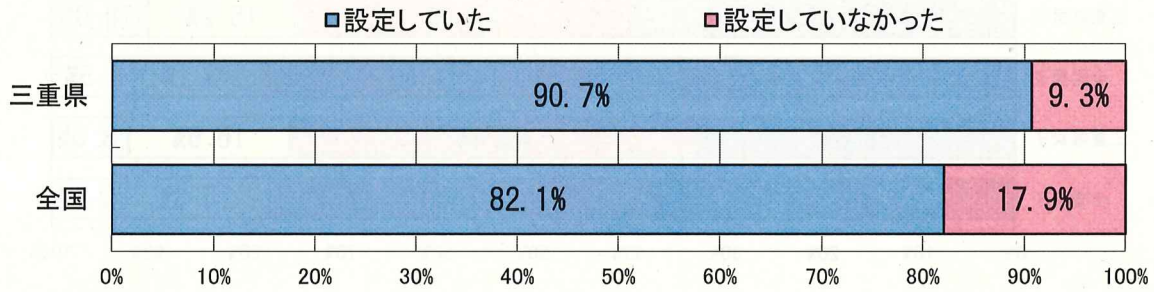




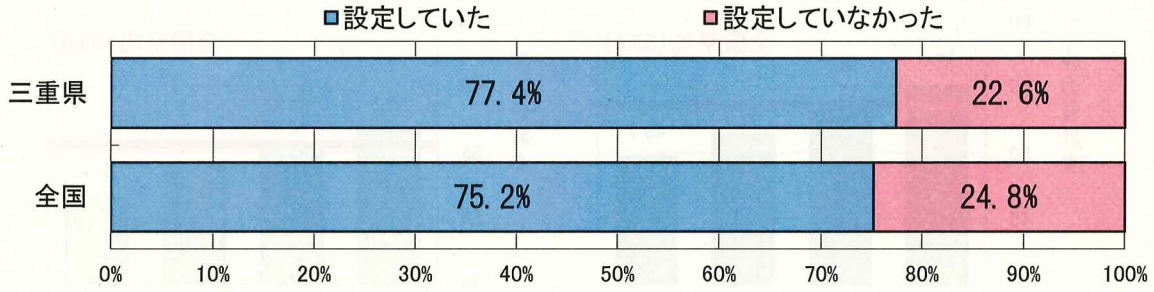
4　学校質問紙の結果

（１）平成30年度に児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、設定していましたか。

【小学校】

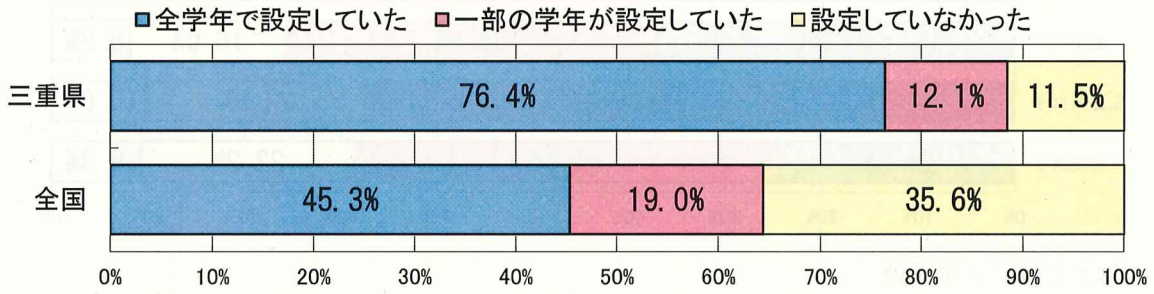


【中学校】

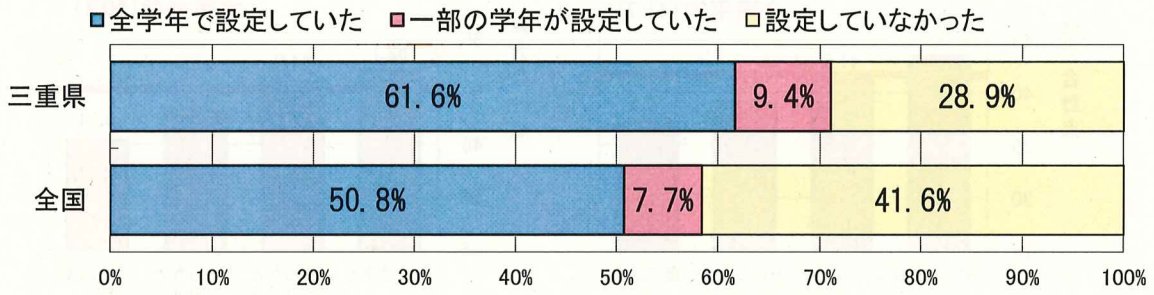


（２）平成30年度に児童生徒の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。

【小学校】

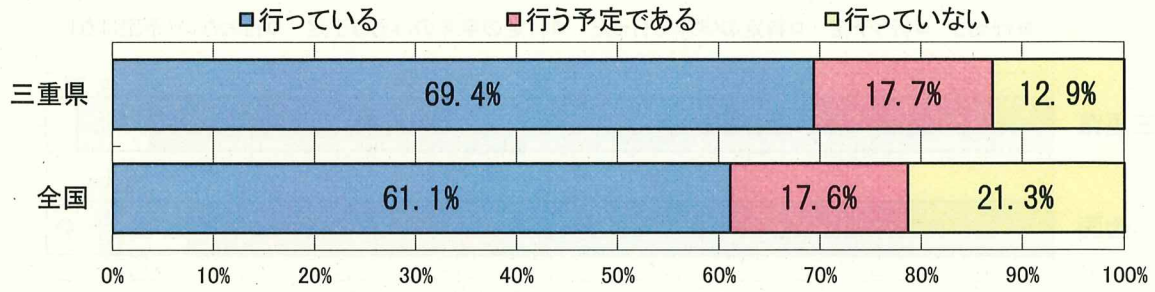


【中学校】

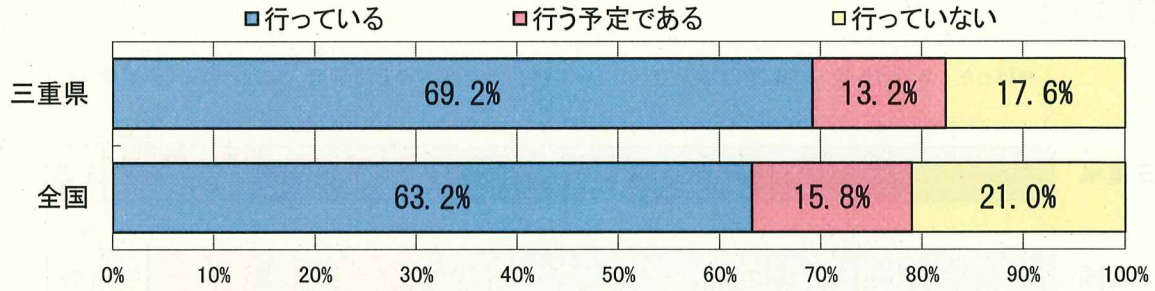


（３）運動・スポーツが苦手（嫌い）な傾向にある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を現在行っていますか（行う予定はありますか）。

【小学校】

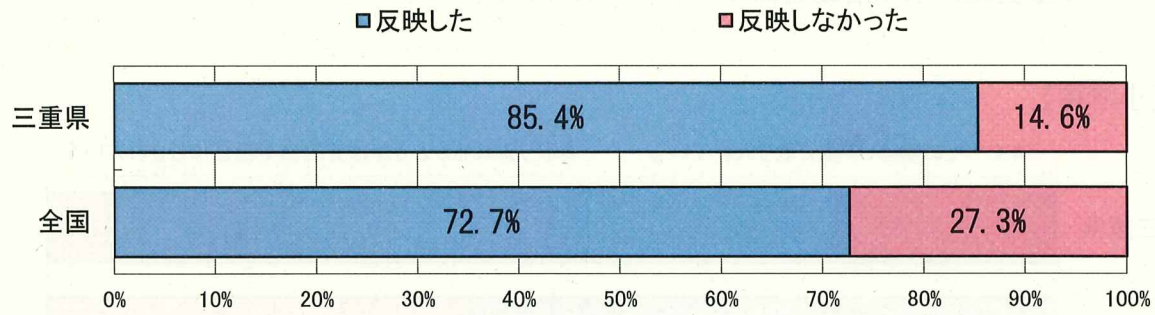


【中学校】

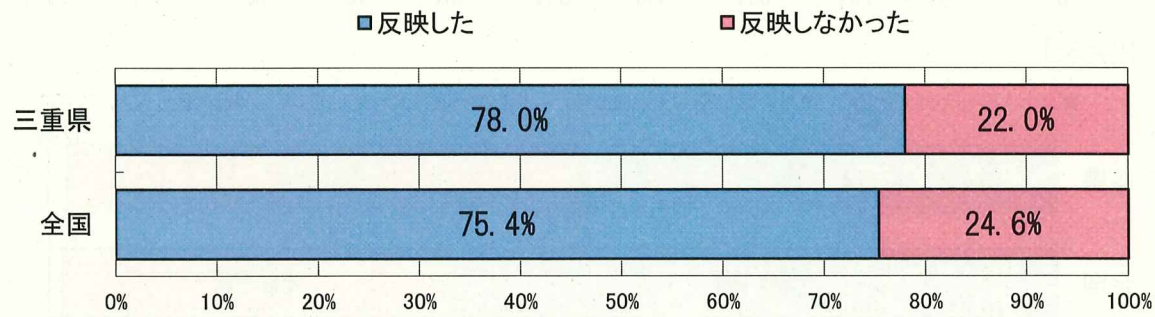


（４）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて年間指導計画の改善に反映しましたか。

【小学校】

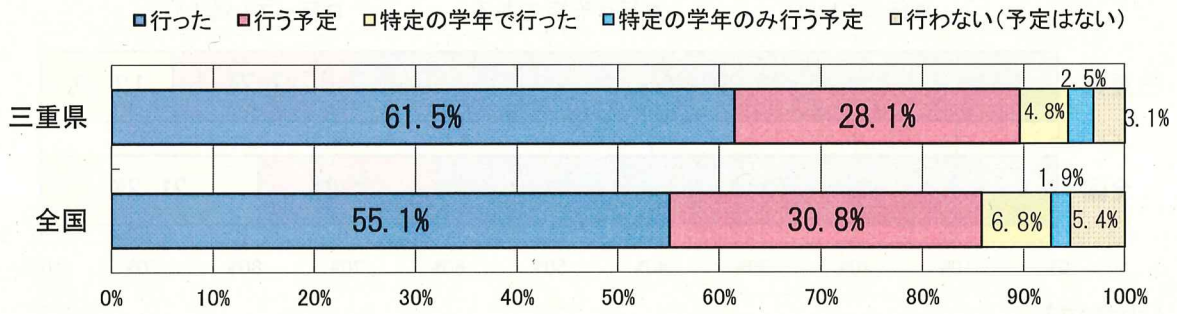


【中学校】

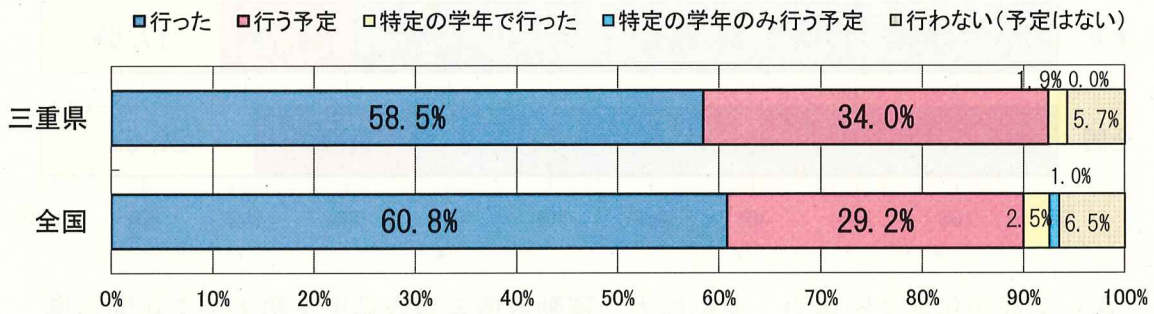


（５）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて授業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。

【小学校】

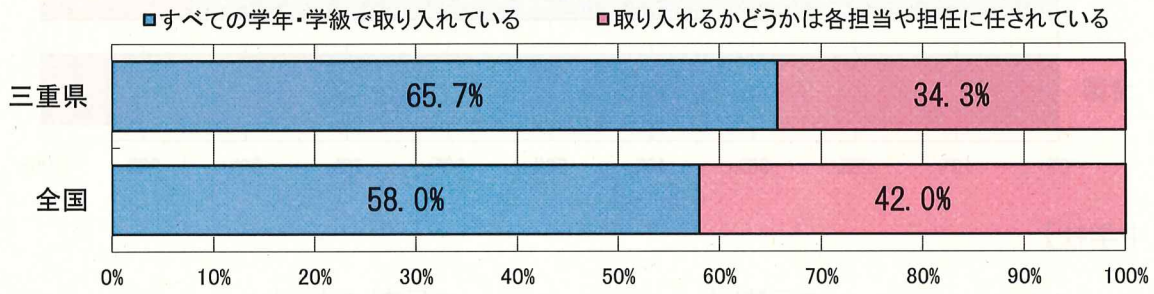


【中学校】

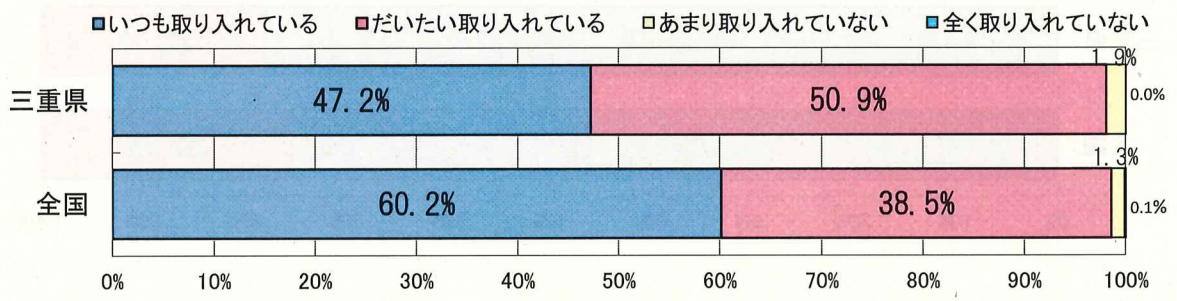


（６）体育・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童生徒に示す活動を取り入れていますか。

【小学校】

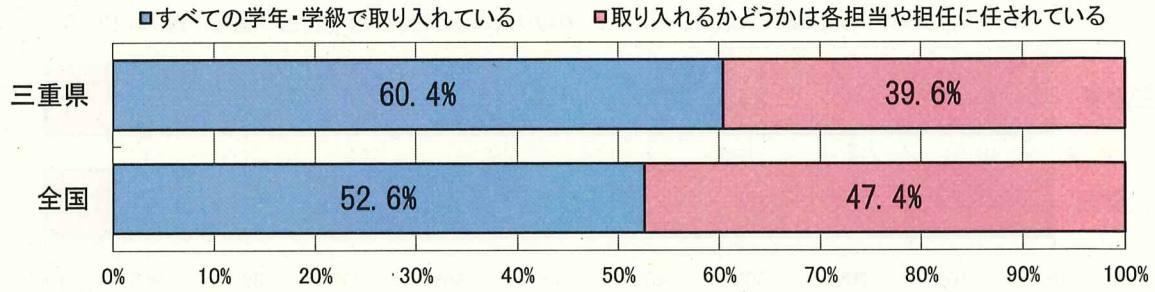


【中学校】

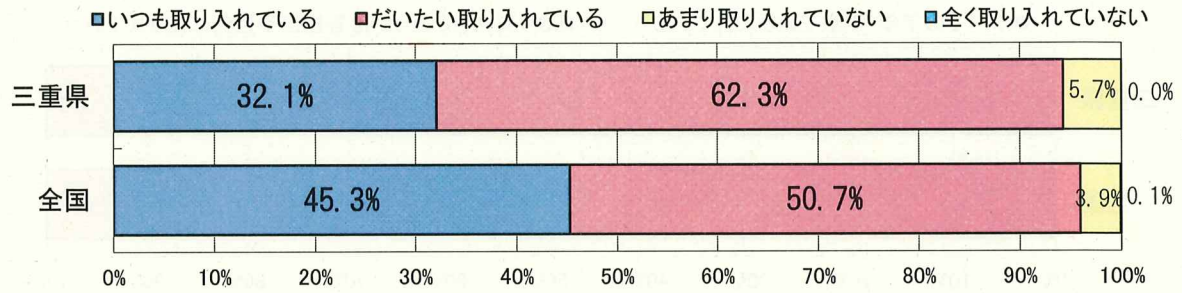


（７）体育・保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。

【小学校】

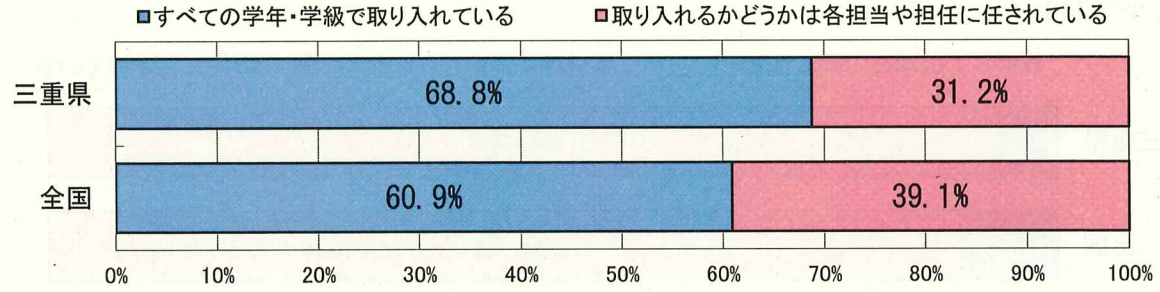


【中学校】

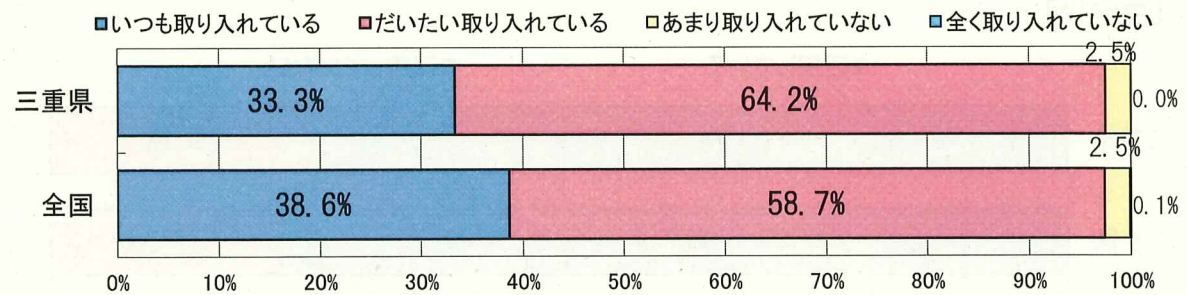


（８）体育・保健体育の授業では、児童及び生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。

【小学校】

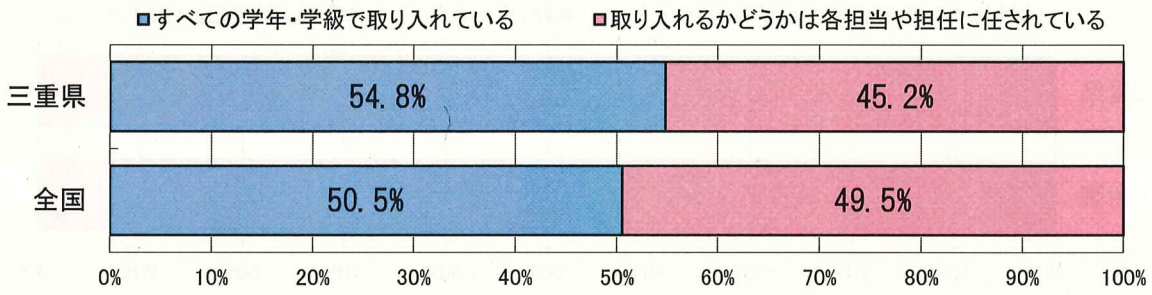


【中学校】

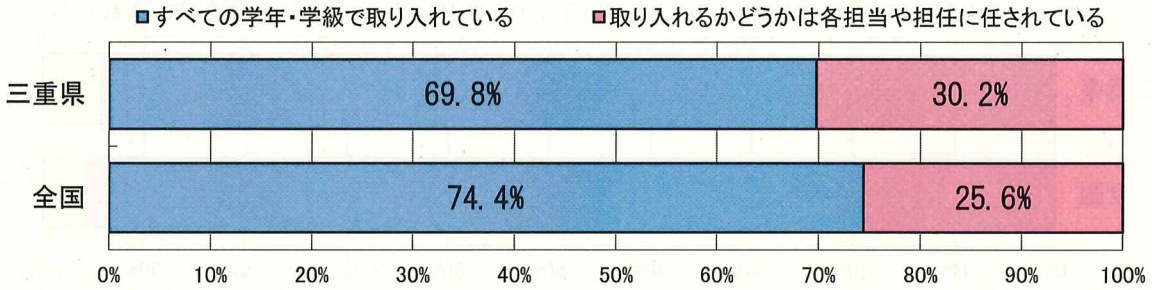


（９）体育・保健体育の授業では、児童及び生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。

【小学校】

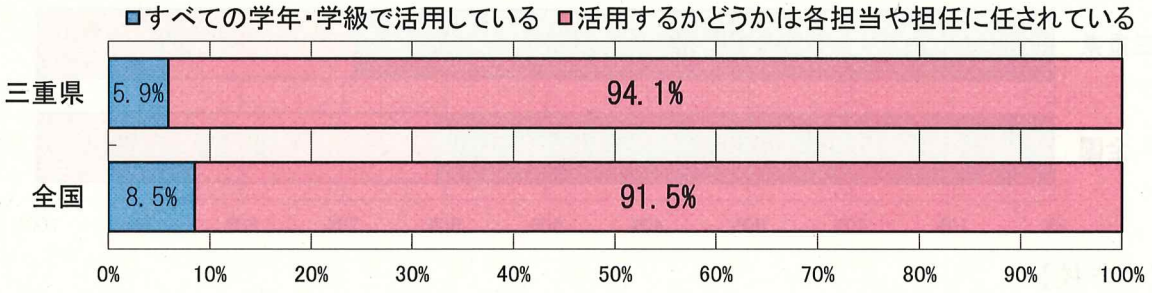


【中学校】

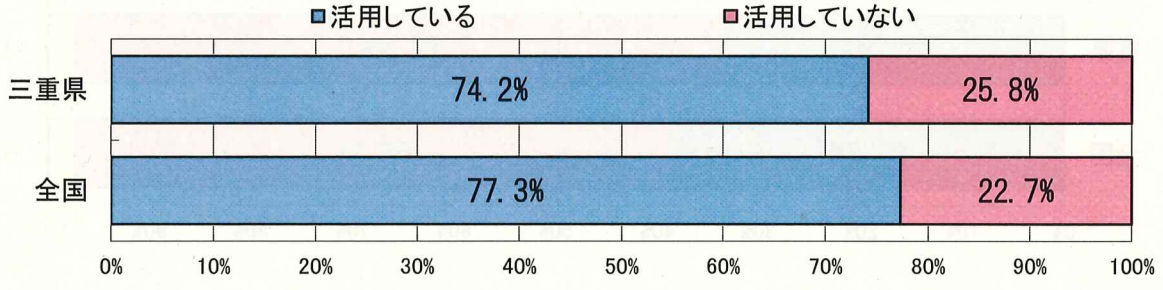


（10）体育・保健体育の指導で、授業中にＩＣＴを活用していますか。

【小学校】

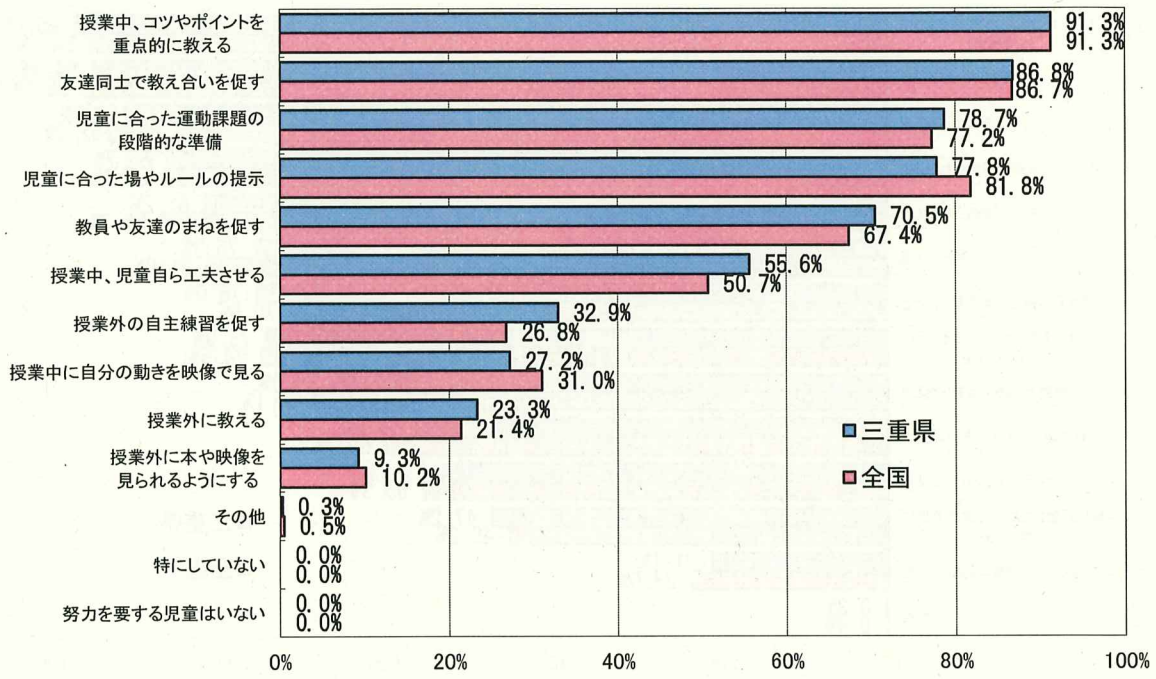


【中学校】

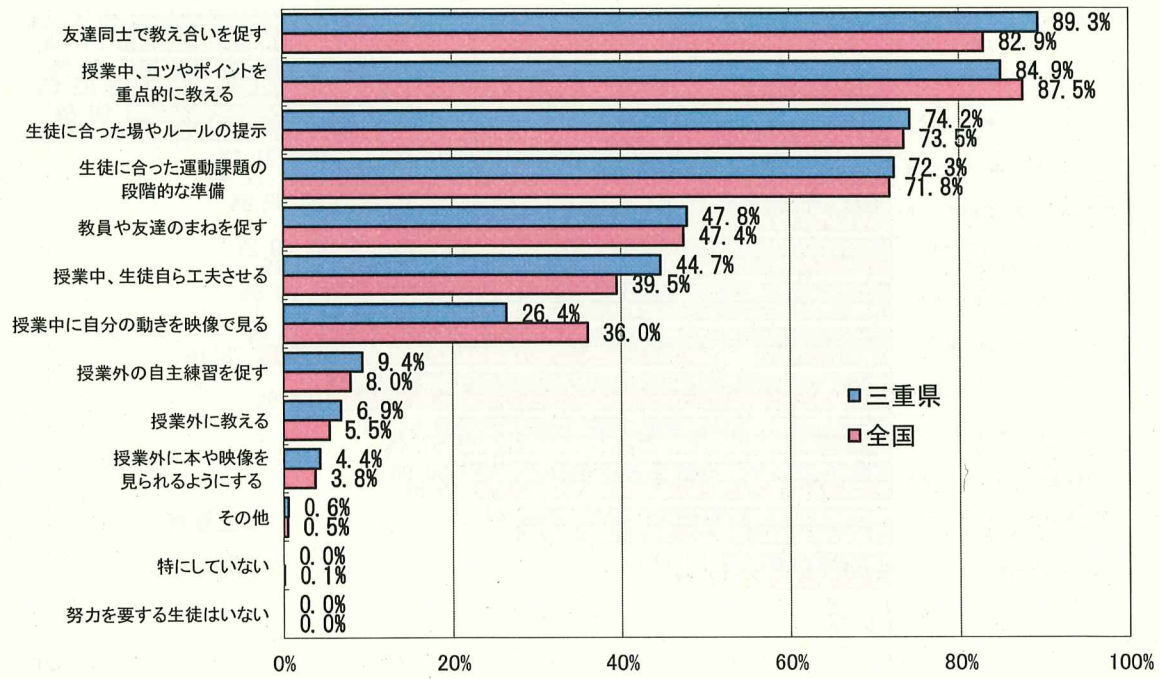


（11）体育・保健体育の授業で努力を要する児童生徒がいる場合に、どのような取組をしていますか。（複数回答可）

【小学校】

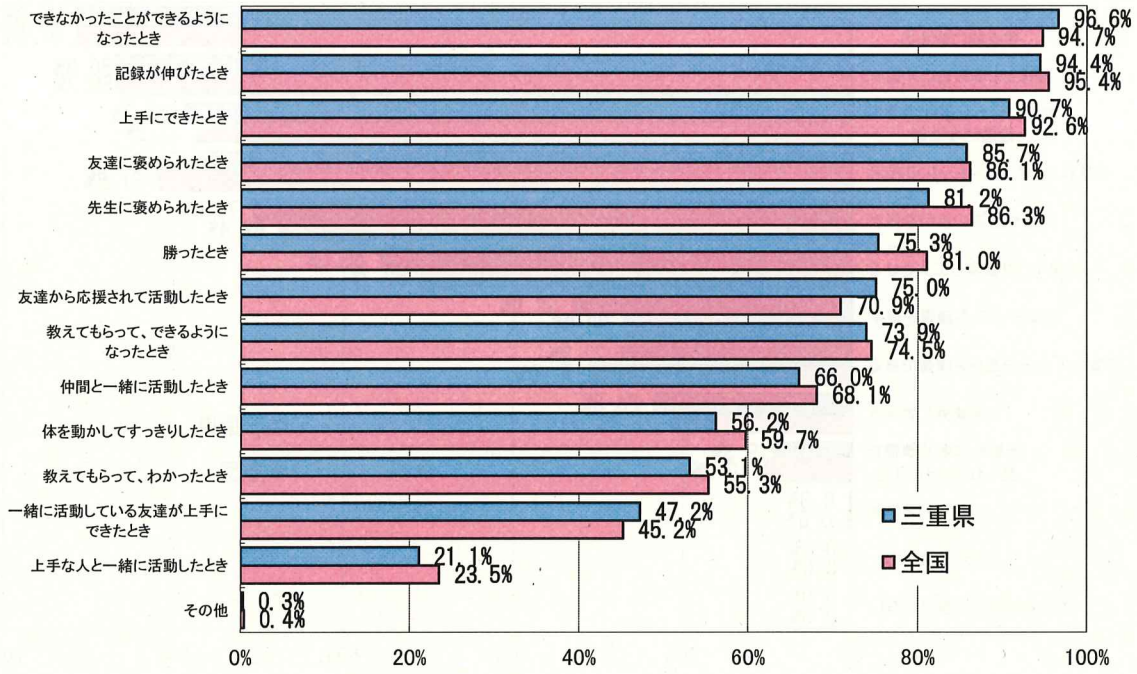


【中学校】

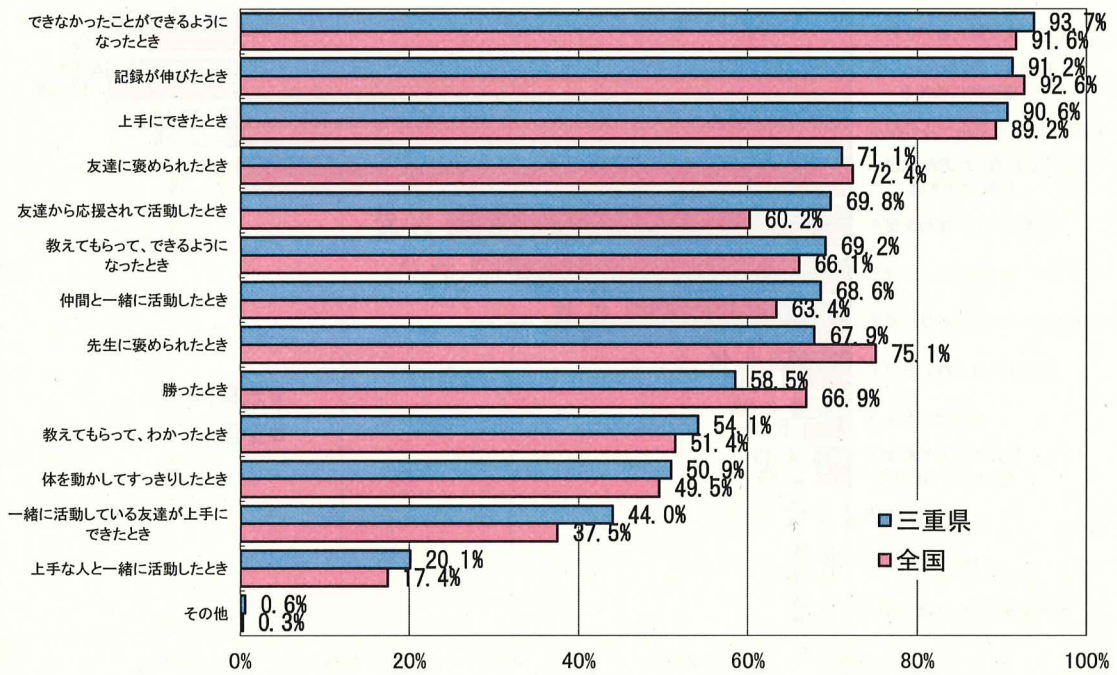


（12）体育・保健体育の授業で、子どもたちが楽しいと感じているのは、どのようなときだと思いますか。（複数回答可）

【小学校】

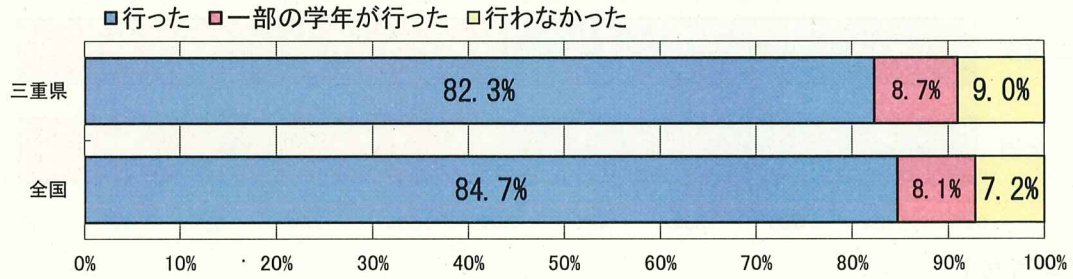


【中学校】

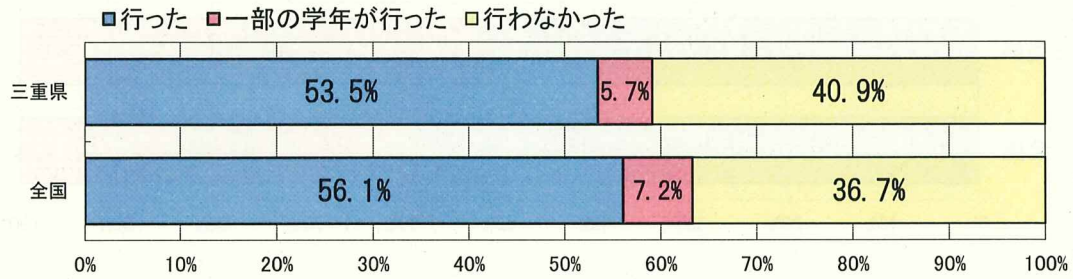


（13）平成30年度に、体育・保健体育の授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。

【小学校】

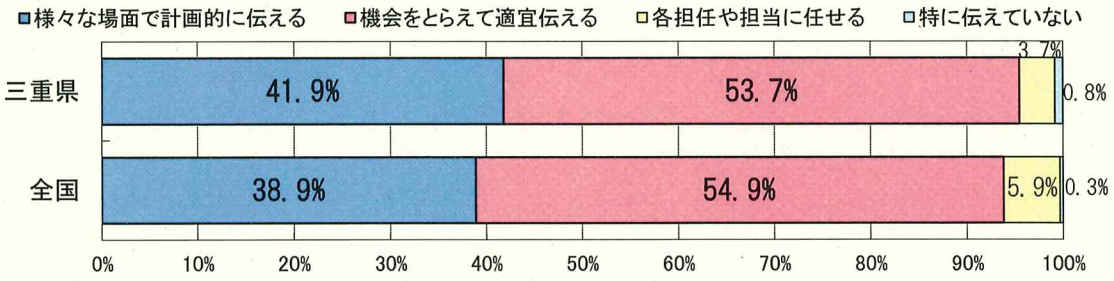


【中学校】

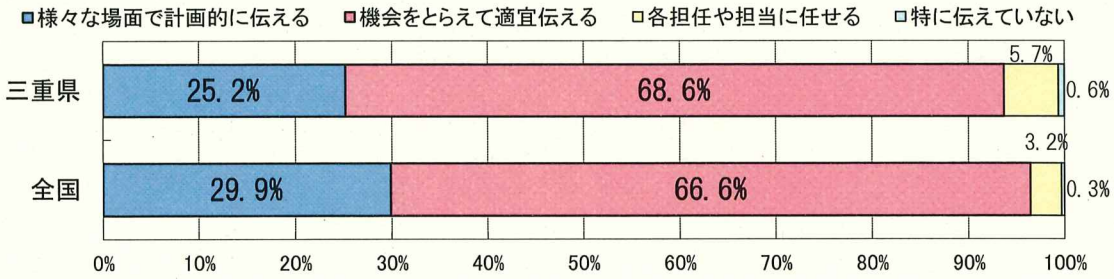


（14）健康三原則（運動・栄養（食事）、睡眠）の大切さを、児童生徒に伝えていますか。

【小学校】

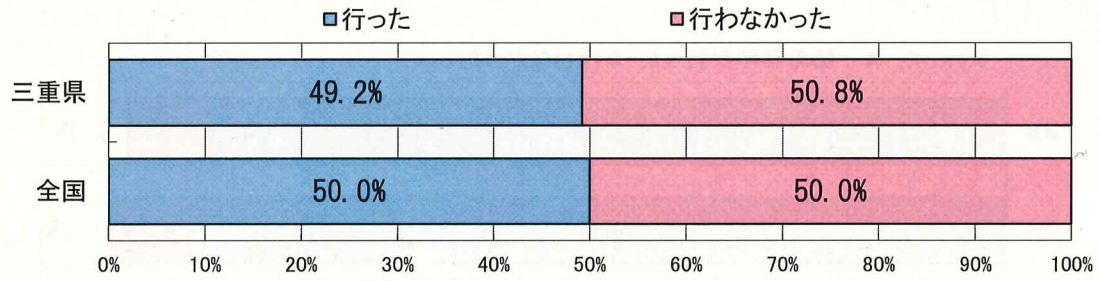


【中学校】

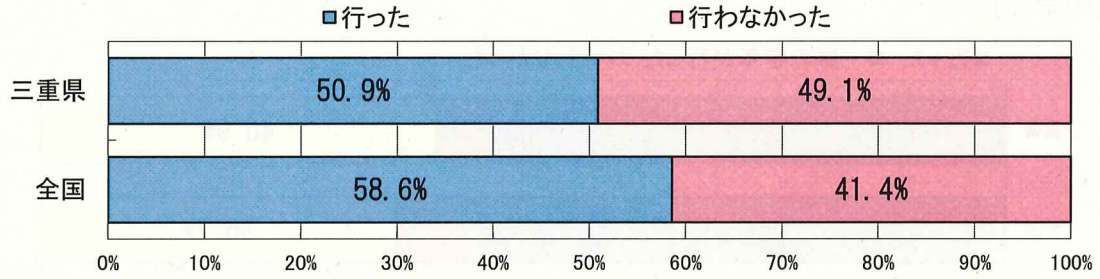


（15）平成30年度に、オリンピック・パラリンピック教育に係る取組を行いましたか。

【小学校】

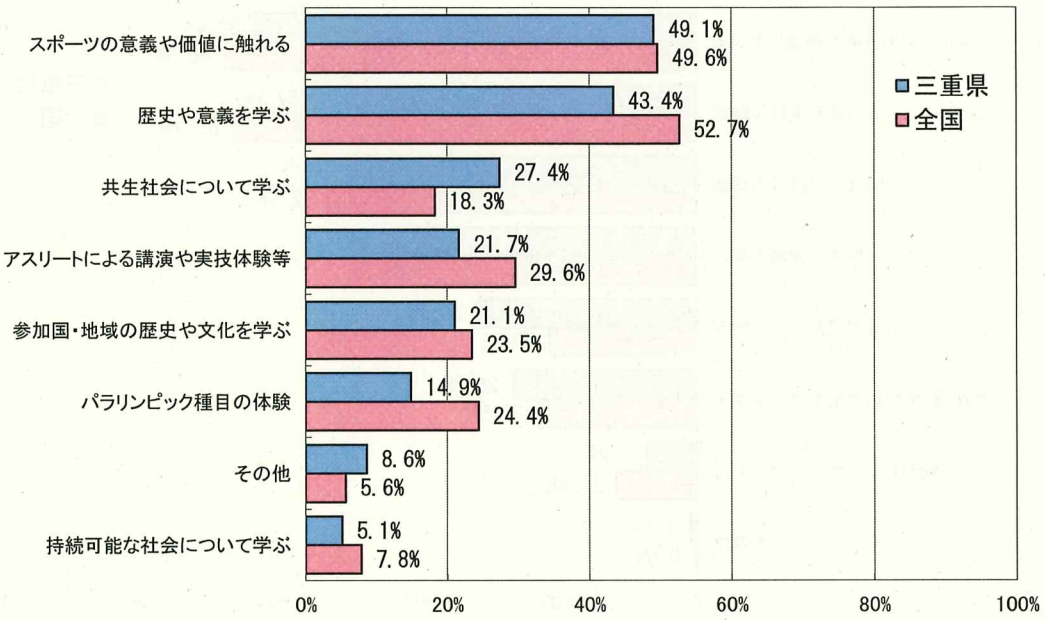


【中学校】

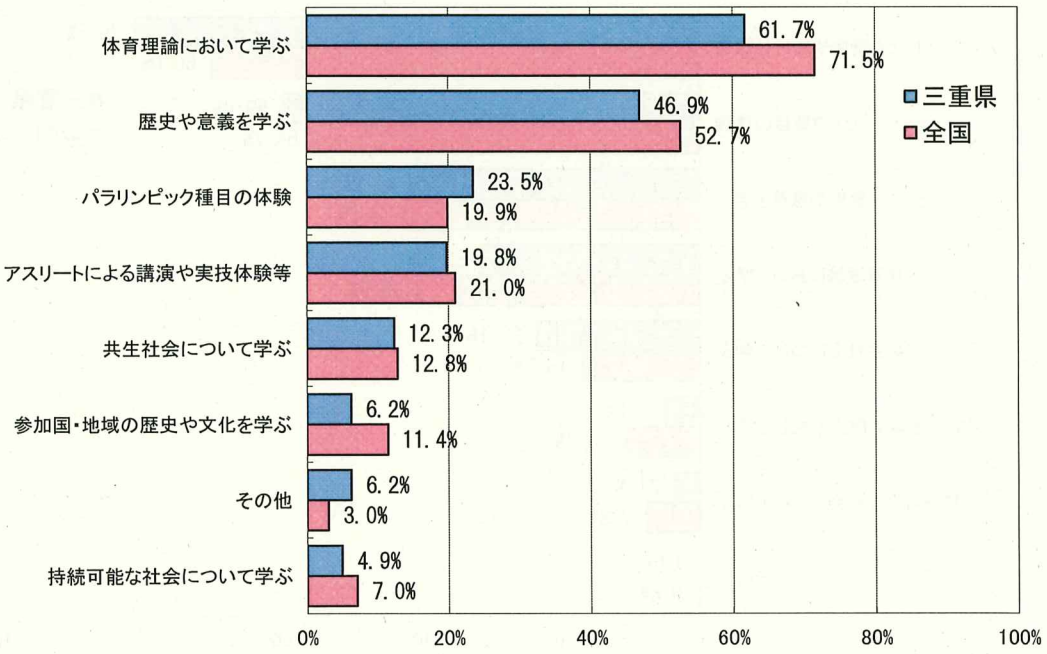


（16）（15）で「行った」と回答した学校は、行った取組の具体的な内容を選んでください。（複数回答可）

【小学校】

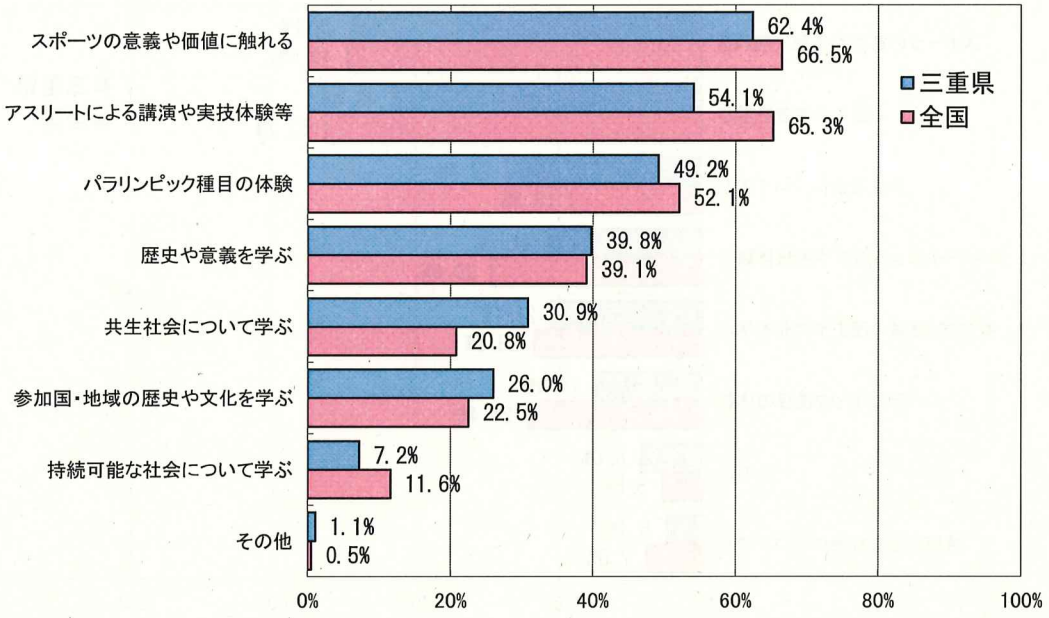


【中学校】

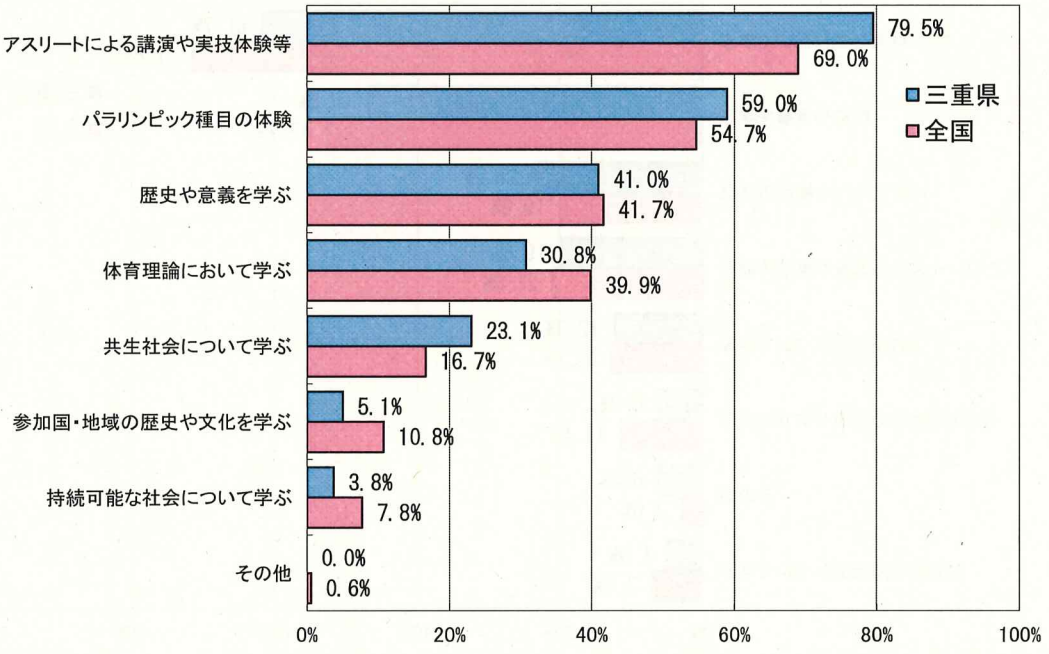


（17）（15）で「行わなかった」と回答した学校は、行ってみたい取組の具体的な内容を選んでください。（複数回答可）

【小学校】

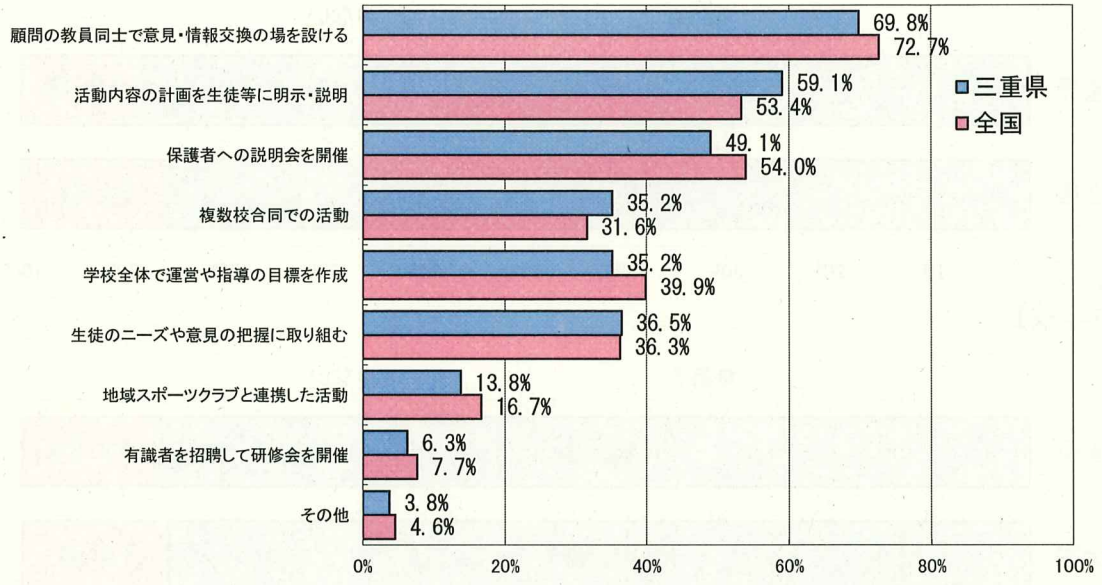


【中学校】



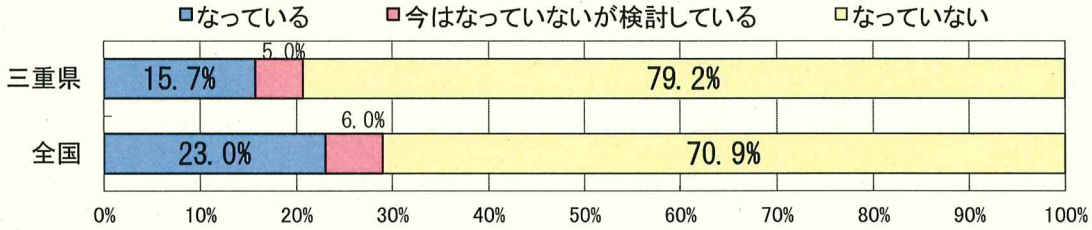
（18）中学校で運動部活動での指導内容や指導方法の充実のためにどのような取組を行っていますか。（複数回答可）

【中学校】



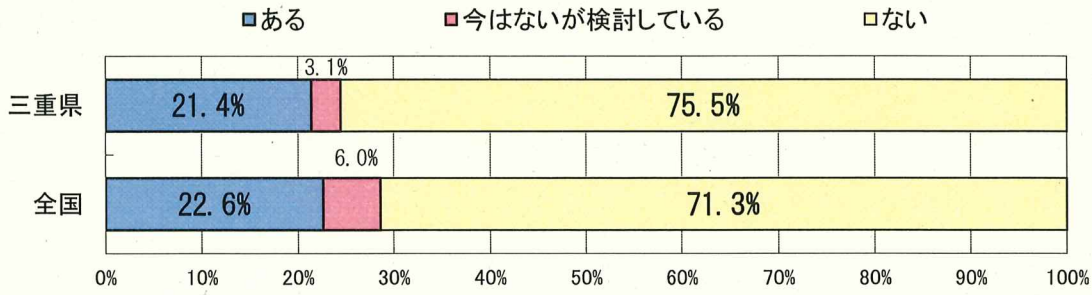
（19）中学校で生徒のニーズに応じて、複数の運動部に所属できるようになっていますか。

【中学校】



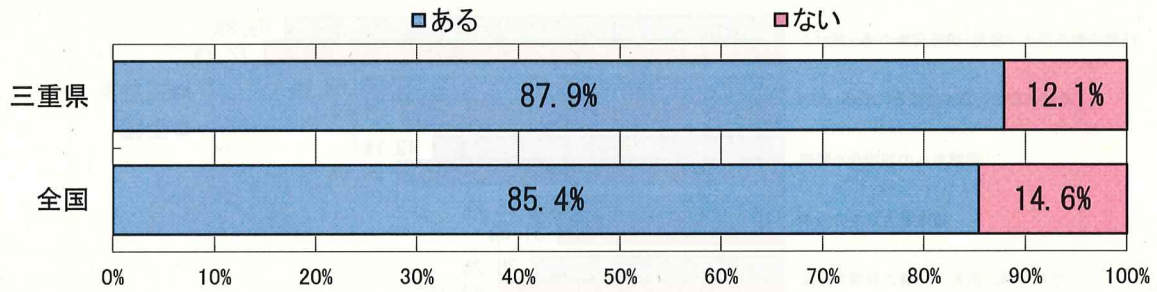
（20）中学校で生徒のニーズに応じて、運動を含む複数の活動を行う部活動がありますか。

【中学校】

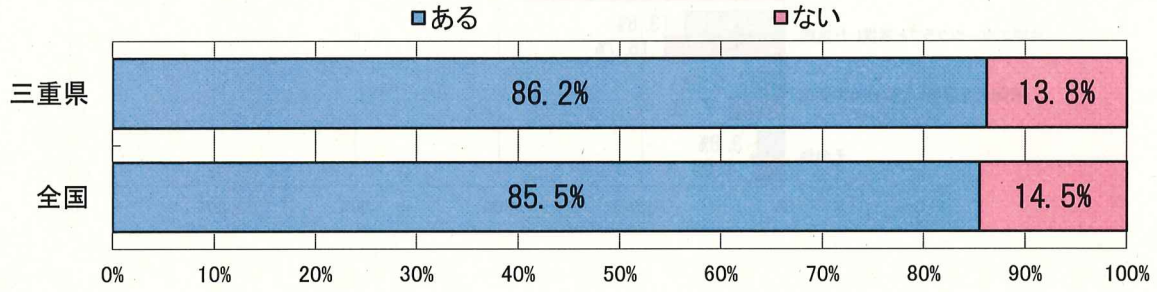


（21）教員同士で、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組、体育・保健体育の授業における指導方法の工夫・改善を検討する機会はありますか。

【小学校】



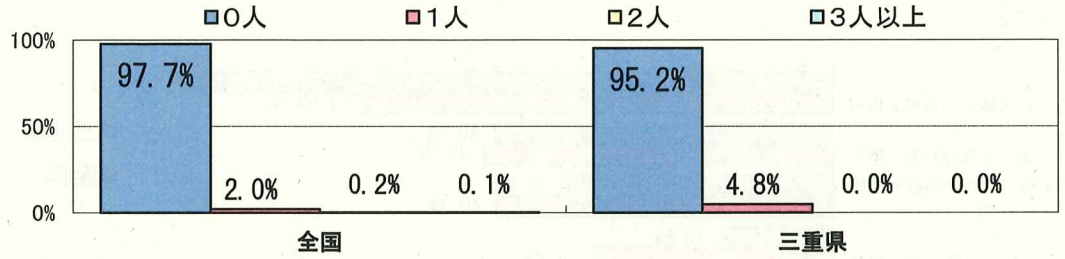
【中学校】



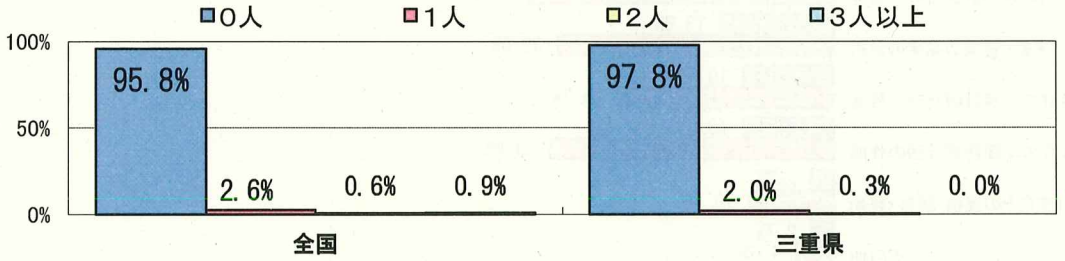
（22）小学校に体育専科教員は配置されていますか。

（平成31年度）

非常勤

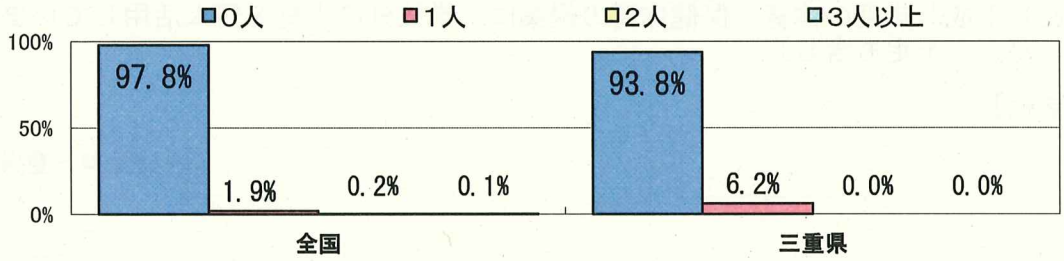


常勤

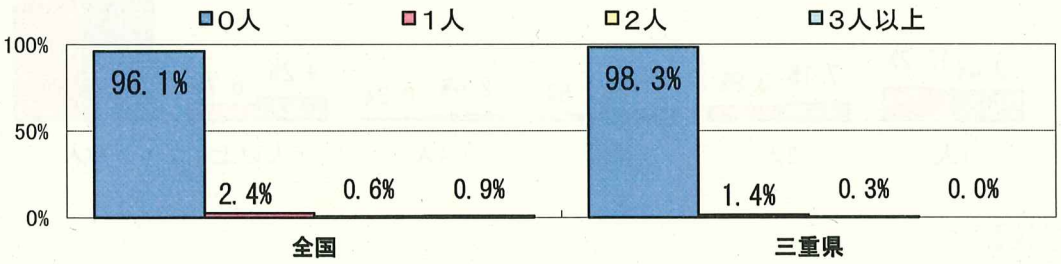


（平成30年度）

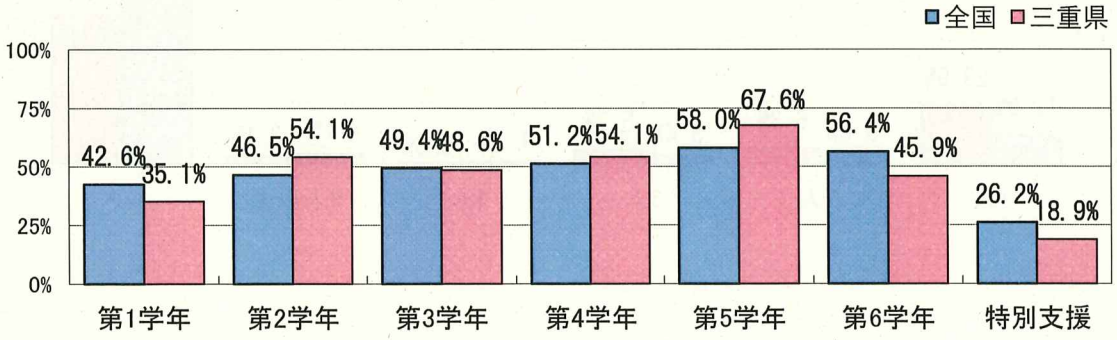
非常勤



常勤

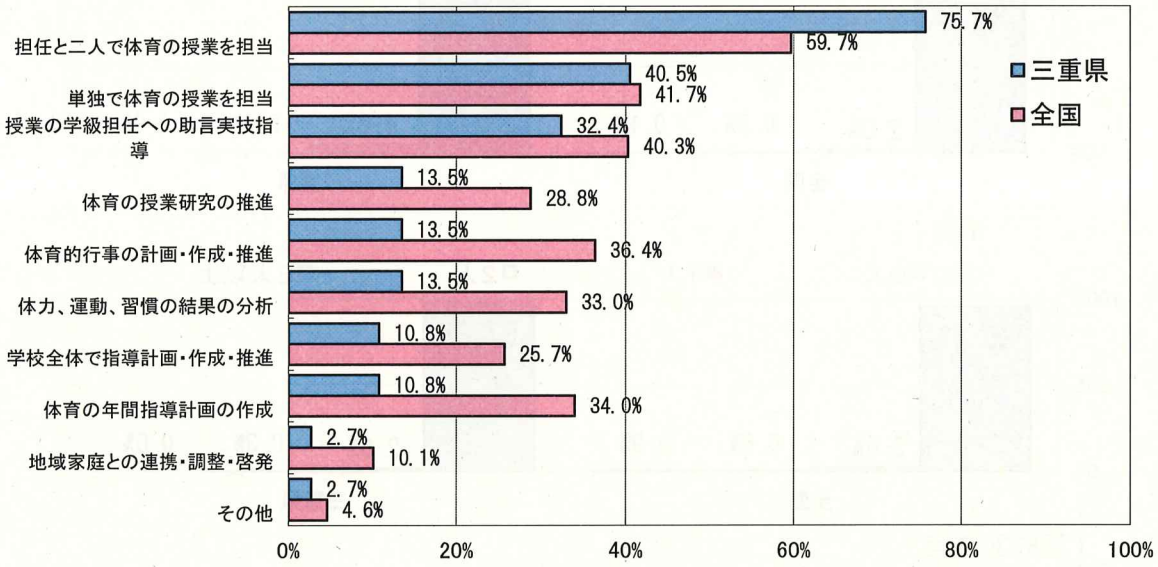


（23）体育専科教員が配置されている場合、体育専科教員は第何学年の体育の授業を担当していますか。



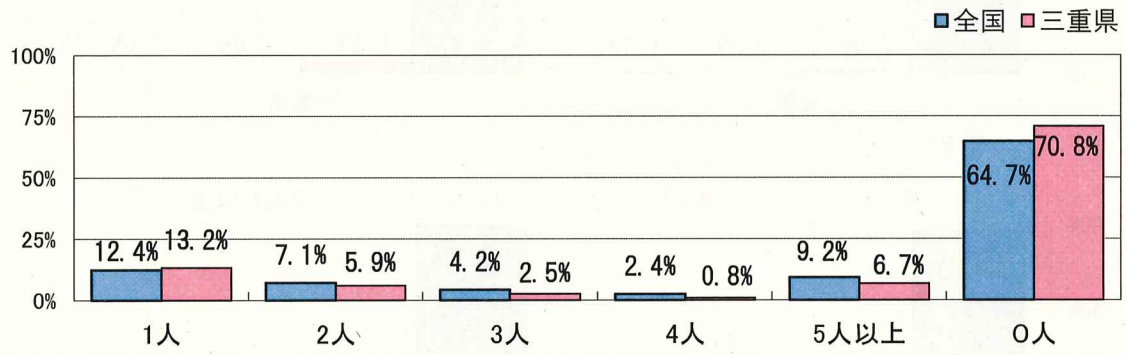
（24）体育専科教員が配置されている場合、具体的な業務内容を選んでください。（担当学年以外の業務も含む）（複数回答可）

【小学校】

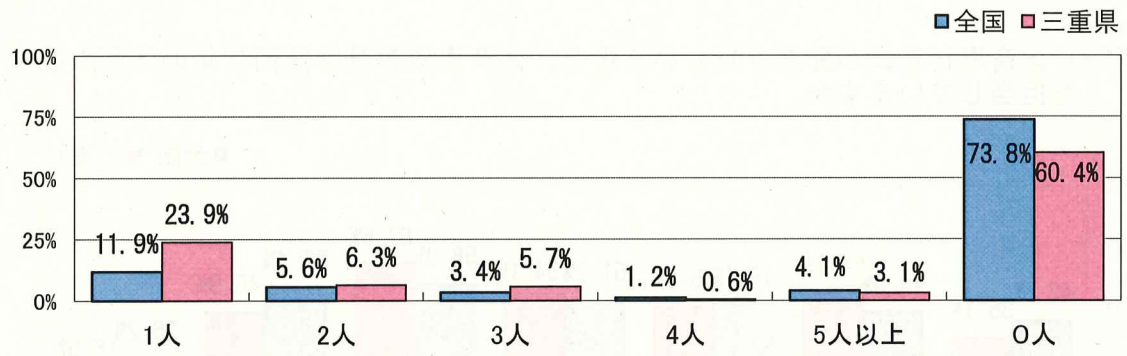


（25）平成31年度の体育・保健体育の授業に、学校外の人材を何人活用していますか。（予定も含む）

【小学校】

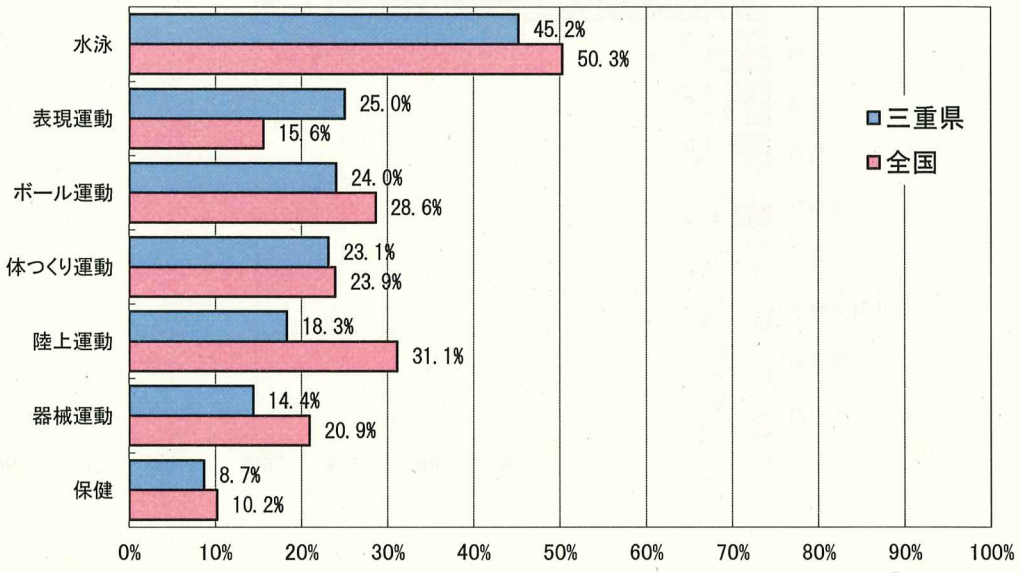


【中学校】

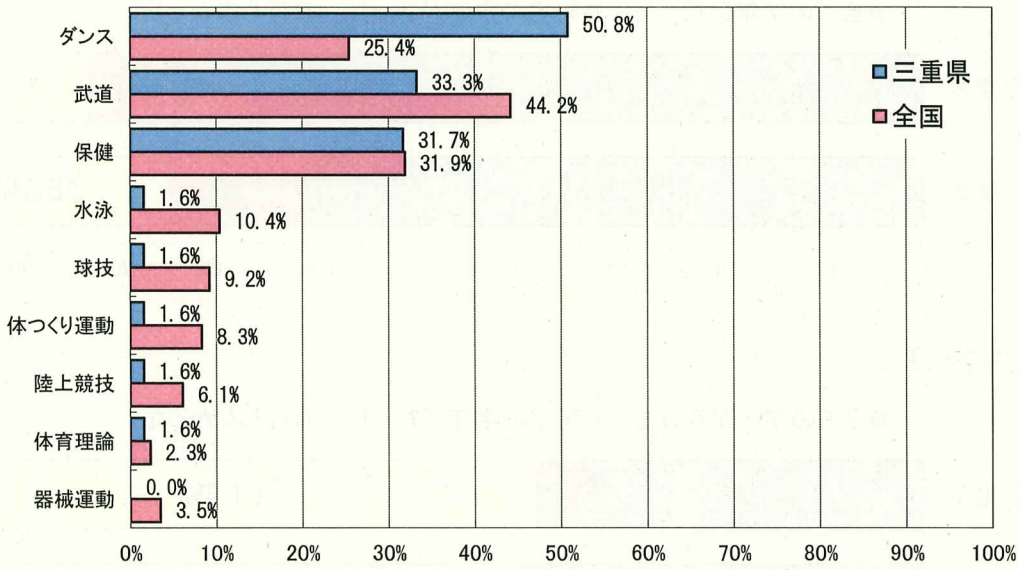


（26）平成31年度に学校外の人材を活用している学校において、どの領域等で活用していますか。（予定も含む）（複数回答可）

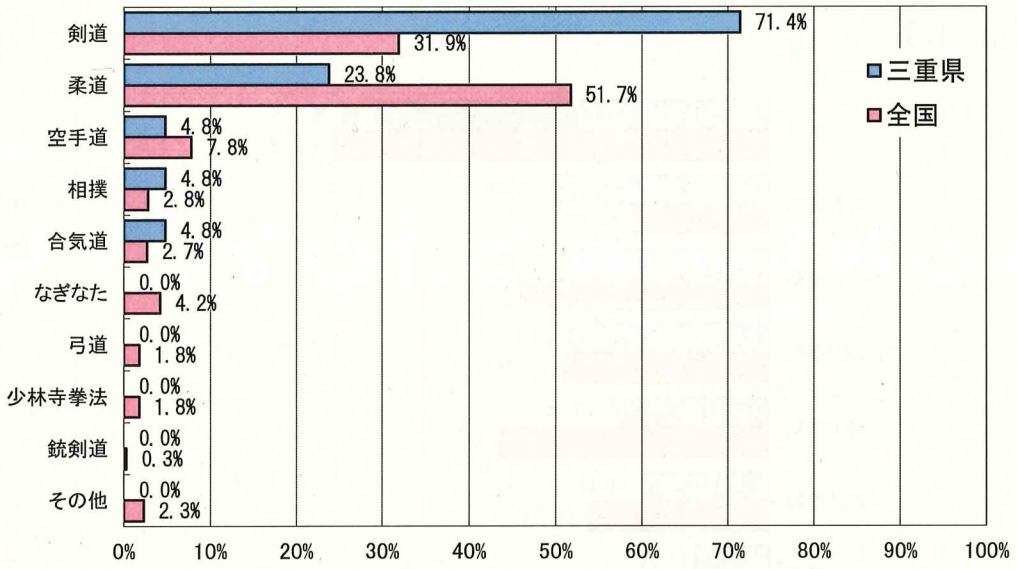
【小学校】



【中学校】

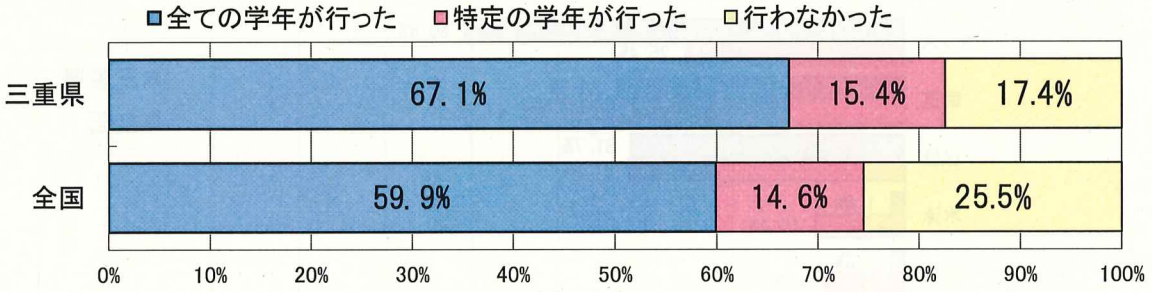


（27）平成30年度に学校外の人材を活用している中学校において、外部人材を武道で活用している場合、その種目を選択してください。（複数回答可）

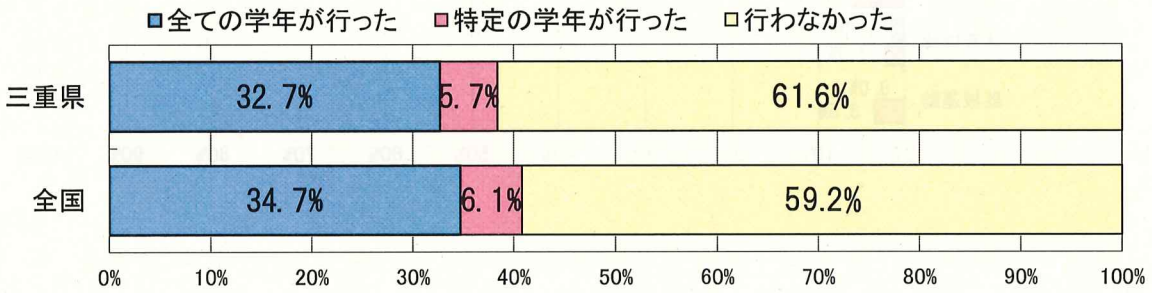


（28）平成30年度に、全ての児童生徒の家庭に対して、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行いましたか。

【小学校】

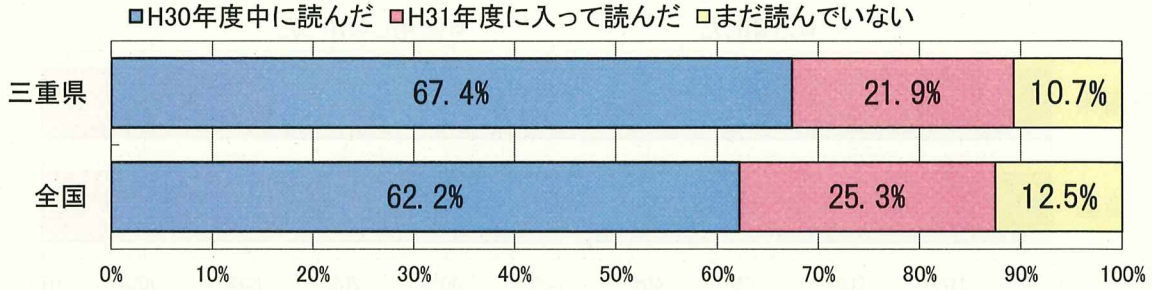


【中学校】

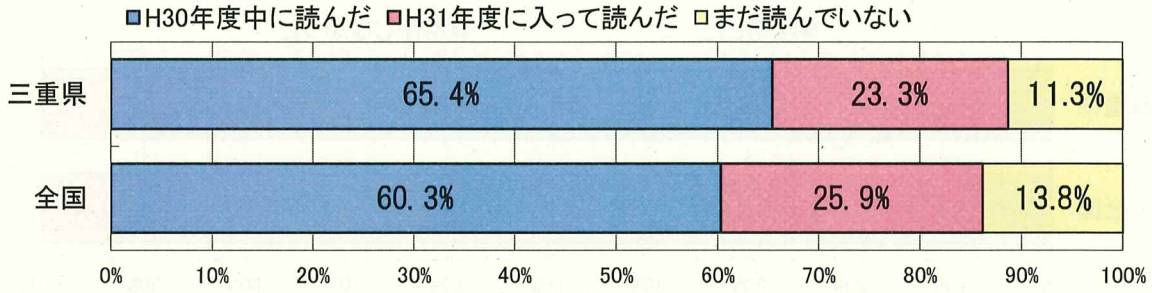


（29）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「報告書」を読みましたか。

【小学校】

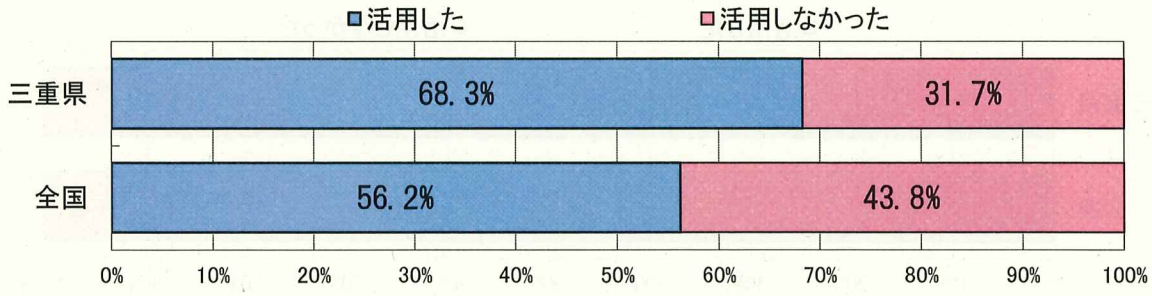


【中学校】

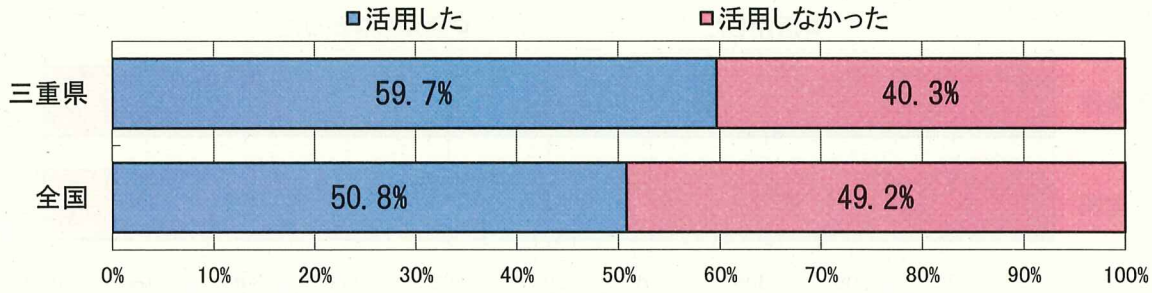


（30）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「結果資料ＣＤ」を活用しましたか。

【小学校】

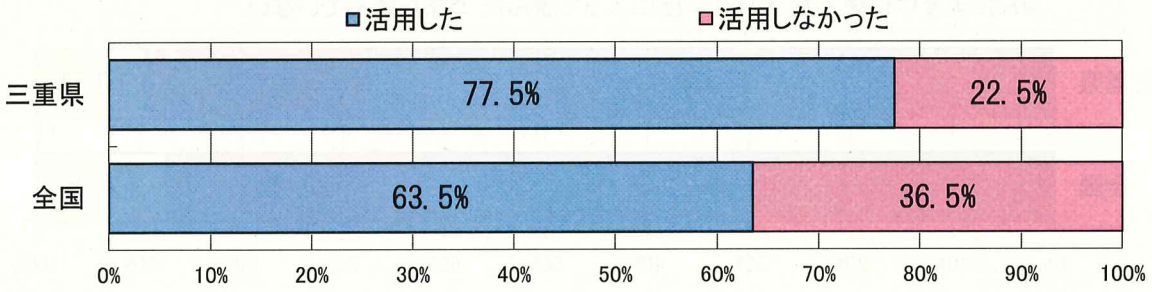


【中学校】

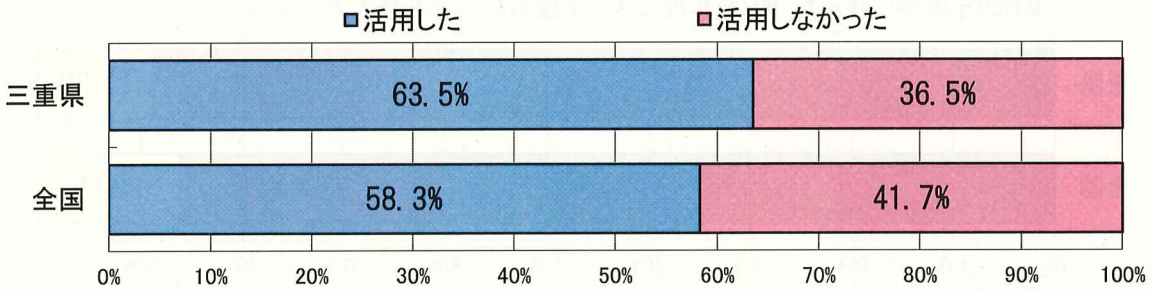


（31）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「学校用確認シート」を活用しましたか。

【小学校】

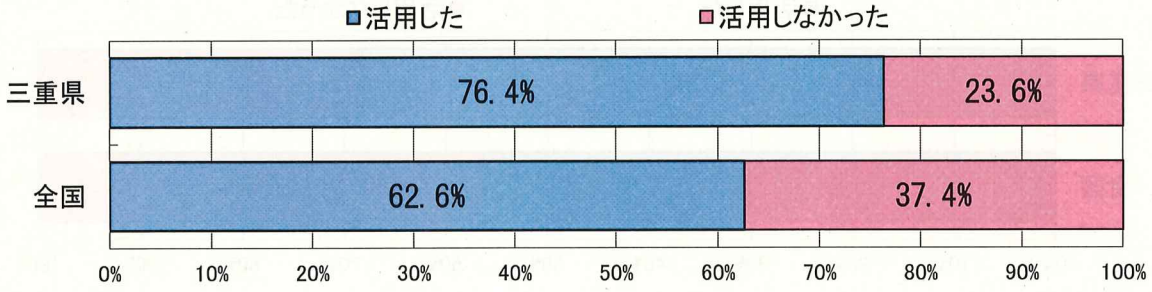


【中学校】

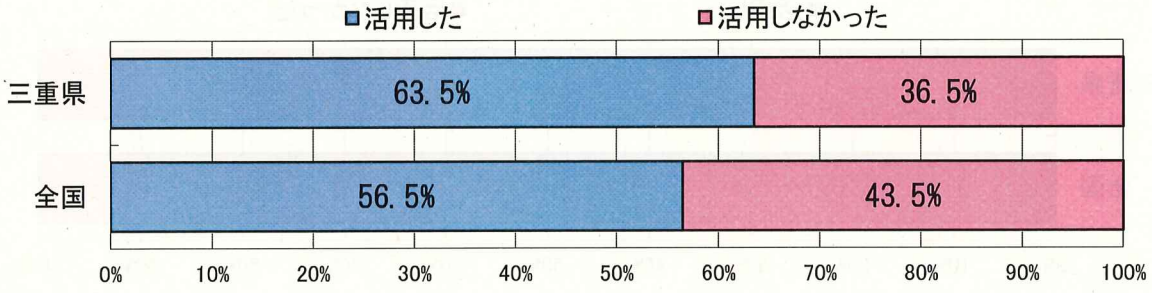


（32）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「記録シート」を活用しましたか。

【小学校】

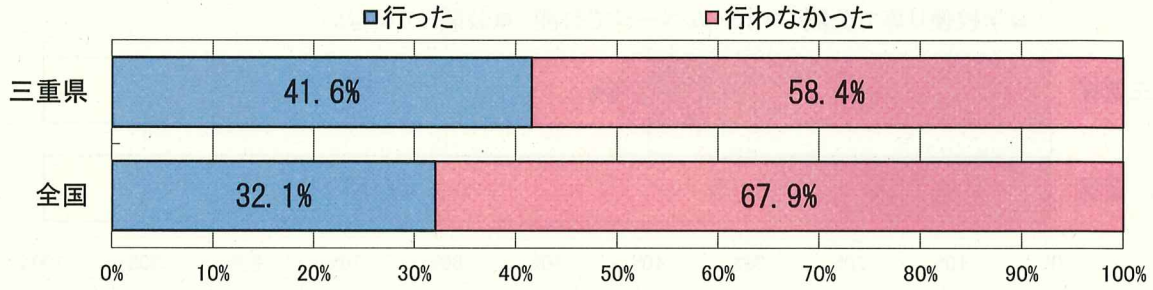


【中学校】

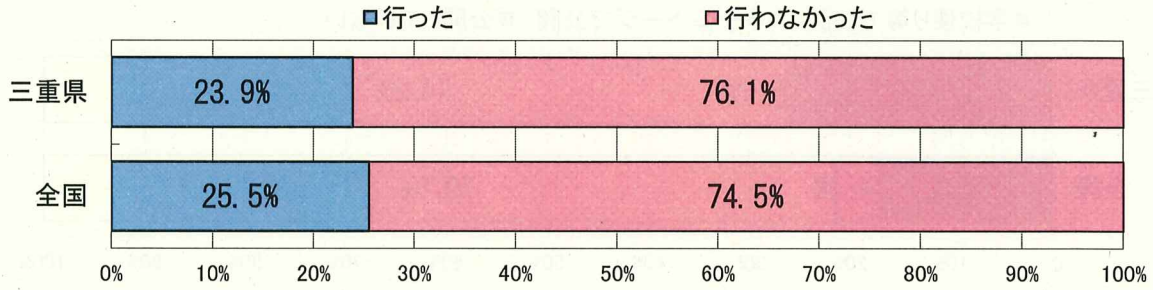


（33）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書に掲載した事例校の実践を参考にした取組を行いましたか。

【小学校】

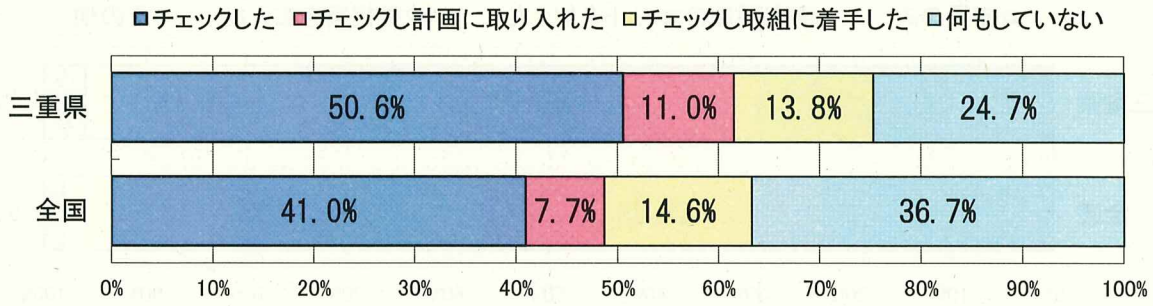


【中学校】

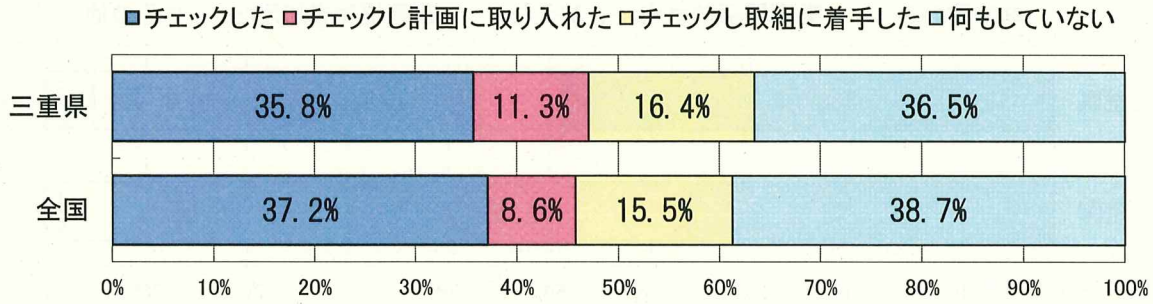


（34）平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の巻末に掲載した「取組チェックシート」を活用しましたか。

【小学校】

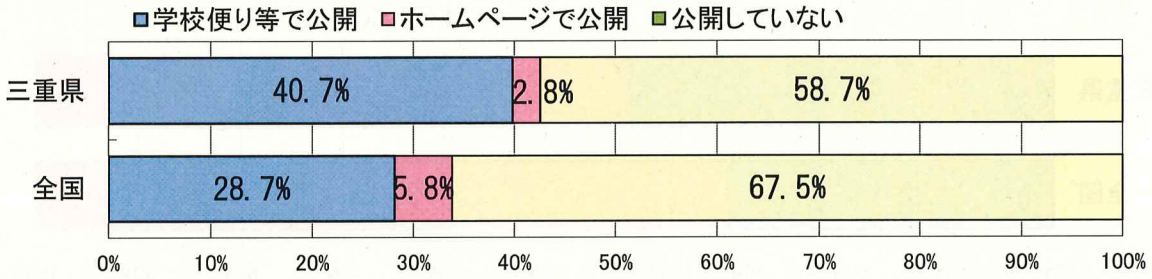


【中学校】

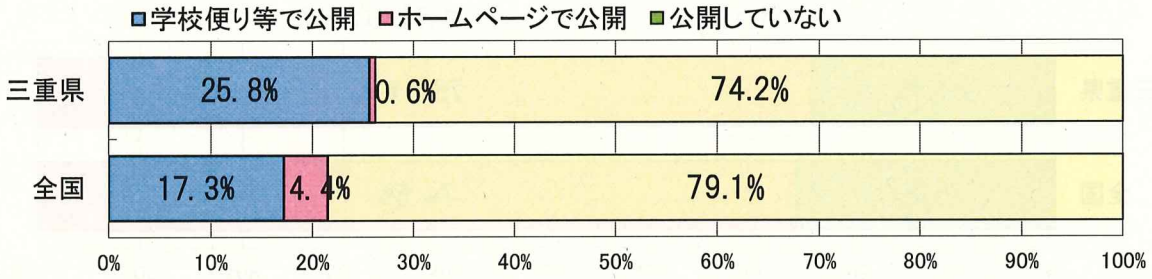


（35）学校のホームページや学校だより等で、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を公開しましたか。

【小学校】

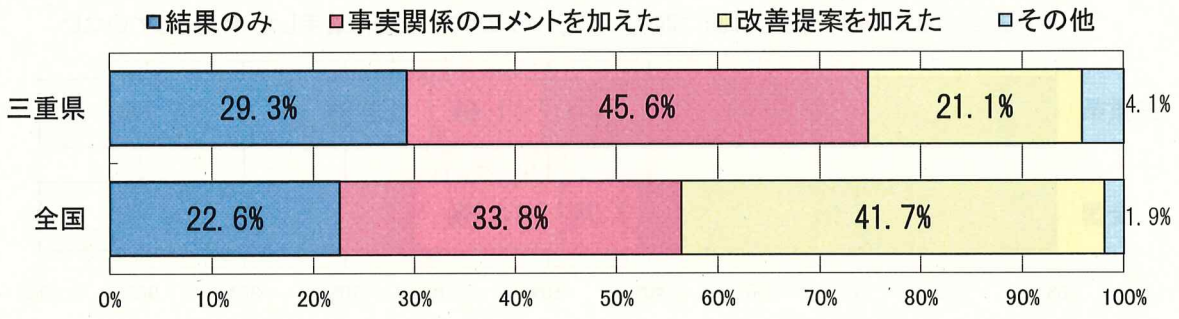


【中学校】

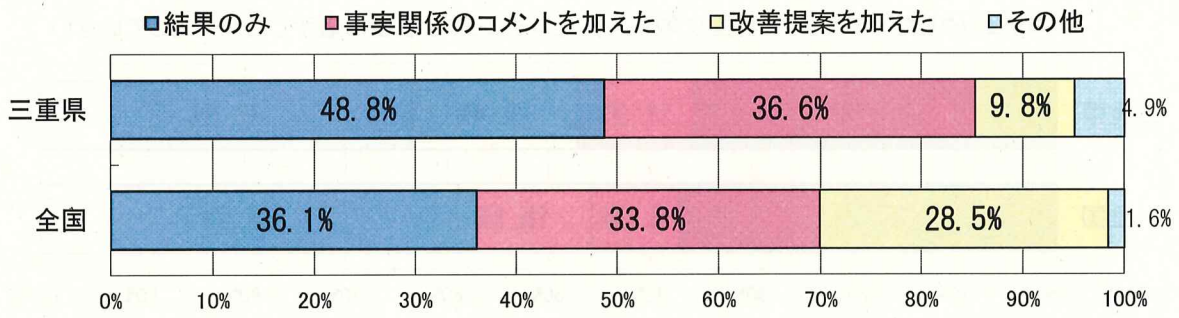


（36）学校のホームページや学校だより等で、平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を公開した学校では、どのように公開しましたか。

【小学校】

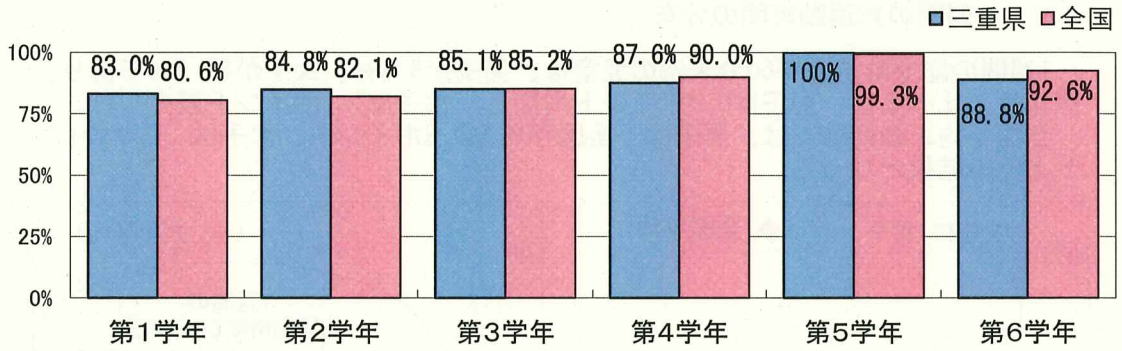


【中学校】

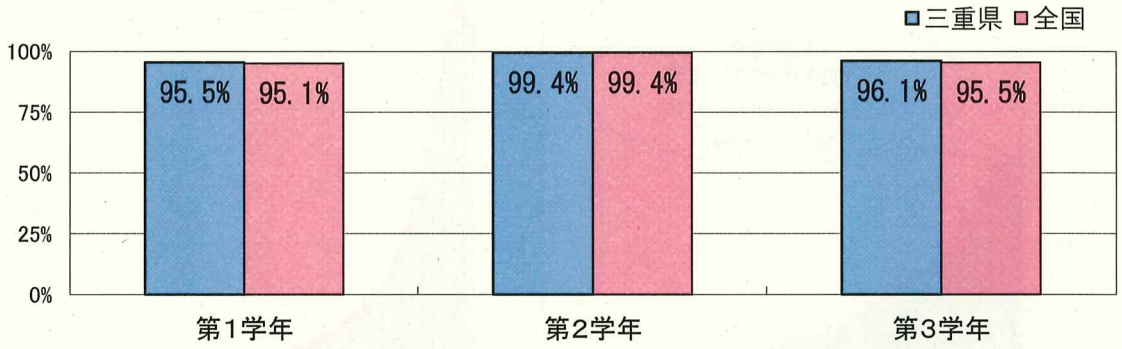


（37）新体力テストを実施した学年を選んでください。（複数回答可）

【小学校】



【中学校】



Ⅲ　調査結果の特徴

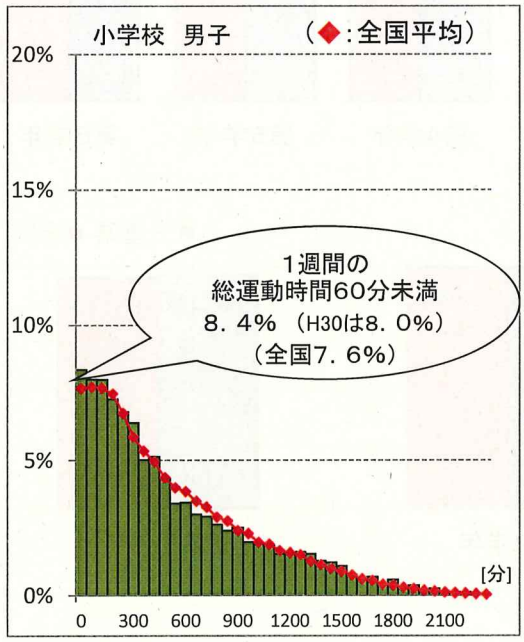
１　児童生徒の運動習慣～１週間の総運動時間から～

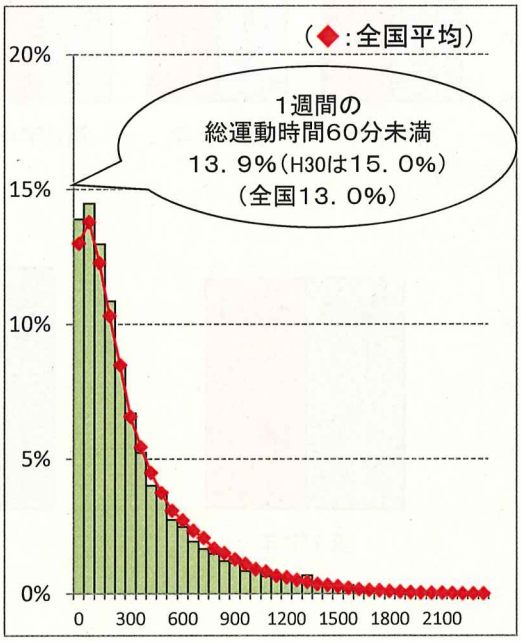
（１）　１週間の総運動時間の状況

【小学校５年生】

①　１週間の総運動時間の分布

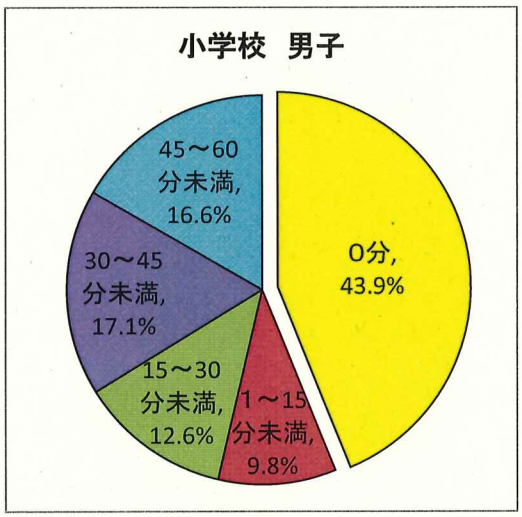
1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が8.4%、女子が13.9%であり、昨年度に比べると、男子は0.4ポイント増加し、女子は1.1ポイント減少した。
全国平均との比較では、男子は、全国平均を0.8ポイント、女子は、0.9ポイント上回る結果となった。

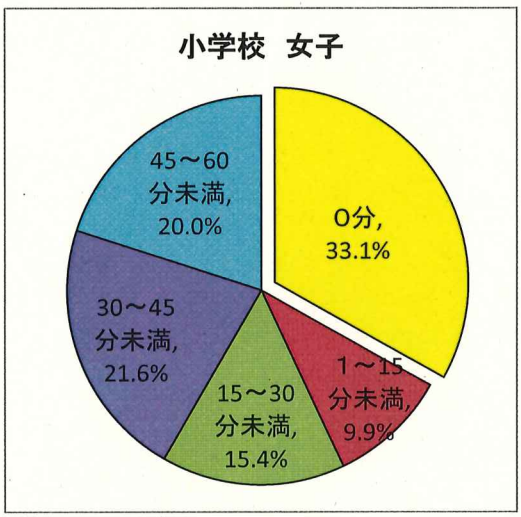




②　１週間の総運動時間が６０分未満の児童の運動時間の内訳

1週間の総運動時間が60分未満の児童の内訳では、総運動時間「0分」の割合が、男子では43.9%、女子では33.1%であった。昨年度と比べ、男子は1.4ポイント、女子は0.8ポイント減少した。
（H30：男子45.3%、女子33.9%）



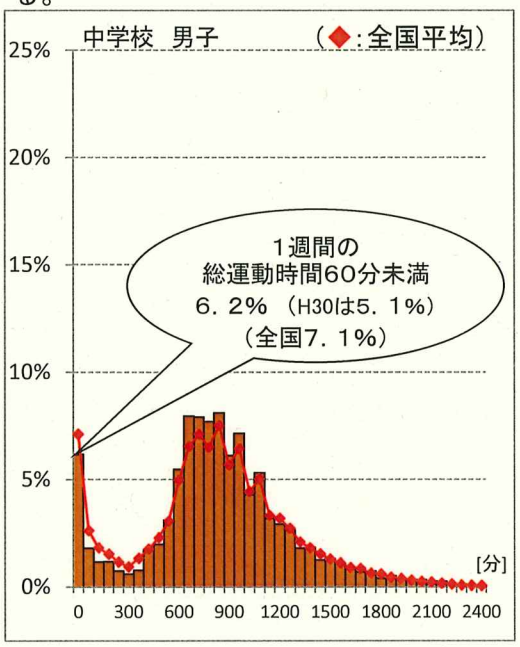


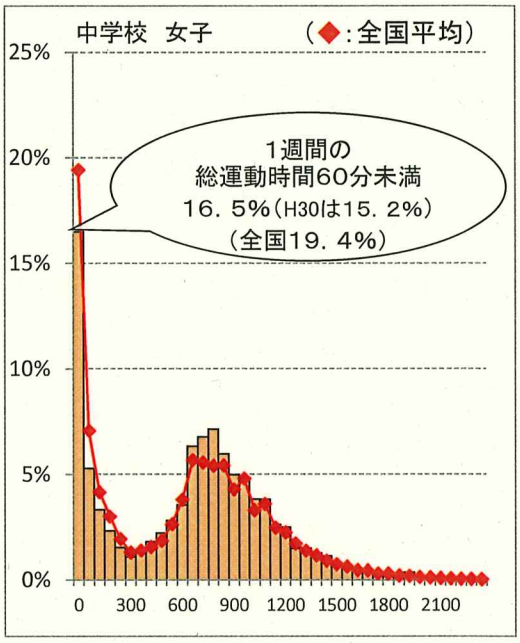
【中学校２年生】

①　１週間の総運動時間の分布

1週間の総運動時間が60分未満の生徒は、男子が6.2%、女子が16.5%であり、昨年度に比べると、男子は1.1ポイント、女子は1.3ポイント増加した。

全国平均との比較では、男子は0.9ポイント、女子は、2.9ポイント下回る結果となった。また、引き続き、運動する生徒としない生徒の二極化傾向がみられる。

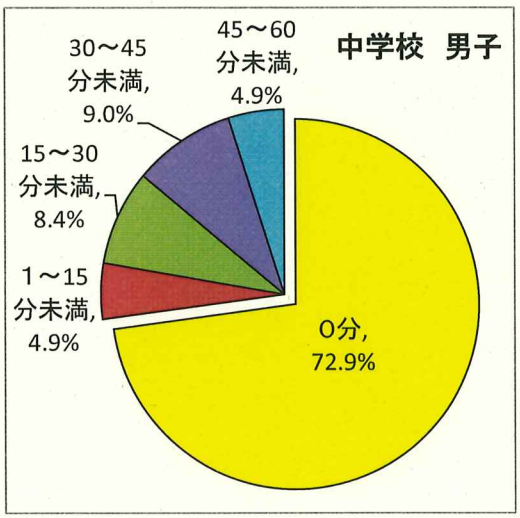


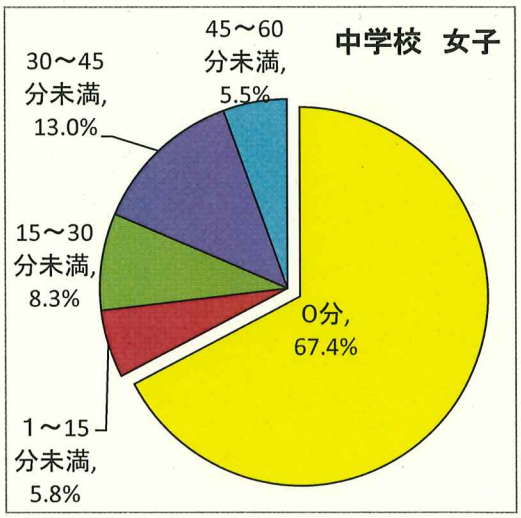


②　１週間の総運動時間が６０分未満の生徒の運動時間の内訳

1週間の総運動時間が60分未満の生徒の内訳では、総運動時間「0分」の割合が、男子では72.9%、女子では67.4%であった。昨年度と比べ、男子は1.3ポイント、女子は2.6ポイント減少した。

（H30：男子74.2%、女子70.0%）







報告２

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状及び特別感謝状贈呈について

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状及び特別感謝状贈呈について、別紙のとおり報告する。

令和２年１月１６日提出

三重県教育委員会事務局
高校教育課長

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状及び特別感謝状贈呈について

1　趣旨・目的

学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）及び職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状「みえの人づくり応援隊」（以下「特別感謝状」という。）を贈呈するとともに、広く県民に周知する。

2　制度の概要

（1）感謝状の贈呈

キャリア教育を推進するため、連続して５年以上インターンシップを受け入れる等、一定の要件を満たした事業所に対して、「職場体験・インターンシップ等」部門と「デュアルシステム」部門の２つの部門に分け、実施している。

※　デュアルシステムとは

就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置付けて実施し、学業と就業体験の双方を一定期間行う仕組み。

（2）特別感謝状の贈呈

キャリア教育を推進するため、感謝状の贈呈を受けて以降、連続１０年にわたってインターンシップを受け入れる等、一定の要件を満たした事業所に対し、平成２８年度から実施している。

3　感謝状について

経済団体、県立学校、市町等教育委員会から推薦のあった「職場体験・インターンシップ等」部門１７事業所、「デュアルシステム」部門４事業所の合計２１事業所について、感謝状を贈呈する。（別紙１）

4　特別感謝状について

平成２２年度に感謝状を贈呈した２８事業所のうち、要件を満たす６事業所に対し、特別感謝状及び記念品を贈呈する。（別紙２）

5　感謝状贈呈式

（1）期　日　令和２年２月１８日（火）
（2）時　間　１３時００分～１４時００分
（3）会　場　三重県総合文化センター　小ホール
（4）内容　　趣旨説明
　　特別感謝状贈呈
　　感謝状贈呈
　　教育委員会教育長謝辞
　　事業所挨拶

※　キャリア教育フォーラムにおいて感謝状及び特別感謝状の贈呈式を行う。

（別紙１）

感謝状贈呈推薦事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門　　１７事業所

番号	事業所名	代表者	所在地
1	伊勢赤十字老人保健施設虹の苑	所長　能勢　義正	伊勢市
2	伊勢土建工業株式会社	取締役　渡邊　良永	桑名市
3	医療法人社団愛敬会介護老人保健施設山咲苑	理事長　山﨑　学	伊勢市
4	医療法人社団嘉祥会介護老人保健施設嘉祥苑	理事長　堀江　良秋	松阪市
5	医療法人社団嘉祥会介護老人保健施設第二嘉祥苑「アコラス」	理事長　堀江　良秋	明和町
6	エスケー電気工事株式会社	代表取締役　黒田　茂章	桑名市
7	株式会社伊勢福	代表取締役　橋川　史宏	伊勢市
8	株式会社木本自動車	代表取締役　木本　博文	伊勢市
9	株式会社福岡醤油店	代表取締役　川向　啓造	伊賀市
10	株式会社堀崎組	代表取締役　西岡　眞	伊勢市
11	株式会社宮﨑本店	代表取締役社長　宮﨑　由太	四日市市
12	新報国製鉄株式会社	代表取締役社長　成瀬　正	川越町
13	大徳食品株式会社　中京事業所	代表取締役社長　矢野　和弘	四日市市
14	玉城町介護老人保健施設ケアハイツ玉城	管理者　本泉　誠	玉城町
15	服部農園	代表　服部　高経	木曽岬町
16	村井楽器株式会社　伊勢店	社長　村井　政樹	伊勢市
17	有限会社紅谷	代表取締役　辻　幸保	伊勢市

「デュアルシステム」部門　　４事業所

番号	事業所名	代表者	所在地
1	エイベックス株式会社	代表取締役　加藤　丈典	桑名市
2	株式会社アベテック	代表取締役　阿部　展久	桑名市
3	ヤマト運輸三重白山センター	センター長　村田　勝哉	津市
4	有限会社西川板金	代表取締役　西川　芳樹	いなべ市

（別紙2）

特別感謝状贈呈事業所一覧　６事業所

番号	事　業　所　名	所在地
1	カネソウ株式会社	朝日町
2	株式会社ハツメック	桑名市
3	昭和印刷株式会社	桑名市
4	電研株式会社	桑名市
5	特別養護老人ホーム報徳園	津市
6	マックスバリュ中部株式会社マックスバリュ大台店	大台町

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈推薦事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	推薦団体等	学校への支援内容等
1	伊勢市	伊勢赤十字老人保健施設虹の苑	明野高等学校	平成２６年度から令和元年度までの６年間、明野高等学校３年生の介護実習を１０日間受け入れている。 介護技術の習得だけでなく、介護支援対象者の理解や対象者の家族とのコミュニケーション、他の職員との協働等を通じて、介護職として必要なコミュニケーション力を育成している。
2	桑名市	伊勢土建工業株式会社	桑名工業高等学校	平成２７年度から令和元年度までの５年間、桑名工業高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 建設現場での補助作業や各種機材の役割説明等をするとともに、生徒がインフラ整備の重要性を実感できるよう工夫している。
3	伊勢市	医療法人社団愛敬会介護老人保健施設山咲苑	明野高等学校	平成２６年度から令和元年度までの６年間、明野高等学校３年生の介護実習を１０日間受け入れている。 介護技術の習得だけでなく、介護支援対象者の理解や対象者の家族とのコミュニケーション、他の職員との協働等を通じて、介護職として必要なコミュニケーション力を育成している。
4	松阪市	医療法人社団嘉祥会介護老人保健施設嘉祥苑	明野高等学校	平成２６年度から令和元年度までの６年間、明野高等学校３年生の介護実習を１０日間受け入れている。 介護技術の習得だけでなく、介護支援対象者の理解や対象者の家族とのコミュニケーション、他の職員との協働等を通じて、介護職として必要なコミュニケーション力を育成している。
5	明和町	医療法人社団嘉祥会介護老人保健施設第二嘉祥苑「アコラス」	明野高等学校	平成２６年度から令和元年度までの６年間、明野高等学校３年生の介護実習を１０日間受け入れている。 介護技術の習得だけでなく、介護支援対象者の理解や対象者の家族とのコミュニケーション、他の職員との協働等を通じて、介護職として必要なコミュニケーション力を育成している。

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈推薦事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	推薦団体等	学校への支援内容等
6	桑名市	エスケー電気工事株式会社	桑名商工会議所	平成２６年度から令和元年度までの６年間、桑名工業高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 電気工事での設計や配線の技術指導を行い、生徒が電気工事に魅力を実感できるよう工夫している。
7	伊勢市	株式会社伊勢福	伊勢市教育委員会	平成２３年度から令和元年度までの９年間、市内の４つの中学校の職場体験を各３日間受け入れている。 接客や店舗の清掃等の業務について指導している。また、社員の仕事のやりがいや今後の目標について、体験中の生徒へ伝えるなど、生徒の職業観・勤労観の育成に貢献している。
8	伊勢市	株式会社木本自動車	伊勢工業高等学校	平成２１年度から令和元年度までの１１年間、伊勢工業高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 自動車整備業でのオイル交換、タイヤ交換等を指導している。体験の中では、技術指導だけでなく、実際にお客様の自動車を扱うことの責任等、生徒が仕事に対する責任感ややりがいを感じることができるよう工夫している。
9	伊賀市	株式会社福岡醤油店	伊賀市教育委員会	平成２０年度から令和元年度までの１２年間、伊賀市立緑ヶ丘中学校２年生の職場体験を３日間受け入れるとともに、島ケ原小学校の職場見学や島ケ原中学校の職場体験を受け入れている。 醤油の製造過程の見学や最終工程作業及び販売体験を指導している。また、緑ヶ丘中学校１年生が実施する販売体験時にも商品を提供するなど、学校のキャリア教育の推進に貢献している。
１０	伊勢市	株式会社堀崎組	伊勢工業高等学校	平成２１年度から令和元年度までの１１年間、伊勢工業高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 建設業での測量や墨だし等の技術指導をするとともに、実際の住宅建設現場で、お客様の住宅完成に対する期待感や現場で働く者の心構えを説明することで、生徒の職業観・勤労観を育成している。

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈推薦事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	推薦団体等	学校への支援内容等
１１	四日市市	株式会社宮﨑本店	四日市農芸高等学校	平成２２年度から令和元年度までの１０年間、四日市農芸高等学校２年生の現場実習を４日間以上受け入れるとともに、近隣の２つの中学校の職場体験を３日間受け入れている。 酒類製造として、瓶の検査、製品のチェック、箱詰め、米麹の製造等、体験する生徒の日頃の学びに応じて、専門的な内容から基本的な社会人マナーまで、手厚く対応している。
１２	川越町	新報国製鉄株式会社	桑名工業高等学校	平成２７年度から令和元年度までの５年間、桑名工業高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 製造工程の一連を指導するとともに、製品がどのように社会で使われているかを紹介し、生徒が高校での学びと社会とのつながりを実感できるよう工夫している。
１３	四日市市	大徳食品株式会社中京事業所	朝明高等学校	平成２７年度から令和元年度までの５年間、朝明高等学校２年生のインターンシップを５日間受け入れている。 食品製造職での衛生管理や社会人として必要なマナー等について指導するとともに、校内で実施する進路ガイダンスに講師として参加し、生徒の職業観・勤労観を醸成している。
１４	玉城町	玉城町介護老人保健施設ケアハイツ玉城	明野高等学校	平成２６年度から令和元年度までの６年間、明野高等学校３年生の介護実習を１０日間受け入れている。 介護技術の習得だけでなく、介護支援対象者の理解や対象者の家族とのコミュニケーション、他の職員との協働等を通じて、介護職として必要なコミュニケーション力を育成している。
１５	木曽岬町	服部農園	四日市農芸高等学校	平成２５年度から平成３０年度までの６年間、四日市農芸高等学校２年生のインターンシップを９日間受け入れている。 トマト、メロン等の栽培管理、収穫実習を指導するとともに、地域の市場等への見学を取り入れ、生徒が農産物の流通について、知識を深めることができるよう工夫している。

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈推薦事業所一覧

「職場体験・インターンシップ等」部門

番号	所在地	事業所名	推薦団体等	学校への支援内容等
１６	伊勢市	村井楽器株式会社伊勢店	伊勢市教育委員会	平成２６年度から令和元年度までの６年間、市内の５つの中学校の職場体験を各３日間受け入れている。 楽器のメンテナンスや接客対応等を指導している。また、職場体験の事前訪問や事後アンケート等に積極的に協力し、職場体験を通じて生徒につけたい力等、学校とねらいを共有した体験を実施している。
１７	伊勢市	有限会社紅谷	伊勢市教育委員会	平成２６年度から令和元年度までの６年間、市内の３つの中学校の職場体験を各３日間受け入れている。 接客、商品の補充、陳列等を指導している。また、市内の中学２年生を対象に、学校へ講師として出向き、出前授業を実施するなど、学校のキャリア教育の推進に貢献している。

令和元年度職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈推薦事業所一覧

「デュアルシステム」部門

番号	所在地	事業所名	推薦機関	学校への支援内容等
1	桑名市	エイベックス株式会社	桑名工業高等学校	平成２９年度から令和元年度までの３年間、桑名工業高等学校２年生を、授業実施日の毎週火曜日に受け入れている。 製品製造の業務補助として、社員同様の業務を指導している。また、桑名工業高等学校へ工作機械を貸与し、高校生と共同でボールペンを作り、桑名市ふるさと納税返礼品として出品するなど、学校のキャリア教育推進に貢献している。
2	桑名市	株式会社アベテック	桑名工業高等学校	平成２９年度から令和元年度までの３年間、桑名工業高等学校２年生を、授業実施日の毎週火曜日に受け入れている。 製品製造の業務補助として、社員同様の業務を指導している。また、同校のデュアルシステム成果発表会に出席し、体験した生徒等へアドバイスを行うなど、生徒の職業観・勤労観の育成に貢献している。
3	津市	ヤマト運輸三重白山センター	白山高等学校	平成２４年度から令和元年度までの８年間、白山高等学校３年生を、授業実施日の毎週金曜日に受け入れている。 体験業務としては、宅配便の伝票整理、荷物の仕分け、事務所内外の清掃等を指導している。体験を通して、仕事の指示を正確に理解し行動することや、宅配物の管理の重要性等を生徒に指導し、職業観・勤労観の育成に貢献している。
4	いなべ市	有限会社西川板金	桑名工業高等学校	平成２９年度から令和元年度までの３年間、桑名工業高等学校２年生を、授業実施日の毎週火曜日に受け入れている。 業務補助として、社員同様の業務を指導するとともに、お客様の自動車の修理を、生徒に社員と一緒に体験させることで、自動車修理業の理解や責任感等を指導している。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領

「職場体験・インターンシップ等」部門

（目的）

第１条　この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

（贈呈対象）

第２条　感謝状贈呈の候補者となることができるものは、次の各号のいずれかに該当する県内事業所とする。

一　公立小学校、公立中学校又は公立義務教育学校における功績

小学校、中学校又は義務教育学校における職場見学及び職場体験について児童生徒の受入れを行い、かつ小学校、中学校又は義務教育学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した県内事業所。

二　県立高等学校における功績

県立高等学校におけるインターンシップについて生徒の受入れを行い、かつ県立高等学校における教育活動への参加をとおして、キャリア教育の推進に尽力した県内事業所。

三　県立特別支援学校における功績

県立特別支援学校における就労体験について児童生徒の受入れを行い、キャリア教育及び就労の推進に尽力した県内事業所。

（候補者の推薦及び申請）

第３条　前条に掲げる功績にあっては、市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体の推薦又は職場見学、職場体験若しくはインターンシップ等を受入れている県内事業所からの申請によるものとする。

（審査委員会）

第４条　教育長は、前条の推薦又は申請を受けたときは、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）を召集するものとする。

２　審査委員会は、次長（学校教育担当）、高校教育課長、小中学校教育課長及び特別支援教育課長で構成する。

３　審査委員会の委員長は、次長（学校教育担当）とする。

４　審査委員会の議事は、委員の過半数によって決する。

（決定）

第５条　感謝状を贈呈する事業所は、審査委員会の審議に基づき、教育長が決定する。

（庶務）

第６条　感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

（雑則）

第７条　この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

この要領は、平成２８年１１月２９日から施行する。

附　則

この要領は、平成２９年１０月３１日から施行する。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領細則

「職場体験・インターンシップ等」部門

1　推薦及び申請の方法

（1）推薦

ア　公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校及び市町等教育委員会による推薦

小学校、中学校又は義務教育学校の職場見学及び職場体験に係る職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）贈呈候補事業所の推薦を行う。

小学校、中学校又は義務教育学校における推薦は、５団体を上限として順位付けを行い、様式１を市町等教育委員会事務局指導事務主管課へ提出する。

市町等教育委員会は、取りまとめのうえ、２０団体を上限として順位付けを行い、該当する様式１及び様式２を三重県教育委員会事務局高校教育課（以下「高校教育課」という。）へ提出する。

イ　県立学校による推薦

高等学校におけるインターンシップ及び特別支援学校における就労体験に係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

推薦は、１０団体を上限として順位付けを行い、様式３を高校教育課へ提出する。

ウ　経済団体からの推薦

職場体験又はインターンシップ等キャリア教育における体験的活動に係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

三重県商工会連合会、三重県商工会議所連合会、三重県経営者協会及び三重県中小企業団体中央会それぞれにおいて２０団体を上限として取りまとめ、順位付けを行い、様式４及び様式５を高校教育課へ提出する。

（2）申請

学校における教育活動への参加をとおして、キャリア教育の推進に尽力した事業所が申請を行う。

申請を行う事業所は、様式６を高校教育課へ提出する。

2　推薦及び申請における基準

県内の公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校又は県立学校が実施するキャリア教育に対する支援を積極的に行い、次の基準を満たす県内の事業所とする。

ただし、推薦及び申請は、事業所ごとに行う。

（1）公立小学校又は公立義務教育学校前期課程（１年生から６年生まで）の取組への支援

毎年２校以上かつ連続して３年以上にわたって、職場見学又は体験学習の受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

（２）公立中学校又は公立義務教育学校後期課程（７年生から９年生まで）の取組への支援

年間延べ４日以上かつ連続して５年以上にわたって、１校又は複数校の職場体験の受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

（３）県立高等学校の取組への支援

年間延べ５日以上かつ連続して５年以上にわたって、１校又は複数校のインターンシップの受入れを行うとともに、継続的に学校へ人材を派遣するなど、学校のキャリア教育推進を積極的に支援している事業所。

（４）県立特別支援学校の取組への支援

就労に向けた適性の有無を確認するとともに仕事に慣れること等を目的に、通算して５年以上にわたって就労体験の受入れを行い、かつ特別支援学校卒業生について、２名以上採用実績のある事業所。（就労継続支援Ａ型事業所は除く）

（５）複数校種の学校の取組への支援

上記の（１）～（４）の基準に満たないが、複数校種の学校のキャリア教育の推進を積極的に支援している事業所への贈呈については別途協議することとする。

３　推薦及び申請における留意事項

以下の事業所は推薦及び申請の対象外とする。

（１）公的機関

（２）職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（平成２７年度以前）の贈呈を、既に受けた事業所

（３）本感謝状「職場体験・インターンシップ等部門」の贈呈を、既に受けた事業所

（４）当該年度を含む過去３年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所

４　審査及び決定

（１）審査要領

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）の審査は、推薦又は申請のあったすべての事業所について、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状審査調書により審査を行う。

その際、公立小学校、公立中学校、公立義務教育学校、市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体の推薦書又は事業所の申請書を参考にするとともに、必要に応じて公立小学校、公立中学校、市町等教育委員会、県立学校、経済団体又は事業所から聴取等を行うことができることとする。

（２）贈呈事業所の決定

審査委員会は、審査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

（３）決定事項の通知

高校教育課は感謝状の贈呈決定を当該事業所並びにその推薦を行った市町等教育委員会、県立学校若しくは経済団体に通知する。

５　贈呈

感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領

「デュアルシステム」部門

（目的）

第１条　この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、デュアルシステムにより、生徒の実践的な技術・技能の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

（贈呈対象）

第２条　感謝状贈呈の候補者となることができるものは、県立高等学校のデュアルシステムにおいて生徒の受入れを行い、かつ県立高等学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した県内事業所とする。

（候補者の推薦及び申請）

第３条　前条に掲げる功績にあっては、県立高等学校若しくは経済団体の推薦又はデュアルシステムを受入れている県内事業所からの申請によるものとする。

（審査委員会）

第４条　教育長は、前条の推薦又は申請を受けたときは、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）を召集するものとする。

２　審査委員会は、次長（学校教育担当）、高校教育課長、小中学校教育課長及び特別支援教育課長で構成する。

３　審査委員会の委員長は、次長（学校教育担当）とする。

４　審査委員会の議事は、委員の過半数によって決する。

（決定）

第５条　感謝状を贈呈する事業所は、審査委員会の審議に基づき、教育長が決定する。

（庶務）

第６条　感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

（雑則）

第７条　この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附　則

この要領は、平成２８年１１月２９日から施行する。

附　則

この要領は、平成２９年１０月３１日から施行する。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈取扱要領細則

「デュアルシステム」部門

1　推薦及び申請の方法

（1）推薦

ア　県立高等学校による推薦

県立高等学校のデュアルシステムに係る職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下、「感謝状」という。）贈呈候補事業所の推薦を行う。

推薦は、１０団体を上限として順位付けを行い、様式１を三重県教育委員会事務局高校教育課（以下、「高校教育課」という。）へ提出する。

イ　経済団体からの推薦

県立高等学校のデュアルシステムに係る感謝状贈呈候補事業所の推薦を行う。

三重県商工会連合会、三重県商工会議所連合会、三重県経営者協会及び三重県中小企業団体中央会それぞれにおいて２０団体を上限として取りまとめ、順位付けを行い、様式２及び様式３を高校教育課へ提出する。

（2）申請

県立高等学校における教育活動への参加をとおしてキャリア教育の推進に尽力した事業所が申請を行う。

申請を行う事業所は、様式４を高校教育課へ提出する。

2　推薦及び申請における基準

連続して３年以上にわたって県立高等学校のデュアルシステムの受入れを行うとともに、継続的に県立高等学校へ人材を派遣するなど、県立高等学校のキャリア教育推進を積極的に支援している県内の事業所。ただし、推薦及び申請は、事業所ごとに行う。

※　デュアルシステムとは、就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置づけて実施し、学業と就業体験の双方を行う仕組みで、一月を超える期間に６日以上の企業実習を実施することと定義する。

3　推薦及び申請における留意事項

以下の事業所は推薦及び申請の対象外とする。

（1）公的機関

（2）職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（平成２７年度以前）の贈呈を、既に受けた事業所

（3）本感謝状「デュアルシステム」部門の贈呈を、既に受けた事業所

（4）当該年度を含む過去３年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所

4　審査及び決定

（1）審査要領

職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状贈呈審査委員会（以下「審査委員会」という。）の審査は、推薦又は申請のあったすべての事業所について、職場体

験等受入事業所三重県教育委員会感謝状審査調書により審査を行う。

その際、県立高等学校若しくは経済団体の推薦書又は事業所の申請書を参考にするとともに、必要に応じて県立高等学校、経済団体又は事業所から聴取等を行うことができることとする。

（2）贈呈事業所の決定

審査委員会は、審査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

（3）決定事項の通知

高校教育課は感謝状の贈呈決定を当該事業所並びにその推薦を行った県立高等学校若しくは経済団体に通知する。

5　贈呈

感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状贈呈取扱要領

「みえの人づくり応援隊」

（目的）

第１条　この制度は、学校教育におけるキャリア教育を推進するため、職場体験等受入事業所三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）の贈呈を受けて以降、長年月にわたって職場体験やインターンシップ等により、児童生徒の勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上に顕著な功績をあげた事業所に対し感謝の意を表し、職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状「みえの人づくり応援隊」（以下「特別感謝状」という。）を贈呈するとともに、県民に広く周知することを目的とする。

（贈呈対象）

第２条　特別感謝状贈呈の候補者となることができるものは、感謝状の贈呈を受けた年度から連続１０年にわたって、次の各号のいずれかの取組を行っている県内事業所とする。

一　公立小学校、公立中学校又は公立義務教育学校における功績
　小学校、中学校又は義務教育学校における職場見学及び職場体験等の児童生徒の受入れ

二　県立高等学校における功績
　県立高等学校におけるインターンシップ又はデュアルシステムの生徒の受入れ

三　県立特別支援学校における功績
　県立特別支援学校における就労体験の児童生徒の受入れ

（候補者の調査）

第３条　感謝状贈呈時の推薦団体（名称等に変更がある場合は変更後の団体）は贈呈基準を満たしているか調査を行う。ただし、事業所の名称に変更がある場合は、変更後の事業所を調査する。

（決定）

第４条　特別感謝状を贈呈する事業所は、調査結果に基づき、教育長が決定する。

（庶務）

第５条　特別感謝状の贈呈に係る庶務は、高校教育課において処理する。

（雑則）

第６条　この取扱要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

この要領は、平成２８年１１月２９日から施行する。

附　則

この要領は、平成２９年１０月３１日から施行する。

附　則

この要領は、令和元年９月２５日から施行する。

職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状贈呈取扱要領細則

「みえの人づくり応援隊」

1　贈呈候補事業所の調査方法

職場体験受入企業等三重県教育委員会感謝状（以下「感謝状」という。）贈呈時の推薦団体（以下「調査団体」という。）が、職場体験等受入事業所三重県教育委員会特別感謝状（以下「特別感謝状」という。）贈呈候補事業所の調査を行う。

調査結果は様式１を三重県教育委員会事務局高校教育課へ提出する。

2　贈呈基準

感謝状の贈呈を受けた年度から連続１０年にわたって、次の取組のいずれかを行っている県内事業所とする。

（１）公立小学校又は公立義務教育学校前期課程（１年生から６年生）の取組への支援

毎年２校以上の職場見学又は体験学習の受入れ

（２）公立中学校又は公立義務教育学校後期課程（７年生から９年生）の取組への支援

年間延べ４日以上の職場体験の受入れ

（３）県立高等学校の取組への支援

下記のいずれかの支援を行っている事業所。

・インターンシップ

年間延べ５日以上のインターンシップの受入れ

・デュアルシステム

デュアルシステムの受入れ

※　デュアルシステムとは、就業体験を、特定の科目の中で週時程（時間割）に位置づけて実施し、学業と就業体験の双方を行う仕組みで、一月を超える期間に６日以上の企業実習を実施することと定義する。

（４）県立特別支援学校の取組への支援

就労に向けた適正の確認や仕事に慣れること等を目的とした就労体験の受入れ

（５）複数校種の学校の取組への支援

上記の（１）～（４）の基準に満たないが、感謝状の贈呈を受けた年度から連続１０年にわたって複数校種の職場体験・インターンシップ等の受入れを行っている事業所への贈呈については別途協議することとする。

3　調査における留意事項

当該年度を含む過去３年以内に、高等学校卒業予定者の就職に係る採用選考等において、不適切な事例として指摘を受けた事業所は調査対象外とする。

4　確認及び決定

（１）調査結果の確認

高校教育課は提出された様式１の特別感謝状贈呈候補事業所が贈呈基準を満たしているか確認を行う。ただし、不明な点があれば調査団体及び事業所に確認を行うことができることとする。

（２）贈呈事業所の決定

高校教育課は、調査結果を教育長へ報告し、教育長は贈呈事業所を決定する。

（３）決定事項の通知

高校教育課は、特別感謝状の贈呈決定を当該事業所及び調査団体に通知する。

５　贈呈

特別感謝状は、県教育委員会教育長が贈呈する。